令和８年度

佐 賀 市 の 保 健

朝ラジ まなざし 朝ごはん



佐賀市　健康づくり課
こども健康課

目　　次

第1章　　人口動態等

1　人口の動向 ・・・

(2) 休日歯科診療所の市町別患者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
5 休日夜間こども診療所 ・・ 38
(1) 休日夜間こども診療所の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
(2) 休日夜間こども診療所の市町別患者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
6 看護学校運営費補助事業 ・・・ 39
(1) 補助金額 ・・・ 39
(2) 佐賀市医師会立看護専門学校生徒数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
(3) 卒業生の進路状況 ・・・ 39

第3章　　保健予防

1 健康づくり推進事業体系図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
2 佐賀市健康プランの推進 ・・ 41
(1)佐賀市健康づくり計画「いきいきさがし21」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
(2)ラジ＆ウォーク推進事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
(3)健康推進員育成事業 ・・ 49
3 佐賀市食育推進基本計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
4 佐賀市自殺対策計画 ・・ 54
5 保健事業の概要 ・・・ 58
6 健康教育 ・・・ 60
(1) 集団健康教育 ・・ 60
(2) 健康教室 ・・・ 61
(3) 食育推進事業 ・・ 64
(4) メンタルヘルス研修会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
(5) 「健康ガイドブック」の発行 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
7 健康診査 ・・・ 66
(1) 健康診査・結核予防事業の実施状況（令和7年度） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
(2) 健康診査・結核予防事業の検診結果推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
(3) 健診内容の変遷 ・・・ 89
8 健康相談 ・・・ 91
(1) 健診結果説明会 ・・・ 91
(2) 健康相談 ・・・ 91
(3) 生涯健康管理ファイルの配布 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
(4) アピアランスケア支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
(5) 骨髄等移植ドナー支援助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
9 訪問指導 ・・・ 93

10 感染症予防 ・・ 94
11 食中毒予防 ・・ 94
12 熱中症予防 ・・ 94

第4章　　母子保健

1 母子保健事業体系図及び事業概要 ・・ 95
2 母子健康手帳の交付 ・・・ 97
3 妊産婦健康相談事業 ・・・ 97
(1) 母子窓口相談 ・・・ 97
4 妊婦健康診査事業 ・・ 98
(1) 妊婦健康診査受診票の交付 ・・ 98
(2) 初回産科受診料助成 ・・ 99
5 産婦健康診査事業 ・・ 99
6 養育医療給付事業 ・・ 99
7 妊産婦・乳幼児訪問指導事業 ・・ 100
8 産後ケア事業 ・・ 101
9 妊婦のための支援事業・妊婦等包括相談支援事業(旧:出産・子育て応援事業)・・・・ 102
10 乳児健康診査事業 ・・・ 102
11 子育て健康相談事業 ・・・ 104
(1) 子育て専門相談室 ・・・ 104
(2) こども発達支援室相談 ・・ 104
(3) テレホン育児相談 ・・・ 104
12 母子保健推進員事業 ・・・ 105
13 おやこ保健DX推進事業 ・・・ 105
14 親子生活習慣病予防事業・・・ 106
(1) 4～5か月児セミナー(子どもの生活習慣と離乳食) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
(2) 1歳～1歳5か月児セミナー(子どもの生活習慣とむし歯予防)・・・・・・・・・・・・・・ 106
(3) 乳幼児健康相談 ・・・ 106
15 妊婦の歯周病検診 ・・ 108
16 親子のふれあい・仲間づくり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109
17 1歳6か月児健康診査事業 ・・ 110
18 3歳児健康診査事業 ・・ 111
19 5歳児健康診査事業 ・・ 112
20 フッ化物応用むし歯予防事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
(1) フッ化物洗口事業 ・・ 113

(2) 令和7年度実施園一覧 ・・・

第1章　人口動態等

1　人口の動向

2　人口動態

3　出生の状況

4　死亡の状況

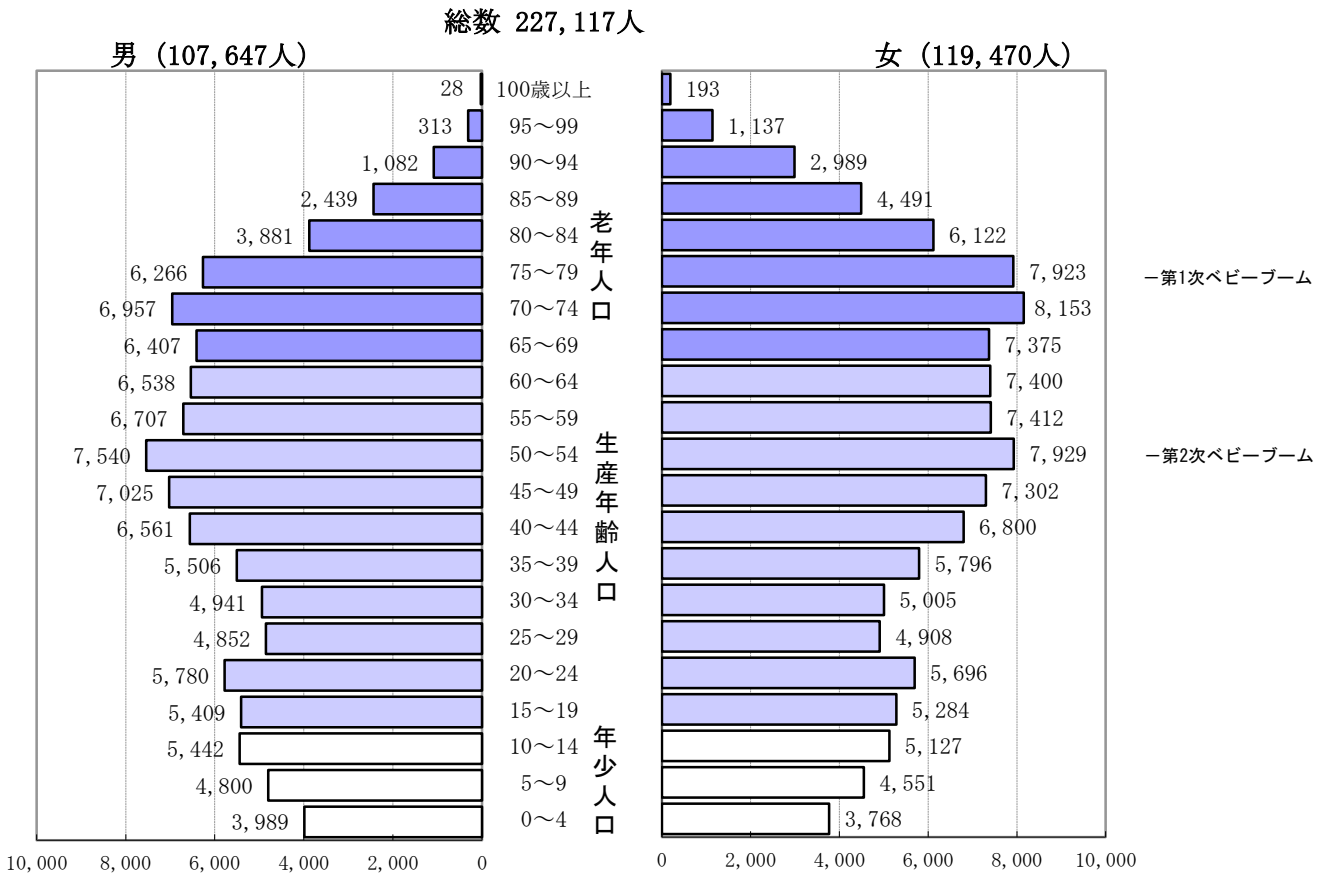
1 人口の動向

(1) 人口と世帯の推移

区分 / 年次	世帯数	人口			人口増加数	老年人口 (65歳以上) B	老年人口割合 B/A×100
		男	女	総数A			
明治22 (1890)	4,847	13,025	12,603	25,628	－	－	－
大正9 (1920)	6,352	16,606	16,922	33,528	－	－	－
14	8,122	20,650	21,510	42,160	－	－	－
昭和5 (1930)	8,576	22,364	23,819	46,183	－	－	－
10	9,282	24,191	25,963	50,154	－	－	－
15	9,786	23,821	26,585	50,406	－	－	－
25	14,131	31,251	35,556	66,807	－	－	－
30	25,039	60,658	65,774	126,432	－	－	－
35	28,255	61,215	68,673	129,888	3,456	－	－
40	32,534	62,829	71,746	134,575	4,687	－	－
45	38,314	66,982	76,472	143,454	8,879	－	－
50	43,838	71,357	80,901	152,258	8,804	－	－
55	51,552	77,502	86,263	163,765	11,507	15,734	9.6
60	54,231	79,633	88,619	168,252	4,487	17,996	10.7
平成2 (1990)	57,601	80,547	89,416	169,963	1,711	21,262	12.5
7	62,107	81,422	89,809	171,231	1,268	25,431	14.9
12	63,637	79,731	88,224	167,955	△ 3,276	29,498	17.6
17	77,853	98,013	108,954	206,967	39,012	42,342	20.5
22	91,208	112,348	125,516	237,864	30,897	53,835	22.6
27	93,306	111,453	124,919	236,372	△ 1,492	60,734	25.7
令和2 (2020)	97,723	109,941	122,641	232,582	△ 3,790	65,944	28.4
3 (2021)	97,544	109,662	122,451	232,113	△ 469	65,374	28.2
4 (2022)	98,471	109,326	121,922	231,248	△ 865	65,589	28.4
5 (2023)	99,042	108,625	121,215	229,840	△ 1,408	65,661	28.6
6 (2024)	99,753	108,075	120,218	228,293	△ 1,547	65,772	28.8
7 (2025)	100,672	107,647	119,470	227,117	△ 1,176	65,756	29.0

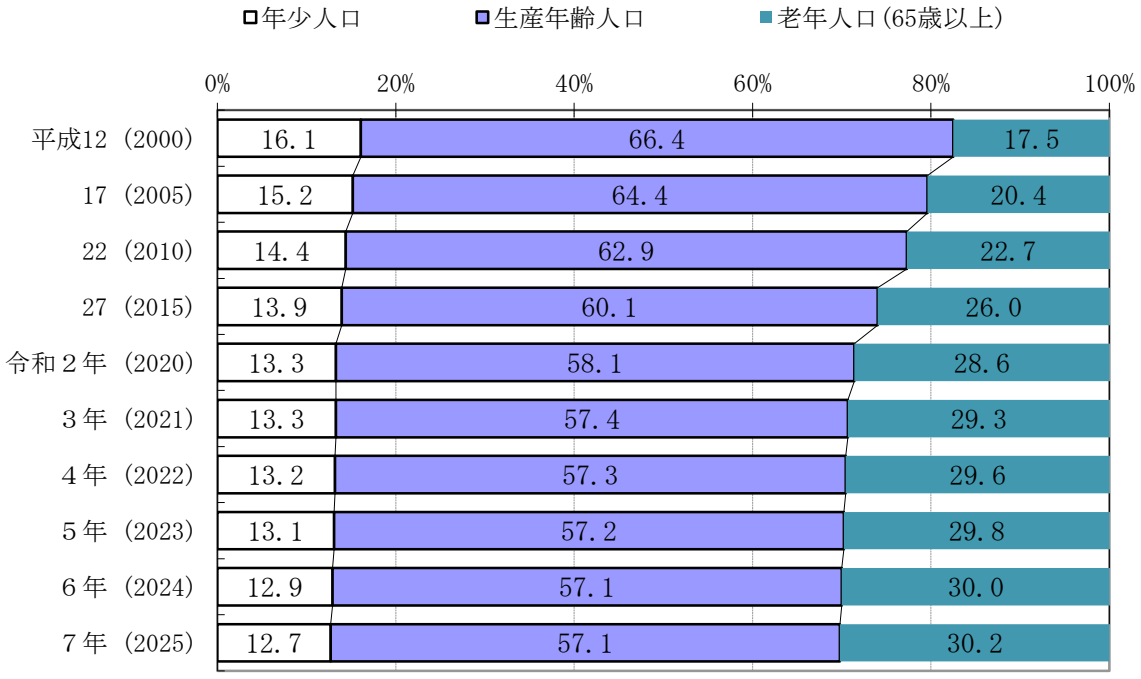
（注）１　世帯数、人口、老年人口は、国勢調査結果及びそれに基づく推計人口（各年１０月１日現在）
　　２　明治２２年から昭和５０年の老年人口は該当数値なし（国勢調査数値のみ）
　　３　平成１７年１０月１日に市町村合併を行なっている。（１市３町１村）
　　４　平成１９年１０月１日に南部３町と合併を行っている。

(2) 人口ピラミッド



※令和７年１０月１日現在
※人口は、国勢調査結果に基づく推計人口

(3) 年齢3区分別人口構成割合の年次推移



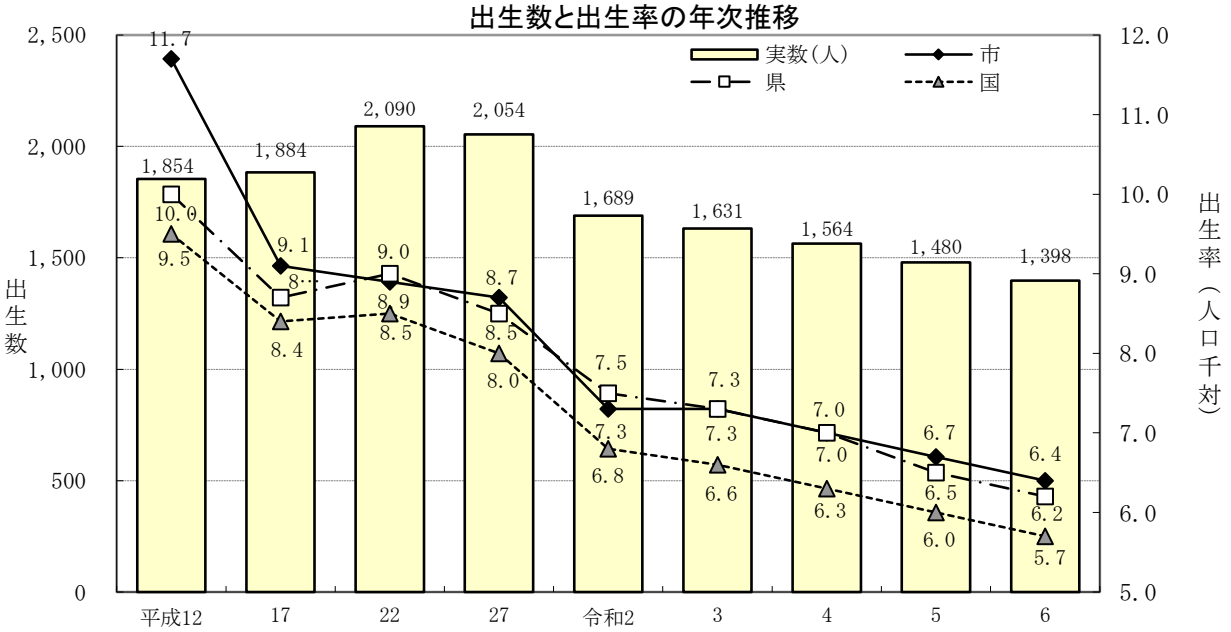
※人口は、国勢調査結果及びそれに基づく推計人口

2 人口動態

(1) 出 生

年 次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
実数(人)		1,854	1,884	2,090	2,054	1,689	1,631	1,564	1,480	1,398
出生率 (人口千対)	市	11.7	9.1	8.9	8.7	7.3	7.3	7.0	6.7	6.4
	県	10.0	8.7	9.0	8.5	7.5	7.3	7.0	6.5	6.2
	国	9.5	8.4	8.5	8.0	6.8	6.6	6.3	6.0	5.7

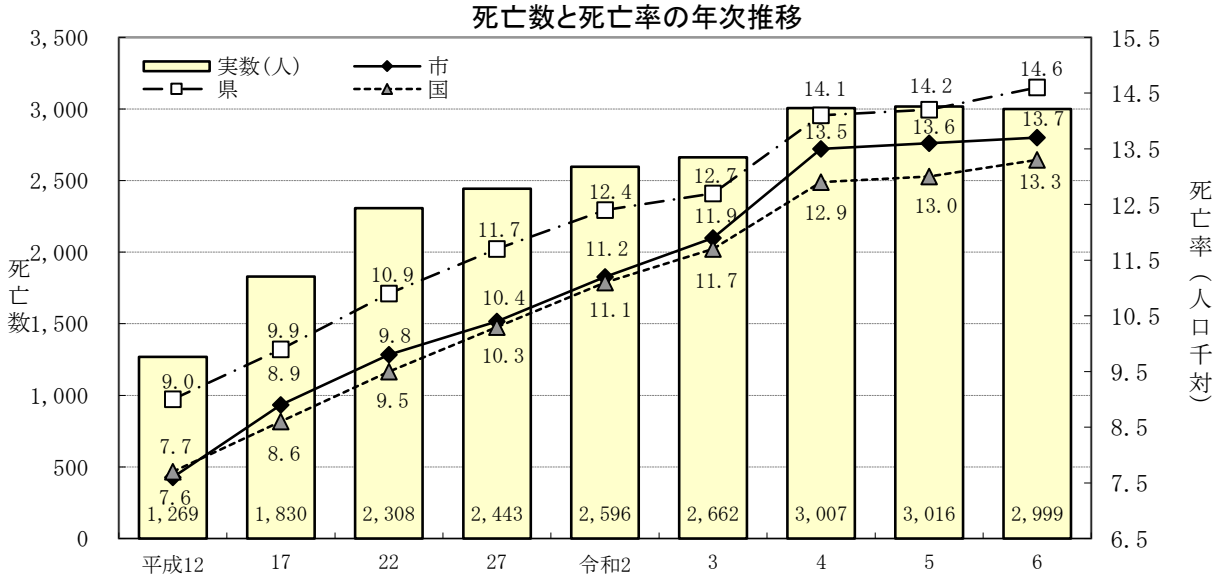
※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より



(2) 死 亡

年 次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
実数(人)		1,269	1,830	2,308	2,443	2,596	2,662	3,007	3,016	2,999
死亡率 (人口千対)	市	7.6	8.9	9.8	10.4	11.2	11.9	13.5	13.6	13.7
	県	9.0	9.9	10.9	11.7	12.4	12.7	14.1	14.2	14.6
	国	7.7	8.6	9.5	10.3	11.1	11.7	12.9	13.0	13.3

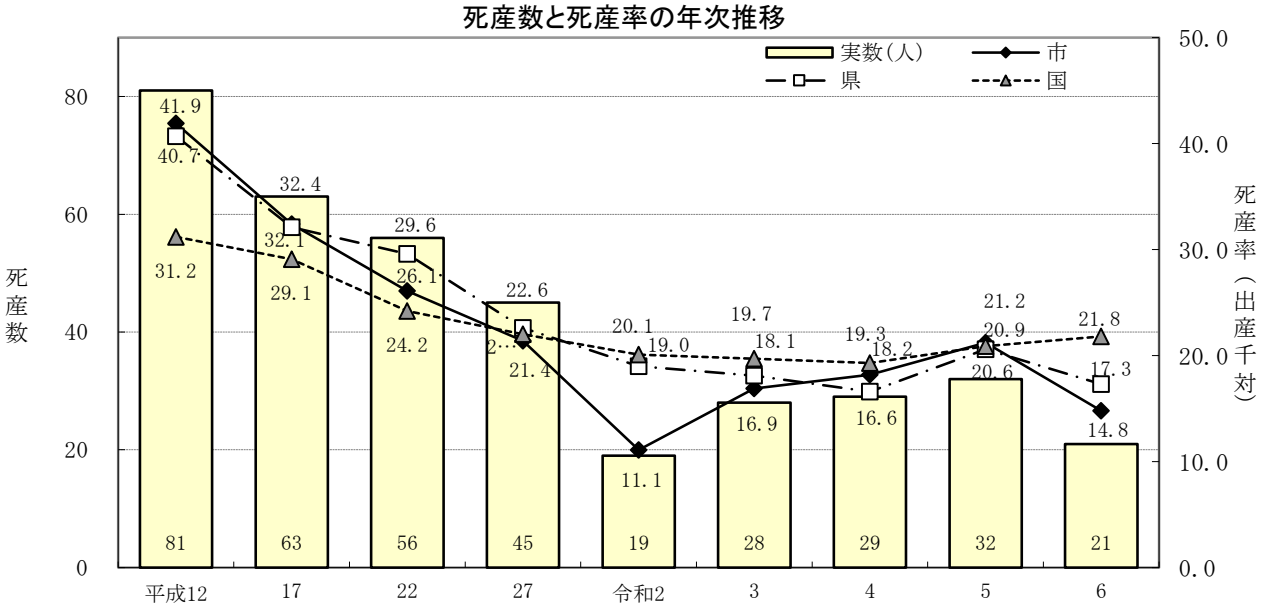
※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より



(3) 死　産(自然死産＋人工死産)

年　次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
実数(人)		81	63	56	45	19	28	29	32	21
死産率 (出産千対)	市	41.9	32.4	26.1	21.4	11.1	16.9	18.2	21.2	14.8
	県	40.7	32.1	29.6	22.6	19.0	18.1	16.6	20.6	17.3
	国	31.2	29.1	24.2	22.0	20.1	19.7	19.3	20.9	21.8

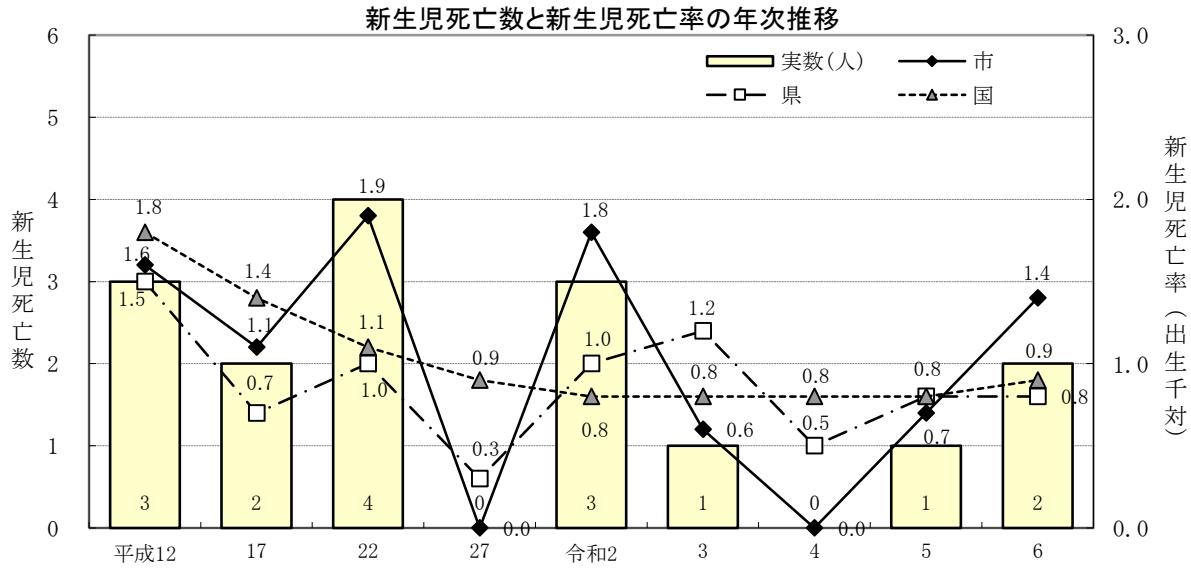
※死産率とは、死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除したものである。
※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より



(4) 新生児死亡

年　次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
実数(人)		3	2	4	0	3	1	0	1	2
新生児死亡率 (出生千対)	市	1.6	1.1	1.9	—	1.8	0.6	—	0.7	1.4
	県	1.5	0.7	1.0	0.3	1.0	1.2	0.5	0.8	0.8
	国	1.8	1.4	1.1	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9

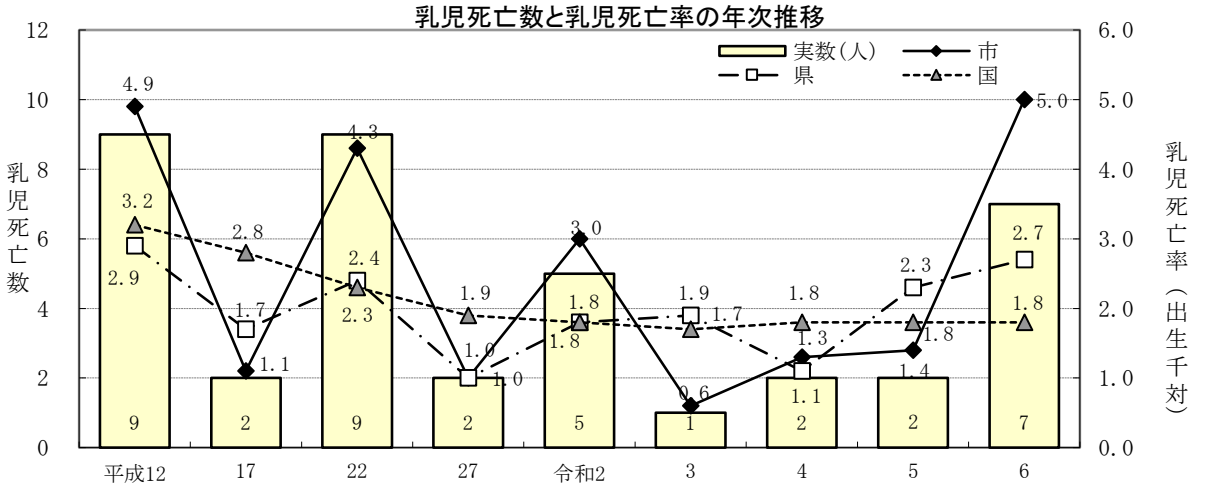
※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より



(5) 乳児死亡

年　次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
実数(人)		9	2	9	2	5	1	2	2	7
乳児死亡率（出生千対）	市	4.9	1.1	4.3	1.0	3.0	0.6	1.3	1.4	5.0
	県	2.9	1.7	2.4	1.0	1.8	1.9	1.1	2.3	2.7
	国	3.2	2.8	2.3	1.9	1.8	1.7	1.8	1.8	1.8

※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より



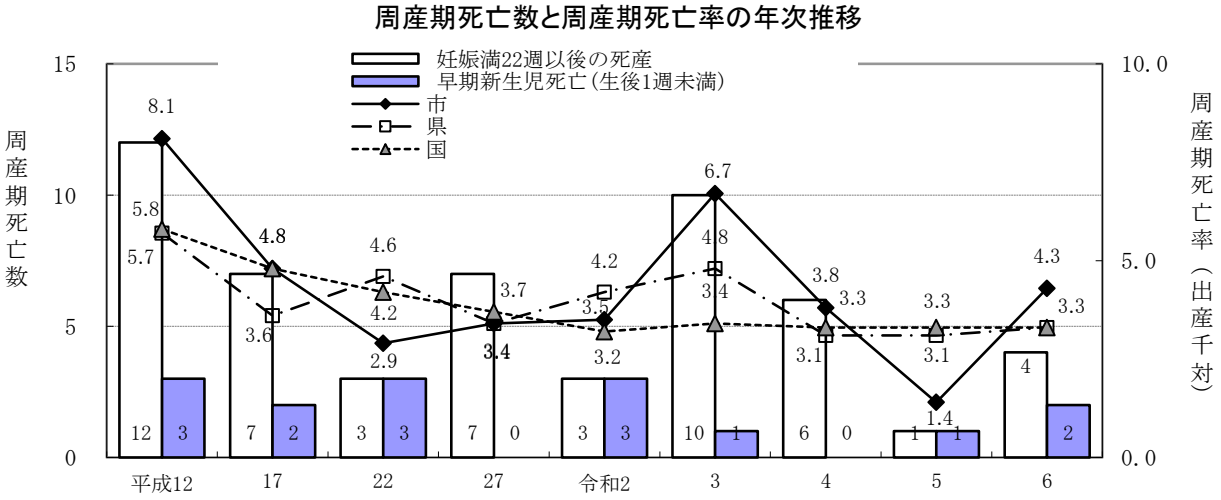
(6) 周産期死亡(妊娠満22週以後の死産＋生後1週未満の早期新生児死亡)

年　次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
注1)妊娠満22週以後の死産		12	7	3	7	3	10	6	1	4
早期新生児死亡(生後1週未満)		3	2	3	0	3	1	0	1	2
計		15	9	6	7	6	11	6	2	6
注2)周産期死亡率	市	8.1	4.8	2.9	3.4	3.5	6.7	3.8	1.4	4.3
	県	5.7	3.6	4.6	3.4	4.2	4.8	3.1	3.1	3.3
	国	5.8	4.8	4.2	3.7	3.2	3.4	3.3	3.3	3.3

注1)平成６年までは妊娠満２８週以後の死産であった。

注2)平成６年までは出生千対率であったが、平成７年からは出生数＋妊娠満２２週以後の死産数の千対率になった。

※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より

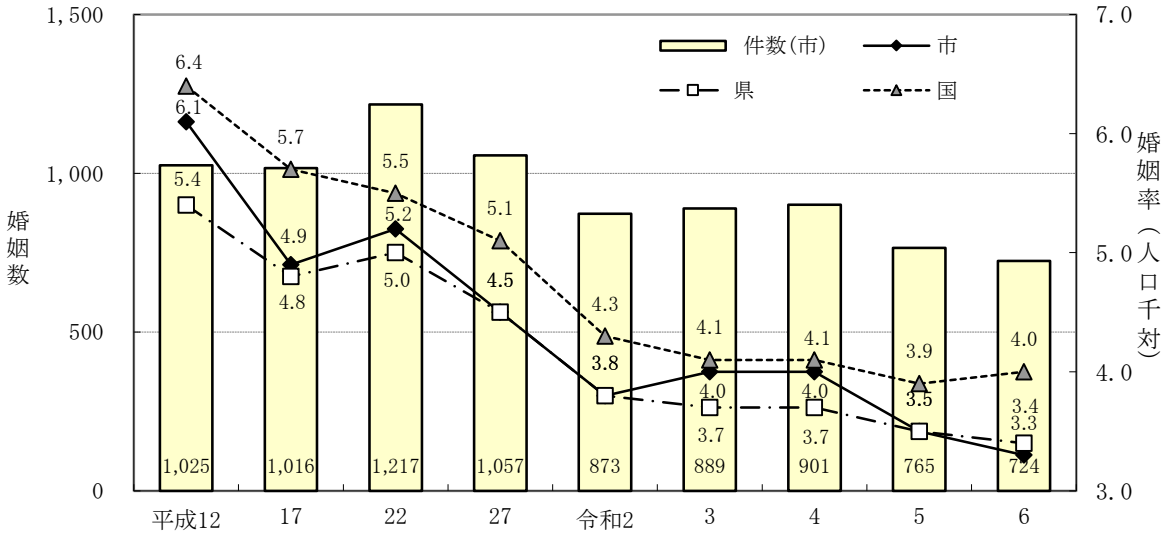


(7) 婚姻

年　次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
件数(市)		1,025	1,016	1,217	1,057	873	889	901	765	724
婚姻率（人口千対）	市	6.1	4.9	5.2	4.5	3.8	4.0	4.0	3.5	3.3
	県	5.4	4.8	5.0	4.5	3.8	3.7	3.7	3.5	3.4
	国	6.4	5.7	5.5	5.1	4.3	4.1	4.1	3.9	4.0
平均初婚年齢(市)	(夫)	28.4	29.5	29.6	30.1	30.2	30.5	29.7	29.8	30.0
	(妻)	26.9	27.8	28.4	28.9	28.9	29.5	28.6	28.9	28.8

※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より

婚姻数と婚姻率の年次推移

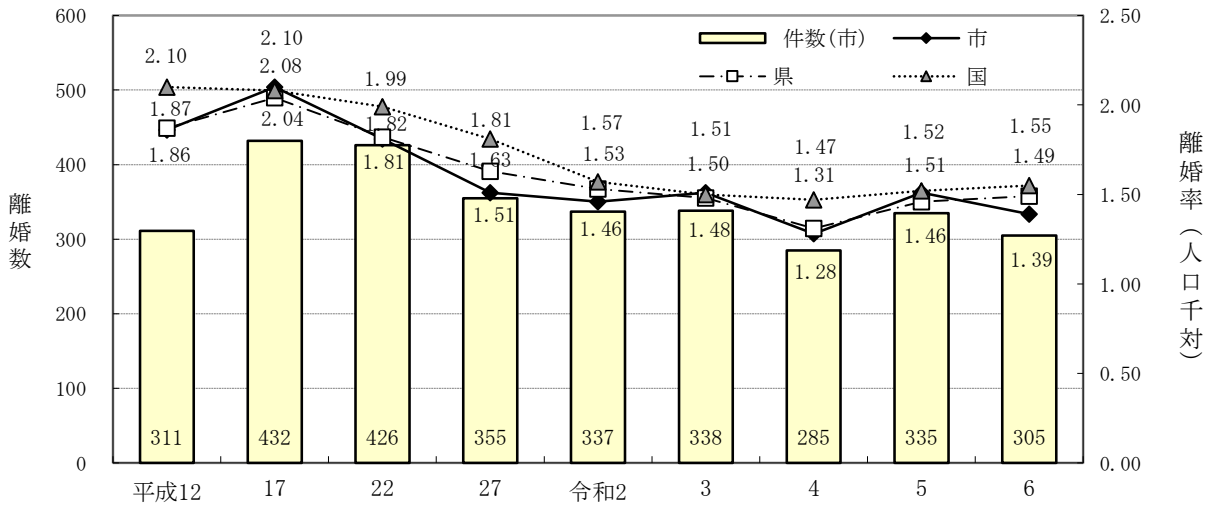


(8) 離婚

年　次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
件数(市)		311	432	426	355	337	338	285	335	305
離婚率（人口千対）	市	1.86	2.10	1.81	1.51	1.46	1.51	1.28	1.51	1.39
	県	1.87	2.04	1.82	1.63	1.53	1.48	1.31	1.46	1.49
	国	2.10	2.08	1.99	1.81	1.57	1.50	1.47	1.52	1.55

※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より

離婚数と離婚率の年次推移



3 出生の状況

(1) 出生時体重の年次比較

年次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
出生総数		1,854	1,884	2,090	2,054	1,689	1,631	1,564	1,480	1,398
出生時体重	1,000g 未満	8	4	12	5	5	3	4	5	3
		(0.4%)	(0.2%)	(0.6%)	(0.2%)	(0.3%)	(0.2%)	(0.3%)	(0.3%)	(0.2%)
	1,000g～1,500g 未満	6	14	6	10	0	10	6	5	5
		(0.3%)	(0.7%)	(0.3%)	(0.5%)	(0.0%)	(0.6%)	(0.4%)	(0.3%)	(0.4%)
	1,500g～2,000g 未満	29	30	26	27	12	21	10	22	19
		(1.6%)	(1.6%)	(1.2%)	(1.3%)	(0.7%)	(1.3%)	(0.6%)	(1.5%)	(1.4%)
	2,000g～2,500g 未満	138	138	156	143	121	117	107	101	92
		(7.4%)	(7.3%)	(7.5%)	(7.0%)	(7.2%)	(7.2%)	(6.8%)	(6.8%)	(6.6%)
	2,500g～3,000g 未満	637	706	788	712	586	581	573	531	538
		(34.4%)	(37.5%)	(37.7%)	(34.7%)	(34.7%)	(35.6%)	(36.6%)	(35.9%)	(38.5%)
	3,000g～3,500g 未満	801	779	860	877	750	711	674	647	574
		(43.2%)	(41.3%)	(41.1%)	(42.7%)	(44.4%)	(43.6%)	(43.1%)	(43.7%)	(41.1%)
	3,500g～4,000g 未満	218	196	226	264	190	178	174	157	152
		(11.8%)	(10.4%)	(10.8%)	(12.9%)	(11.2%)	(10.9%)	(11.1%)	(10.6%)	(10.9%)
	4,000g 以上	17	17	16	15	25	10	16	12	15
		(0.9%)	(0.9%)	(0.8%)	(0.7%)	(1.5%)	(0.6%)	(1.0%)	(0.8%)	(1.1%)
	不詳	－	－	－	1	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－	－	－	－
平均体重(kg)	男	3.09	3.05	3.04	3.09	3.08	3.07	3.09	3.07	3.07
	女	2.97	2.97	2.98	2.99	3.02	2.99	3.00	2.99	2.98

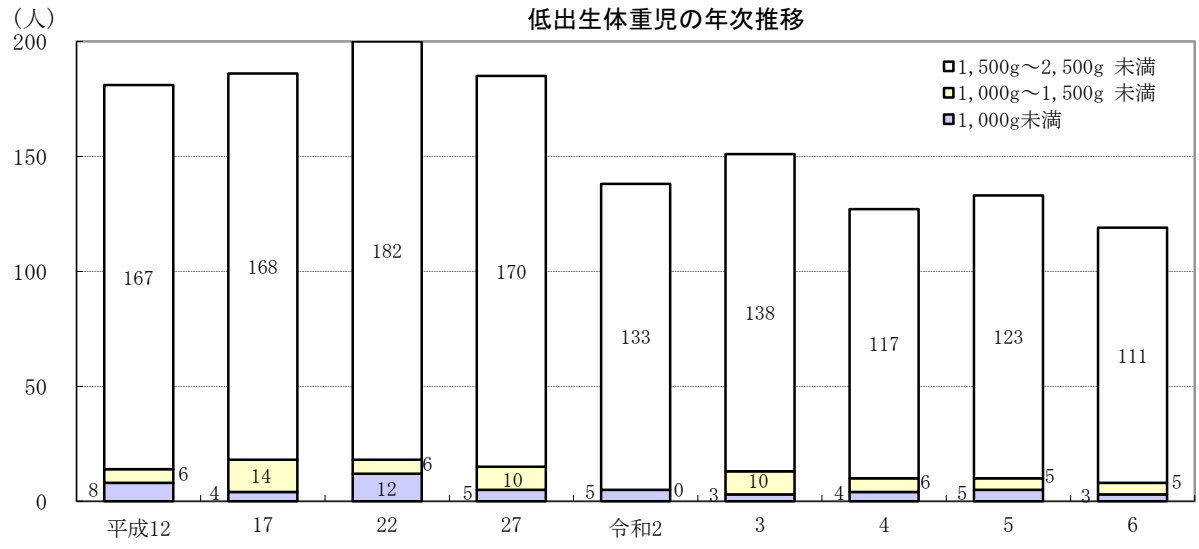
※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より

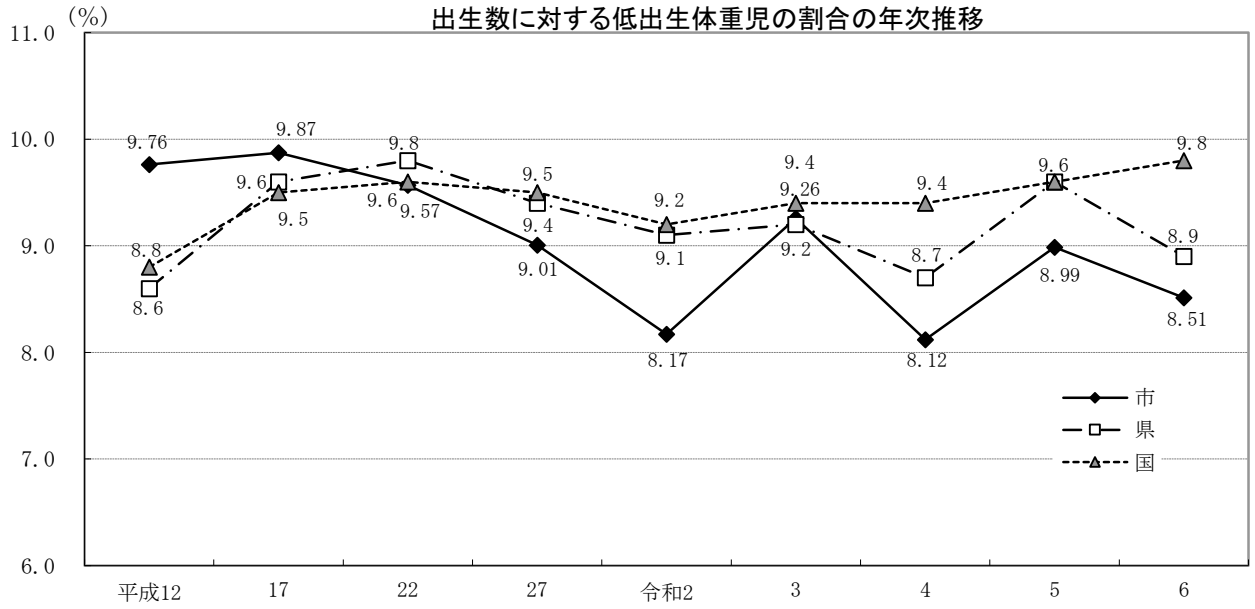
(2) 低出生体重児

(出生百対)

出生時体重＼年次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
1,500g～2,500g 未満		167	168	182	170	133	138	117	123	111
1,000g～1,500g 未満		6	14	6	10	0	10	6	5	5
1,000g未満		8	4	12	5	5	3	4	5	3
出生数に対する割合	市	9.76	9.87	9.57	9.01	8.17	9.26	8.12	8.99	8.51
	県	8.6	9.6	9.8	9.4	9.1	9.2	8.7	9.6	8.9
	国	8.8	9.5	9.6	9.5	9.2	9.4	9.4	9.6	9.8

※厚生労働省「人口動態統計」、佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より

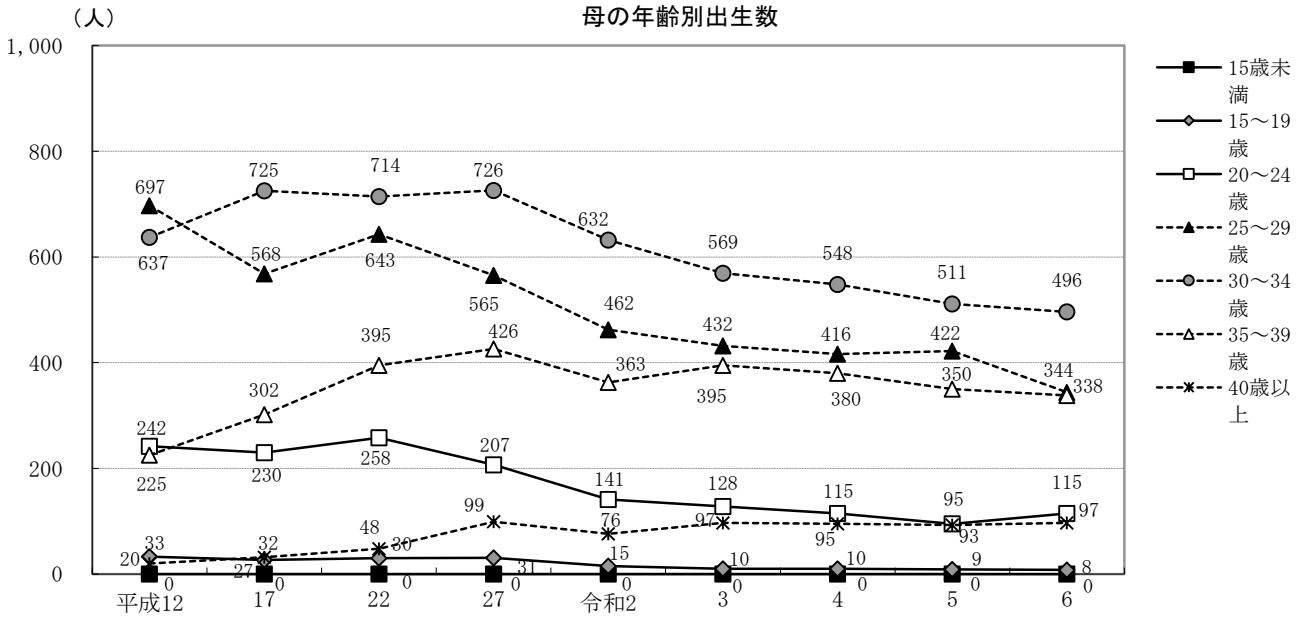




(3) 母の年齢別にみた出生数の年次比較

年次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
出生総数		1,854	1,884	2,090	2,054	1,689	1,631	1,564	1,480	1,398
出産時の母の年齢	15歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～19歳	33	27	30	31	15	10	10	9	8
	20～24歳	242	230	258	207	141	128	115	95	115
	25～29歳	697	568	643	565	462	432	416	422	344
	30～34歳	637	725	714	726	632	569	548	511	496
	35～39歳	225	302	395	426	363	395	380	350	338
	40歳以上	20	32	48	99	76	97	95	93	97

※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より

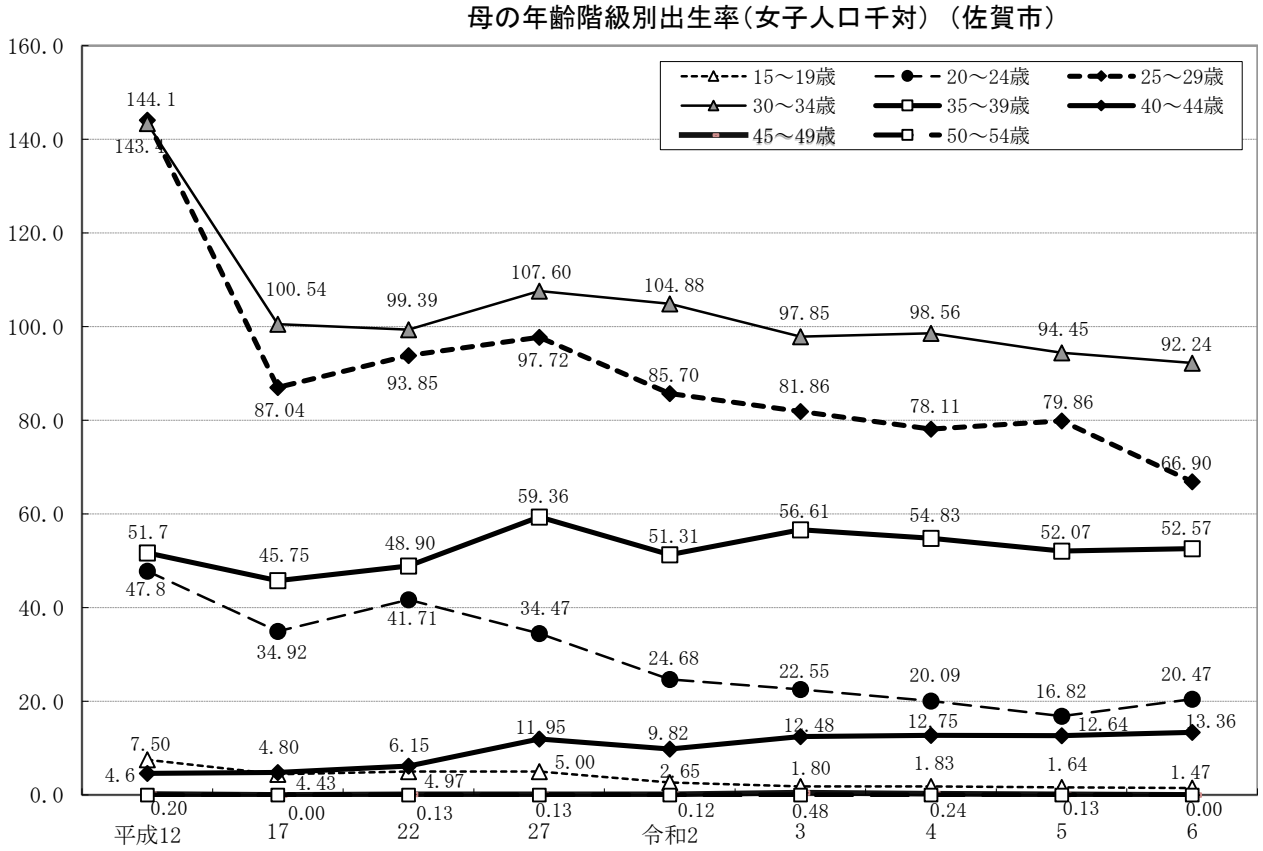


（4）母の年齢階級別出生率

（女子人口千対）

母の年齢＼年次		平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
15～19歳	市	7.5	4.43	4.97	5.00	2.65	1.80	1.83	1.64	1.47
	県	6.4	5.50	4.56	5.53	3.35	2.33	2.54	2.17	1.66
	国	5.4	5.2	4.6	4.1	2.5	2.1	1.7	1.7	1.6
20～24歳	市	47.8	34.92	41.71	34.47	24.68	22.55	20.09	16.82	20.47
	県	59.0	52.40	44.30	46.40	37.64	37.35	35.64	31.45	31.59
	国	39.9	36.6	36.1	29.4	23.0	20.8	18.5	16.8	15.4
25～29歳	市	144.1	87.04	93.85	97.72	85.70	81.86	78.11	79.86	66.90
	県	119.9	100.30	96.72	109.65	101.00	106.07	102.57	99.57	93.62
	国	99.5	85.3	87.4	85.1	74.7	72.2	69.6	65.0	61.4
30～34歳	市	143.4	100.54	99.39	107.60	104.88	97.85	98.56	94.45	92.24
	県	107.9	93.40	95.16	107.31	108.60	109.45	106.58	100.26	97.32
	国	93.5	85.6	95.3	103.3	97.3	96.2	93.9	90.8	87.4
35～39歳	市	51.7	45.75	48.90	59.36	51.31	56.61	54.83	52.07	52.57
	県	36.1	39.70	51.93	53.96	55.69	56.52	55.19	54.91	54.32
	国	32.1	36.1	46.2	56.4	55.3	55.5	53.8	52.4	50.7
40～44歳	市	4.6	4.80	6.15	11.95	9.82	12.48	12.75	12.64	13.36
	県	4.3	4.20	7.29	11.32	9.65	12.13	12.67	11.86	11.76
	国	3.9	5.0	8.1	11.0	11.8	12.4	12.2	12.5	12.0
45～49歳	市	0.2	－	0.13	0.13	0.12	0.48	0.24	0.13	－
	県	0.1	0.10	0.07	0.27	0.11	0.30	0.34	0.35	0.12
	国	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4
50～54歳	市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	県	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	国	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※佐賀市、佐賀県は佐賀市健康づくり課試算
　国は厚生労働省「人口動態統計」より

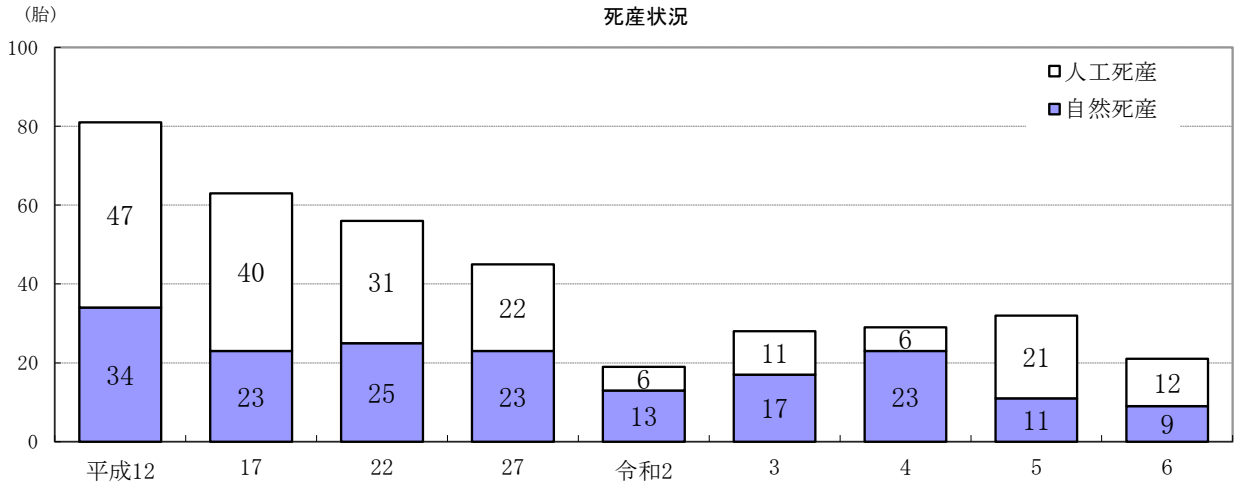


(5) 死産状況

（胎）

年　次	平成12 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)
自然死産	34	23	25	23	13	17	23	11	9
人工死産	47	40	31	22	6	11	6	21	12
計	81	63	56	45	19	28	29	32	21

※佐賀県健康福祉部「保健統計情報」より



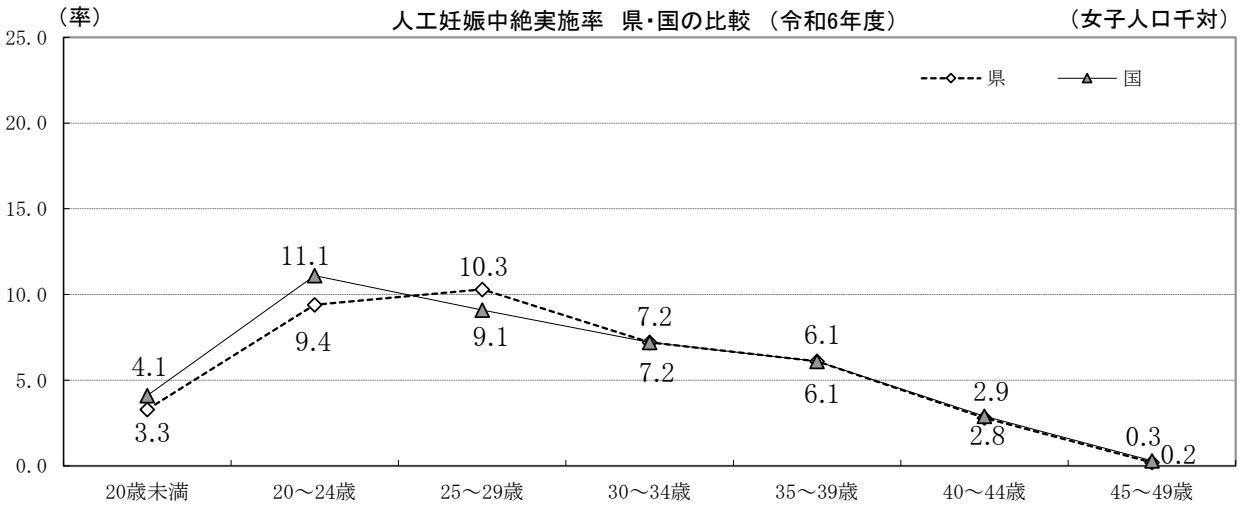
(6) 人工妊娠中絶の母の年齢階級別件数・率

（女子人口千対）

母の年齢	20歳未満			20～24歳			25～29歳			30～34歳			35～39歳			40～44歳			45～49歳		
年次	県		国	県		国	県		国	県		国	県		国	県		国	県		国
	件数	実施率	実施率	件数	実施率	実施率	件数	実施率	実施率	件数	実施率	実施率	件数	実施率	実施率	件数	実施率	実施率	件数	実施率	実施率
平成22 (2010)	195	9.1	6.9	369	18.2	14.9	396	17.1	12.7	398	15.7	10.3	329	12.2	8.3	145	5.7	3.7	14	0.5	0.3
27 (2015)	153	7.2	5.5	309	17.8	13.5	267	14.1	11.2	309	13.8	10.0	248	10.0	7.7	119	4.4	3.4	11	0.4	0.3
令和2 (2020)	77	4.0	3.8	219	12.8	12.2	177	10.6	9.7	234	12.0	8.3	220	9.6	7.2	86	3.4	3.2	9	0.3	0.3
3 (2021)	46	2.4	3.3	179	9.9	10.1	167	9.8	8.4	186	9.8	7.3	174	7.6	6.5	75	3.0	3.0	9	0.3	0.3
4 (2022)	51	2.7	3.6	169	9.4	10.0	147	8.6	8.4	150	8.3	7.1	178	8.1	6.2	85	3.4	2.8	18	0.7	0.2
5 (2023)	57	3.0	3.8	157	8.7	10.8	172	10.1	8.9	176	9.8	7.3	156	7.1	6.2	89	3.7	2.9	7	0.3	0.2
6 (2024)	62	3.3	4.1	169	9.4	11.1	165	10.3	9.1	129	7.2	7.2	129	6.1	6.1	68	2.8	2.9	5	0.2	0.3

※厚生労働省「衛生行政報告例」より

※実施率の「20歳未満」は、分母に15～19歳の女子人口、分子に15歳未満を含めた人工妊娠中絶件数を用いて計算した。


（率）
人工妊娠中絶実施率　県・国の比較　（令和6年度）
（女子人口千対）
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
県
国
4.1
3.3
11.1
9.4
10.3
9.1
7.2
7.2
6.1
6.1
2.9
2.8
0.3
0.2
20歳未満
20～24歳
25～29歳
30～34歳
35～39歳
40～44歳
45～49歳

4 死亡の状況

佐賀市における主な死因についてみると、死因別では悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の３大生活習慣病が、全国及び佐賀県と同様に上位を占めている。なかでも悪性新生物についてみると、全国では昭和56年から、佐賀県でも昭和53年から死因の第１位となっていたが、佐賀市ではすでに昭和50年から死因の第１位となっている。

(1) 主要死因別死亡者数・死亡割合

順位＼年次	昭和55(1980)		平成２(1990)		平成12（2000）		平成22（2010）		令和２（2020）		令和３（2021）	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
第１位	悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物	
	246	25.7	354	30.3	416	32.8	697	30.2	709	27.3	705	26.5
第２位	脳血管疾患		心疾患		心疾患		心疾患		心疾患		心疾患	
	168	17.6	199	17.0	173	13.6	368	15.9	370	14.3	354	13.3
第３位	心疾患		脳血管疾患		肺炎		肺炎		老衰		老衰	
	165	17.2	173	14.8	148	11.7	285	12.3	238	9.2	247	9.3
第４位	肺炎		肺炎		脳血管疾患		脳血管疾患		脳血管疾患		脳血管疾患	
	46	4.8	89	7.6	147	11.6	219	9.5	190	7.3	171	6.4
第５位	肝疾患		不慮の事故		不慮の事故		不慮の事故		肺炎		肺炎	
	39	4.1	59	5.1	66	5.2	69	3.0	172	6.6	149	5.6
第６位	高血圧性疾患		肝疾患		自殺		老衰		不慮の事故		誤嚥性肺炎	
	32	3.3	33	2.8	27	2.1	52	2.3	73	2.8	86	3.2
第７位	老衰		高血圧性疾患		老衰		自殺		誤嚥性肺炎		不慮の事故	
	29	3.0	31	2.7	24	1.9	49	2.1	65	2.5	78	2.9
第８位	自殺		老衰		肝疾患		腎不全		アルツハイマー病		アルツハイマー病	
	28	2.9	21	1.8	21	1.7	38	1.6	60	2.3	70	2.6
第９位	不慮の事故		自殺		慢性閉塞性肺疾患		肝疾患		腎不全		腎不全	
	24	2.5	21	1.8	18	1.4	34	1.5	54	2.1	54	2.0
第10位	腎不全		腎不全		糖尿病		慢性閉塞性肺疾患		慢性閉塞性肺疾患		血管性及び詳細不明の認知症	
	11	1.1	21	1.8	16	1.3	34	1.5	38	1.5	49	1.8
第11位	糖尿病		糖尿病		腎不全		大動脈瘤及び解離		血管性及び詳細不明の認知症		自殺	
	9	0.9	11	0.9	16	1.3	27	1.2	34	1.3	45	1.7
第12位					高血圧性疾患		糖尿病				間質性肺疾患	
					12	0.9	24	1.0			37	1.4
その他	その他		その他		その他		その他		その他		その他	
	160	16.7	156	13.4	185	14.6	412	17.9	593	22.8	617	23.2
合計	合計		合計		合計		合計		合計		合計	
	957	99.8	1,168	100.0	1,269	100.1	2,308	99.9	2,596	100.0	2,662	99.9

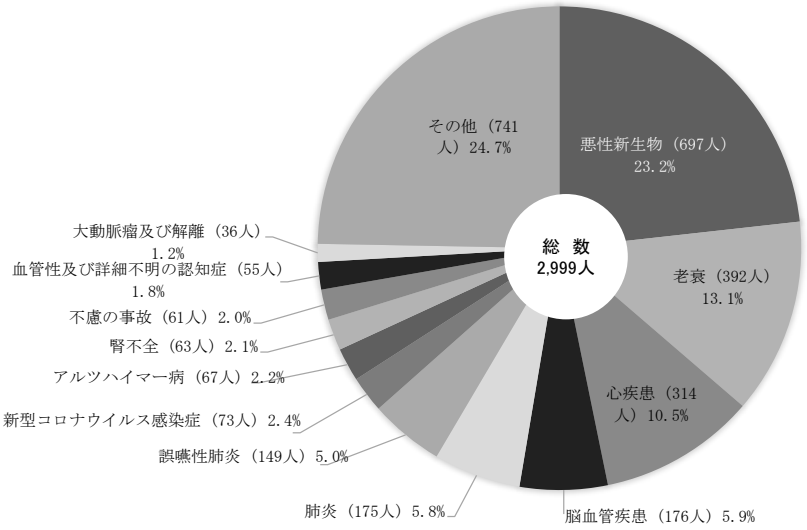
※佐賀県健康福祉部「人口動態統計」より

※割合は死亡者総数に対する割合（端数処理のため、割合の合計が100にならない場合がある。）

※「誤嚥性肺炎」は平成２９年から死因順位に用いる分類項目に追加された。

※「新型コロナウイルス感染症」は令和５年から死因順位に用いる分類項目に追加された。

主要死因別死亡割合（令和６年）



令和４（2022）		令和5（2023）		令和6（2024）	
件数	割合	件数	割合	件数	割合
悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物	
766	25.5	697	23.1	697	23.2
心疾患		心疾患		老衰	
394	13.1	371	12.3	392	13.1
老衰		老衰		心疾患	
356	11.8	364	12.1	314	10.5
脳血管疾患		脳血管疾患		脳血管疾患	
206	6.9	207	6.9	176	5.9
肺炎		肺炎		肺炎	
143	4.8	170	5.6	175	5.8
誤嚥性肺炎		誤嚥性肺炎		誤嚥性肺炎	
102	3.4	99	3.3	149	5.0
アルツハイマー病		アルツハイマー病		新型コロナウイルス感染症	
77	2.6	73	2.4	73	2.4
不慮の事故		新型コロナウイルス感染症		アルツハイマー病	
61	2.0	70	2.3	67	2.2
腎不全		不慮の事故		腎不全	
52	1.7	59	2.0	63	2.1
血管性及び詳細不明の認知症		腎不全		不慮の事故	
49	1.6	48	1.6	61	2.0
慢性閉塞性肺疾患		血管性及び詳細不明の認知症		血管性及び詳細不明の認知症	
34	1.1	45	1.5	55	1.8
				大動脈瘤及び解離	
				36	1.2
その他		その他		その他	
767	25.5	813	27.0	741	24.7
合計		合計		合計	
3,007	100.0	3,016	100.1	2,999	99.9

（２） 選択死因別死亡者数・死亡割合

①男

順位＼年次	昭和55(1980)		平成２(1990)		平成12 (2000)		平成22 (2010)		令和２ (2020)		令和３ (2021)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
第１位	悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物	
	138	28.6	214	34.5	238	36.5	415	35.0	406	32.0	381	29.6
第２位	脳血管疾患		心疾患		心疾患		心疾患		心疾患		心疾患	
	77	16.0	89	14.3	75	11.5	165	13.9	146	11.5	141	11.0
第３位	心疾患		脳血管疾患		肺炎		肺炎		脳血管疾患		脳血管疾患	
	72	14.9	84	13.5	68	10.4	132	11.1	90	7.1	80	6.2
第４位	肝疾患		肺炎		脳血管疾患		脳血管疾患		肺炎		肺炎	
	27	5.6	46	7.4	60	9.2	100	8.4	78	6.2	72	5.6
第５位	肺炎		不慮の事故		不慮の事故		自殺		老衰		老衰	
	22	4.6	34	5.5	41	6.3	39	3.3	62	4.9	66	5.1
第６位	自殺		肝疾患		自殺		不慮の事故		不慮の事故		不慮の事故	
	15	3.1	18	2.9	22	3.4	38	3.2	38	3.0	42	3.3
第７位	高血圧性疾患		高血圧性疾患		肝疾患		肝疾患		慢性閉塞性肺疾患		自殺	
	15	3.1	14	2.3	13	2.0	24	2.0	35	2.8	32	2.5
第８位	不慮の事故		自殺		糖尿病		慢性閉塞性肺疾患		腎不全		慢性閉塞性肺疾患	
	14	2.9	12	1.9	13	2.0	24	2.0	29	2.3	30	2.3
第９位	老衰		老衰		慢性閉塞性肺疾患		腎不全				腎不全	
	13	2.7	12	1.9	12	1.8	15	1.3			24	1.9
第10位	腎不全		腎不全		腎不全		糖尿病				大動脈瘤及び解離	
	5	1.0	8	1.3	7	1.1	15	1.3			18	1.4
第11位	糖尿病		糖尿病		老衰		老衰				肝疾患	
	4	0.8	4	0.6	7	1.1	13	1.1			15	1.2
第12位					高血圧性疾患		大動脈瘤及び解離				糖尿病	
					3	0.5	12	1.0			13	1.0
その他	その他		その他		その他		その他		その他		その他	
	80	16.6	86	13.8	93	14.3	193	16.3	384	30.3	373	29.0
合計	合計		合計		合計		合計		合計		合計	
	482	99.9	621	99.9	652	100.1	1,185	99.9	1,268	100.1	1,287	100.1

② 女

順位＼年次	昭和55(1980)		平成2(1990)		平成12 (2000)		平成22 (2010)		令和２ (2020)		令和３ (2021)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
第１位	悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物	
	108	22.7	140	25.6	178	28.8	282	25.1	303	22.8	324	23.6
第２位	心疾患		心疾患		心疾患		心疾患		心疾患		心疾患	
	93	19.6	110	20.1	98	15.9	203	18.1	224	16.9	213	15.5
第３位	脳血管疾患		脳血管疾患		脳血管疾患		肺炎		老衰		老衰	
	91	19.2	89	16.3	87	14.1	153	13.6	176	13.3	181	13.2
第４位	肺炎		肺炎		肺炎		脳血管疾患		脳血管疾患		脳血管疾患	
	24	5.1	43	7.9	80	13.0	119	10.6	100	7.5	91	6.6
第５位	高血圧性疾患		不慮の事故		不慮の事故		老衰		肺炎		肺炎	
	17	3.6	25	4.6	25	4.1	39	3.5	94	7.1	77	5.6
第６位	老衰		高血圧性疾患		老衰		不慮の事故		不慮の事故		不慮の事故	
	16	3.4	17	3.1	17	2.8	31	2.8	35	2.6	36	2.6
第７位	自殺		肝疾患		腎不全		腎不全		腎不全		腎不全	
	13	2.7	15	2.7	9	1.5	23	2.0	25	1.9	30	2.2
第８位	肝疾患		腎不全		高血圧性疾患		大動脈瘤及び解離		高血圧性疾患		高血圧性疾患	
	12	2.5	13	2.4	9	1.5	15	1.3	16	1.2	17	1.2
第９位	不慮の事故		自殺		肝疾患		自殺				大動脈瘤及び解離	
	10	2.1	9	1.6	8	1.3	10	0.9			15	1.1
第10位	腎不全		老衰		慢性閉塞性肺疾患		高血圧性疾患				自殺	
	6	1.3	9	1.6	6	1.0	10	0.9			13	0.9
第11位	糖尿病		糖尿病		自殺		肝疾患				糖尿病	
	5	1.1	7	1.3	5	0.8	10	0.9			6	0.4
第12位					糖尿病		糖尿病				肝疾患	
					3	0.5	10	0.9			5	0.4
その他	その他		その他		その他		その他		その他		その他	
	80	16.8	70	12.8	92	14.9	218	19.4	355	26.7	367	26.7
合計	合計		合計		合計		合計		合計		合計	
	475	100.1	547	100.0	617	100.2	1,123	99.7	1,328	100.0	1,375	100.0

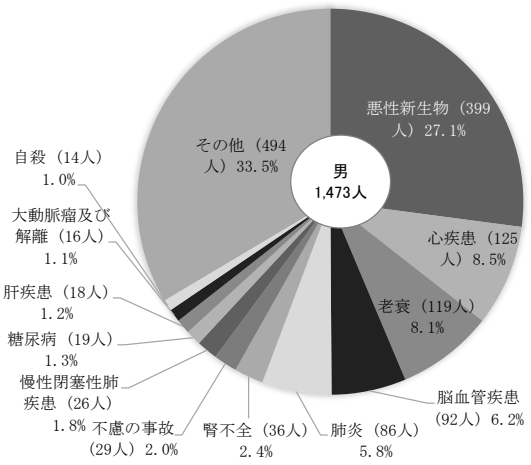
※佐賀県健康福祉部「人口動態統計」より

※割合は死亡者総数に対する割合（端数処理のため、割合の合計が100にならない場合がある。）

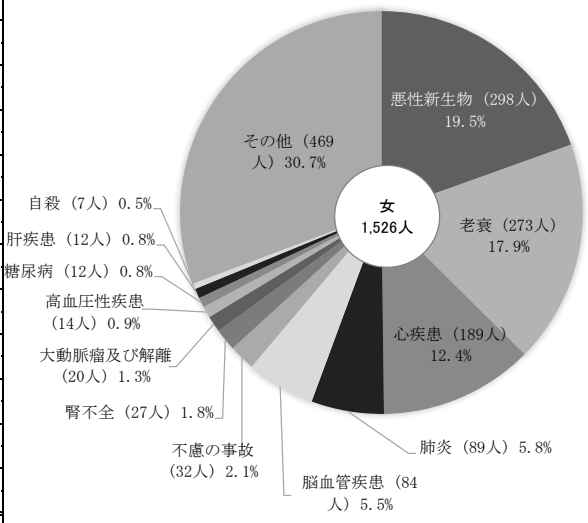
※令和３年までは主要死因別死亡者数の順位、令和４年から選択死因別死亡者数の順位である。

令和４（2022）		令和５（2023）		令和６（2024）	
件数	割合	件数	割合	件数	割合
悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物	
439	30.1	386	26.3	399	27.1
心疾患		心疾患		心疾患	
166	11.4	168	11.4	125	8.5
脳血管疾患		老　　衰		老衰	
99	6.8	100	6.8	119	8.1
老　　衰		脳血管疾患		脳血管疾患	
95	6.5	99	6.7	92	6.2
肺炎		肺炎		肺炎	
82	5.6	87	5.9	86	5.8
不慮の事故		不慮の事故		腎不全	
38	2.6	34	2.3	36	2.4
慢性閉塞性肺疾患		自殺		不慮の事故	
28	1.9	30	2.0	29	2.0
腎不全		慢性閉塞性肺疾患		慢性閉塞性肺疾患	
25	1.7	26	1.8	26	1.8
自殺		腎不全		糖尿病	
19	1.3	24	1.6	19	1.3
大動脈瘤及び解離		肝疾患		肝疾患	
18	1.2	22	1.5	18	1.2
糖尿病		糖尿病		大動脈瘤及び解離	
15	1.0	18	1.2	16	1.1
肝疾患		高血圧性疾患		自殺	
14	1.0	18	1.2	14	1.0
その他		その他		その他	
422	28.9	457	31.1	494	33.5
合計		合計		合計	
1,460	100.0	1,469	99.8	1,473	100.0

選択死因別死亡者数・死亡割合（令和６年）



令和４（2022）		令和５（2023）		令和６（2024）	
件数	割合	件数	割合	件数	割合
悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物	
327	21.1	311	20.1	298	19.5
老衰		老衰		老衰	
261	16.9	264	17.1	273	17.9
心疾患		心疾患		心疾患	
228	14.7	203	13.1	189	12.4
脳血管疾患		脳血管疾患		肺炎	
107	6.9	108	7.0	89	5.8
肺炎		肺炎		脳血管疾患	
61	3.9	83	5.4	84	5.5
腎不全		大動脈瘤及び乖離		不慮の事故	
27	1.7	27	1.7	32	2.1
不慮の事故		不慮の事故		腎不全	
23	1.5	25	1.6	27	1.8
高血圧性疾患		腎不全		大動脈瘤及び解離	
17	1.1	24	1.6	20	1.3
糖尿病		高血圧性疾患		高血圧性疾患	
13	0.8	23	1.5	14	0.9
大動脈瘤及び解離		肝疾患		糖尿病	
13	0.8	20	1.3	12	0.8
自殺		糖尿病		肝疾患	
12	0.8	11	0.7	12	0.8
肝疾患		自殺		自殺	
8	0.5	8	0.5	7	0.5
その他		その他		その他	
450	29.1	440	28.4	469	30.7
合計		合計		合計	
1,547	99.8	1,547	100.0	1,526	100.0



(3) 死因別死亡数及び死亡率(人口10万対)の年次推移

性別	年次	総数					①悪性新生物					②心疾患				
		佐賀市		佐賀県		全国	佐賀市		佐賀県		全国	佐賀市		佐賀県		全国
		死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率	死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率	死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率
総数	平成7(1995)	1,239	726.9	900.7	9	741.9	387	227.1	262.9	4	211.6	181	106.2	127.5	16	112.0
	12(2000)	1,269	759.5	903.7	13	765.0	416	249.0	282.9	7	235.2	173	103.5	125.8	28	116.8
	17(2005)	1,830	888.4	990.2	18	858.8	631	306.3	313.9	7	258.3	262	127.2	145.1	30	137.2
	22(2010)	2,308	982.6	1,088.7	22	947.1	697	296.7	320.7	14	279.7	368	156.7	162.0	28	149.8
	27(2015)	2,443	1,038.5	1,170.4	21	1,029.7	722	306.9	325.5	19	295.5	312	132.6	152.1	37	156.5
	令和2(2020)	2,596	1,120.9	1,237.8	23	1,112.5	709	306.1	334.1	19	306.6	370	159.8	184.9	21	166.6
	3(2021)	2,662	1,186.0	1,268.1	27	1,172.7	705	314.1	334.3	19	310.7	354	157.7	175.4	38	174.9
	4(2022)	3,007	1,347.1	1,412.9	26	1,285.8	766	343.1	348.5	17	316.1	394	176.5	197.6	34	190.9
	5(2023)	3,016	1,362.0	1,424.8	26	1,300.4	697	314.8	340.2	19	315.6	371	167.5	191.5	37	190.7
	6(2024)	2,999	1,366.1	1,464.7	24	1,334.5	697	317.5	341.7	20	319.3	314	143.0	185.2	40	188.2
男	平成7(1995)	656	809.6	994.7	－	822.9	224	276.4	330.4	－	262.0	96	118.5	123.8	－	114.4
	12(2000)	652	822.2	1,012.2	－	855.3	238	300.1	364.2	－	291.3	75	94.6	122.4	－	117.3
	17(2005)	943	966.5	1,087.9	－	949.4	350	358.7	382.2	－	319.1	121	124.0	140.3	－	136.3
	22(2010)	1,185	1,069.2	1,178.8	－	1,029.2	415	374.4	396.2	－	343.4	165	148.9	148.5	－	144.2
	27(2015)	1,191	1,073.1	1,197.0	－	1,092.6	415	373.9	395.8	－	359.7	130	117.1	133.3	－	151.0
	令和2(2020)	1,268	1,158.8	1,265.9	－	1,178.0	406	371.0	406.1	－	368.3	146	133.4	163.0	－	165.5
	3(2021)	1,287	1,213.3	1,291.6	－	1,236.7	381	359.2	393.7	－	372.7	141	132.9	154.1	－	173.7
	4(2022)	1,460	1,382.7	1,429.2	－	1,347.8	439	415.8	415.1	－	376.5	166	157.2	170.3	－	190.5
	5(2023)	1,469	1,403.5	1,448.5	－	1,362.5	386	368.8	408.8	－	375.8	168	160.5	170.2	－	192.1
	6(2024)	1,473	1,418.0	1,494.6	－	1,402.4	399	384.1	413.6	－	379.4	125	120.3	161.0	－	190.6
女	平成7(1995)	583	652.0	816.2	－	664.0	163	182.3	202.3	－	163.1	85	95.1	130.9	－	109.6
	12(2000)	617	702.9	806.4	－	679.5	178	202.8	209.7	－	181.4	98	111.6	128.9	－	116.3
	17(2005)	887	818.2	903.0	－	772.3	281	259.2	252.9	－	200.3	141	130.1	149.4	－	138.0
	22(2010)	1,123	905.2	1,008.4	－	869.2	282	227.3	253.5	－	219.2	203	163.6	174.1	－	155.2
	27(2015)	1,252	1,007.6	1,146.6	－	970.1	307	247.1	262.5	－	234.6	182	146.5	169.0	－	161.7
	令和2(2020)	1,328	1,086.9	1,212.5	－	1,050.4	303	248.0	269.1	－	248.3	224	183.3	204.6	－	167.7
	3(2021)	1,375	1,161.6	1,250.0	－	1,112.2	324	273.7	281.4	－	252.1	213	179.9	195.0	－	175.9
	4(2022)	1,547	1,315.1	1,394.7	－	1,227.2	327	278.0	287.5	－	259.1	228	193.8	221.8	－	191.3
	5(2023)	1,547	1,324.8	1,406.8	－	1,241.7	311	266.3	278.9	－	258.7	203	173.8	211.2	－	189.5
	6(2024)	1,526	1,319.4	1,437.7	－	1,270.4	298	257.7	276.7	－	262.5	189	163.4	207.1	－	185.9

※死因分類について：死因分類は「疾病及び関連保健問題の国際統計分類ICD-10（2013年版）」に準拠した「疾病、傷害及び死因の統計分類」に基づくものであり、ICD-10の改正により、死因の年次推移は完全な内容の一致をみることはできない。

性別	年次	③ 脳血管疾患					④ 肺炎					⑤ 老衰				
		佐賀市		佐賀県		全国	佐賀市		佐賀県		全国	佐賀市		佐賀県		全国
		死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率	死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率	死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率
総数	平成7(1995)	167	98.0	187.6	22	117.9	111	65.1	98.4	3	64.1	24	14.2	23.1	18	17.1
	12(2000)	147	88.0	119.7	25	105.5	148	88.6	94.4	5	69.2	24	14.4	21.3	18	16.9
	17(2005)	206	100.0	115.8	27	105.3	203	98.6	102.4	18	85.0	35	17.0	25.8	22	20.9
	22(2010)	219	93.2	106.6	27	97.7	285	121.3	133.0	5	94.1	52	22.1	32.3	36	35.9
	27(2015)	197	83.7	100.9	25	89.4	283	120.3	133.1	6	96.5	115	48.9	62.4	36	67.7
	令和2(2020)	190	82.0	85.4	34	83.5	172	74.3	88.3	10	63.6	238	102.8	109.5	28	107.3
	3(2021)	171	76.2	84.9	34	85.2	149	66.4	86.6	8	59.6	247	110.0	114.0	38	123.8
	4(2022)	206	92.3	88.8	33	88.1	143	64.1	87.6	7	60.7	356	159.5	144.9	35	147.1
	5(2023)	207	93.5	88.3	33	86.3	170	76.8	91.6	9	62.5	364	164.4	154.7	34	156.7
	6(2024)	176	80.2	83.5	35	85.5	175	79.7	99.5	8	66.6	392	178.6	174.3	33	172.0
男	平成7(1995)	77	95.0	129.3	－	114.2	52	64.2	105.1	－	69.6	5	6.2	18.4	－	11.0
	12(2000)	60	75.7	109.6	－	102.7	68	85.7	97.7	－	76.0	7	8.8	11.6	－	9.8
	17(2005)	99	101.5	114.7	－	103.3	100	102.5	111.3	－	93.0	7	7.2	11.3	－	10.8
	22(2010)	100	90.2	106.8	－	97.7	132	119.1	143.9	－	103.2	13	11.7	12.5	－	17.5
	27(2015)	85	76.6	94.7	－	87.8	133	119.8	137.1	－	107.5	23	20.7	27.1	－	34.2
	令和2(2020)	90	82.2	80.2	－	84.0	78	71.3	92.0	－	74.8	62	56.7	59.0	－	59.6
	3(2021)	80	75.4	82.8	－	86.4	72	67.9	86.8	－	70.9	66	62.2	53.8	－	69.2
	4(2022)	99	93.8	90.7	－	89.7	82	77.7	98.9	－	72.2	95	90.0	74.8	－	84.2
	5(2023)	99	94.6	89.3	－	87.7	87	83.1	97.9	－	73.9	100	95.5	81.2	－	90.4
	6(2024)	92	88.6	85.6	－	87.6	86	82.8	108.1	－	79.6	119	114.6	92.4	－	100.6
女	平成7(1995)	90	100.7	145.1	－	121.4	59	66.0	92.3	－	58.7	16	17.9	29.3	－	23.4
	12(2000)	87	99.1	128.7	－	108.2	80	91.1	91.4	－	62.7	17	19.4	33.0	－	23.7
	17(2005)	107	98.7	116.7	－	107.1	103	95.0	94.5	－	77.3	28	25.8	38.8	－	30.5
	22(2010)	119	95.9	106.4	－	97.6	153	123.3	123.2	－	85.4	39	31.4	49.8	－	53.3
	27(2015)	112	90.1	106.3	－	90.8	150	120.7	129.4	－	86.1	92	74.0	94.0	－	99.4
	令和2(2020)	100	81.8	90.0	－	83.0	94	76.9	85.1	－	52.9	176	144.0	155.0	－	152.5
	3(2021)	91	76.9	86.9	－	84.0	77	65.0	86.7	－	48.9	181	152.9	168.6	－	175.5
	4(2022)	107	91.0	86.8	－	86.6	61	51.9	77.2	－	49.7	261	221.9	207.9	－	206.6
	5(2023)	108	92.5	87.6	－	84.8	83	71.1	86.2	－	51.7	264	226.1	221.6	－	219.4
	6(2024)	84	72.6	81.6	－	83.5	89	77.0	91.7	－	54.4	273	236.0	248.3	－	239.5

性別	年次	⑥ 不慮の事故					⑦誤嚥性肺炎					⑧アルツハイマー病				
		佐賀市		佐賀県		全国	佐賀市		佐賀県		全国	佐賀市		佐賀県		全国
		死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率	死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率	死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率
総数	平成7(1995)	49	28.7	39.3	17	36.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	12(2000)	66	39.5	39.7	14	31.4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	17(2005)	72	35.0	40.3	17	31.6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	22(2010)	69	29.4	38.8	24	32.2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	27(2015)	74	31.5	39.6	16	30.6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	令和2(2020)	73	31.5	37.4	22	30.9	65	28.0	43.9	10	34.6	60	25.8	20.9	24	16.9
	3(2021)	78	34.8	37.3	23	31.2	86	38.3	52.9	9	40.3	70	31.2	24.0	21	18.7
	4(2022)	61	27.3	35.1	35	35.6	102	45.7	54.0	18	45.9	77	34.5	27.6	15	20.4
	5(2023)	59	26.6	35.2	38	36.7	99	44.7	56.6	18	49.7	73	32.9	26.3	24	21.0
	6(2024)	61	27.8	36.3	36	38.0	149	67.9	73.5	6	52.9	67	30.5	23.3	30	21.3
男	平成7(1995)	23	28.4	51.2	－	46.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	12(2000)	41	51.7	53.5	－	40.9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	17(2005)	41	42.0	51.1	－	39.9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	22(2010)	38	34.3	46.4	－	38.9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	27(2015)	45	40.5	46.5	－	36.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	令和2(2020)	38	34.7	43.0	－	36.6	－	－	51.1	－	41.8	－	－	15.2	－	12.1
	3(2021)	42	39.6	43.3	－	36.9	－	－	67.3	－	49.1	－	－	16.9	－	13.4
	4(2022)	38	36.0	39.8	－	41.6	－	－	60.5	－	56.4	－	－	17.5	－	14.7
	5(2023)	34	32.5	41.0	－	43.4	－	－	64.6	－	60.5	－	－	15.5	－	14.7
	6(2024)	29	27.9	40.1	－	44.5	－	－	87.5	－	64.9	－	－	16.0	－	15.2
女	平成7(1995)	26	29.1	28.6	－	27.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	12(2000)	25	28.5	27.3	－	22.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	17(2005)	31	28.6	30.7	－	23.6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	22(2010)	31	25.0	32.0	－	25.9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	27(2015)	29	23.3	33.4	－	25.2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	令和2(2020)	35	28.6	32.4	－	25.5	－	－	37.3	－	27.9	－	－	26.0	－	21.5
	3(2021)	36	30.4	31.9	－	25.9	－	－	40.0	－	32.0	－	－	30.5	－	23.7
	4(2022)	23	19.6	30.7	－	29.9	－	－	48.0	－	36.1	－	－	36.7	－	25.8
	5(2023)	25	21.4	30.1	－	30.3	－	－	49.5	－	39.4	－	－	36.2	－	27.0
	6(2024)	32	27.7	32.8	－	31.9	－	－	60.8	－	41.7	－	－	29.9	－	27.0

性別	年次	⑨ 腎不全					⑩ 慢性閉塞性肺疾患					⑪ 自殺				
		佐賀市		佐賀県		全国	佐賀市		佐賀県		全国	佐賀市		佐賀県		全国
		死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率	死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率	死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率
総数	平成7(1995)	16	9.4	13.3	27	13.0	17	10.0	10.7	32	10.5	34	20.1	24.9	24	25.4
	12(2000)	16	9.6	12.7	34	13.7	18	10.8	12.1	22	10.2	27	16.2	25.1	20	24.1
	17(2005)	27	13.1	14.6	37	16.3	22	10.7	14.1	15	11.4	46	22.3	25.0	22	24.2
	22(2010)	38	16.2	16.7	40	18.8	34	14.5	18.3	6	12.9	49	20.9	26.0	8	23.4
	27(2015)	39	16.6	22.8	22	19.6	30	12.8	17.9	6	12.6	39	16.6	16.6	40	18.5
	令和2(2020)	54	23.3	24.6	23	21.8	38	16.4	16.8	9	13.1	33	14.2	13.4	47	16.4
	3(2021)	54	24.1	27.8	18	23.4	34	15.1	14.8	21	13.3	45	20.0	15.0	44	16.5
	4(2022)	52	23.3	27.7	24	25.2	34	15.2	15.9	19	13.7	31	13.9	16.4	33	17.4
	5(2023)	48	21.7	26.7	25	24.9	30	13.5	15.4	26	14.0	38	17.2	14.8	43	17.4
	6(2024)	63	28.7	30.8	17	24.7	30	13.7	16.3	13	13.8	21	9.6	12.1	47	16.3
男	平成7(1995)	9	11.1	12.7	－	12.8	15	18.5	17.2	－	15.5	11	13.6	21.8	－	23.4
	12(2000)	7	8.8	9.7	－	13.1	12	15.1	19.1	－	15.6	22	27.7	39.7	－	35.2
	17(2005)	9	9.2	10.1	－	15.4	18	18.4	23.6	－	17.9	37	37.9	40.0	－	36.1
	22(2010)	15	13.5	15.0	－	17.9	24	21.7	28.6	－	20.6	39	35.2	42.1	－	34.2
	27(2015)	20	18.0	22.2	－	19.5	26	23.4	28.3	－	20.7	28	25.2	26.3	－	26.6
	令和2(2020)	29	26.5	24.6	－	23.3	35	32.0	28.3	－	22.4	27	24.7	22.3	－	22.6
	3(2021)	24	22.6	27.4	－	25.3	30	28.3	27.2	－	22.9	32	30.2	20.3	－	22.6
	4(2022)	25	23.7	26.3	－	27.3	28	26.5	27.6	－	23.6	19	18.0	26.0	－	24.2
	5(2023)	24	22.9	25.7	－	27.1	26	24.8	29.0	－	24.3	30	28.7	22.8	－	24.4
	6(2024)	36	34.7	33.6	－	27.4	26	25.0	28.2	－	23.9	14	13.5	18.4	－	22.8
女	平成7(1995)	7	7.8	13.8	－	13.2	2	2.2	4.7	－	5.7	7	7.8	10.5	－	11.3
	12(2000)	9	10.3	15.4	－	14.4	6	6.8	5.9	－	5.1	5	5.7	11.9	－	13.4
	17(2005)	18	16.6	18.6	－	17.1	4	3.7	5.7	－	5.3	9	8.3	11.6	－	12.9
	22(2010)	23	18.5	18.1	－	19.6	10	8.1	9.2	－	5.6	10	8.1	11.6	－	13.2
	27(2015)	19	15.3	23.3	－	19.7	4	3.2	8.5	－	4.8	11	8.9	8.0	－	10.8
	令和2(2020)	25	20.5	24.6	－	20.5	3	2.5	6.4	－	4.2	6	4.9	5.4	－	10.5
	3(2021)	30	25.3	28.1	－	21.6	4	3.4	3.6	－	4.3	13	11.0	10.2	－	10.8
	4(2022)	27	23.0	29.0	－	23.2	6	5.1	5.3	－	4.2	12	10.2	7.7	－	11.0
	5(2023)	24	20.6	27.7	－	22.8	4	3.4	3.2	－	4.3	8	6.9	7.5	－	10.7
	6(2024)	27	23.3	28.2	－	22.0	4	3.5	5.6	－	4.3	7	6.1	6.4	－	10.1

※厚生労働省「人口動態統計」、佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より

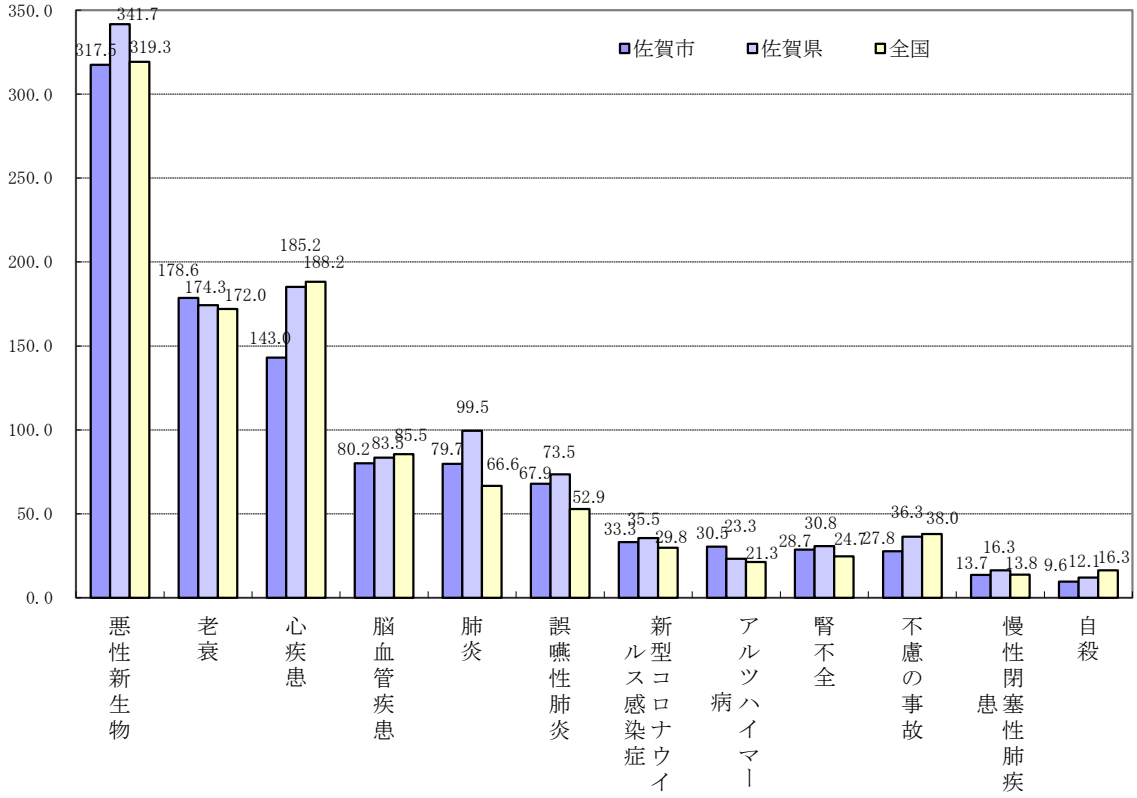
※死因分類は、平成29年から「ICD-10（2013版）」によるものである。

性別	年次	⑫　新型コロナウイルス感染症				
		佐賀市		佐賀県		全国
		死亡数	死亡率	死亡率	全国順位	死亡率
総数	平成7(1995)	－	－	－	－	－
	12(2000)	－	－	－	－	－
	17(2005)	－	－	－	－	－
	22(2010)	－	－	－	－	－
	27(2015)	－	－	－	－	－
	令和2(2020)	－	－	－	－	－
	3(2021)	－	－	－	－	－
	4(2022)	－	－	－	－	－
	5(2023)	70	31.6	37.4	18	31.4
	6(2024)	73	33.3	35.5	19	29.8
男	平成7(1995)	－	－	－	－	－
	12(2000)	－	－	－	－	－
	17(2005)	－	－	－	－	－
	22(2010)	－	－	－	－	－
	27(2015)	－	－	－	－	－
	令和2(2020)	－	－	－	－	－
	3(2021)	－	－	－	－	－
	4(2022)	－	－	－	－	－
	5(2023)	－	－	35.1	－	34.4
	6(2024)	－	－	37.1	－	35.0
女	平成7(1995)	－	－	－	－	－
	12(2000)	－	－	－	－	－
	17(2005)	－	－	－	－	－
	22(2010)	－	－	－	－	－
	27(2015)	－	－	－	－	－
	令和2(2020)	－	－	－	－	－
	3(2021)	－	－	－	－	－
	4(2022)	－	－	－	－	－
	5(2023)	－	－	39.6	－	28.6
	6(2024)	－	－	34.1	－	25.0

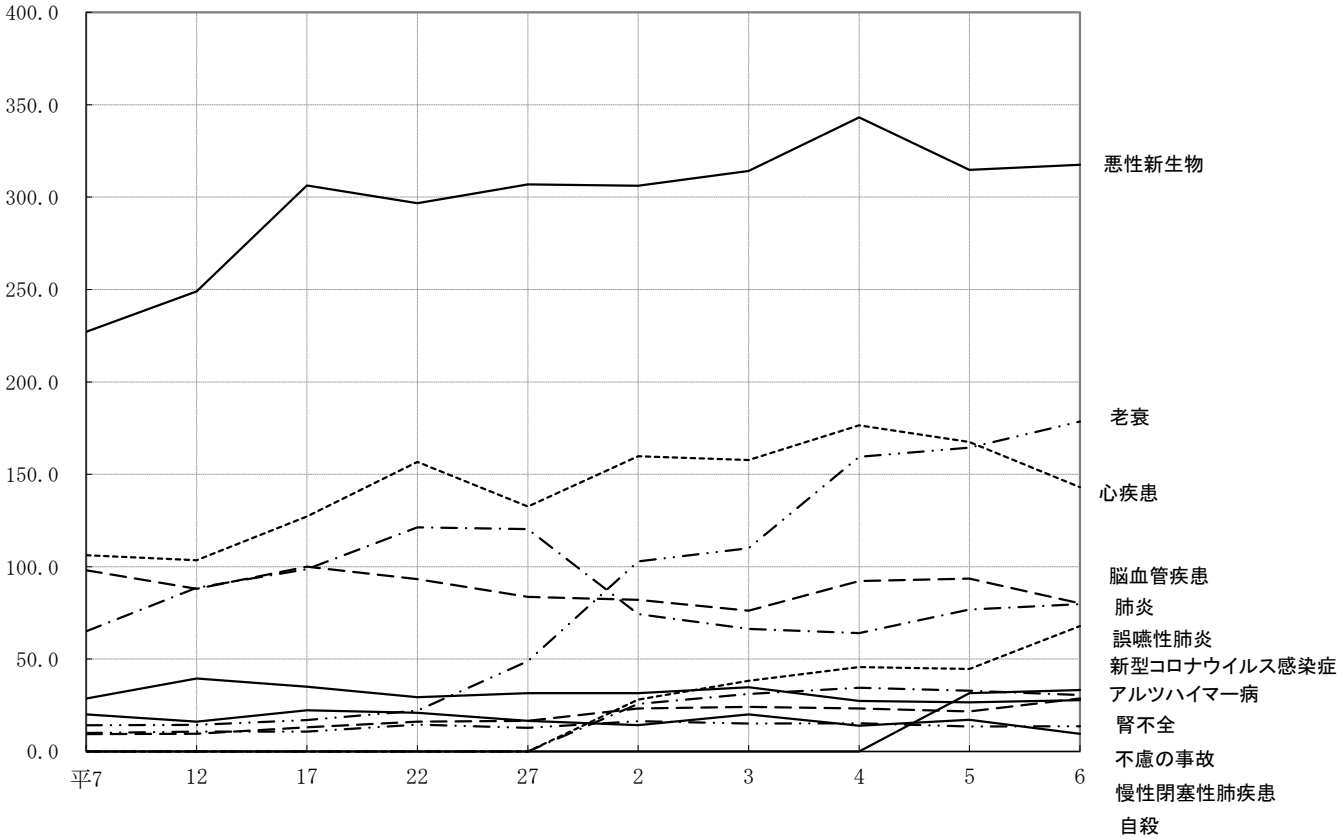
※厚生労働省「人口動態統計」、佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より

※死因分類は、平成29年から「ICD-10（2013版）」によるものである。

・死因別死亡率の比較（令和6（2024）年）



・死因別死亡率の年次推移（佐賀市）



(4) 悪性新生物部位別死亡者数及び死亡割合(佐賀市)

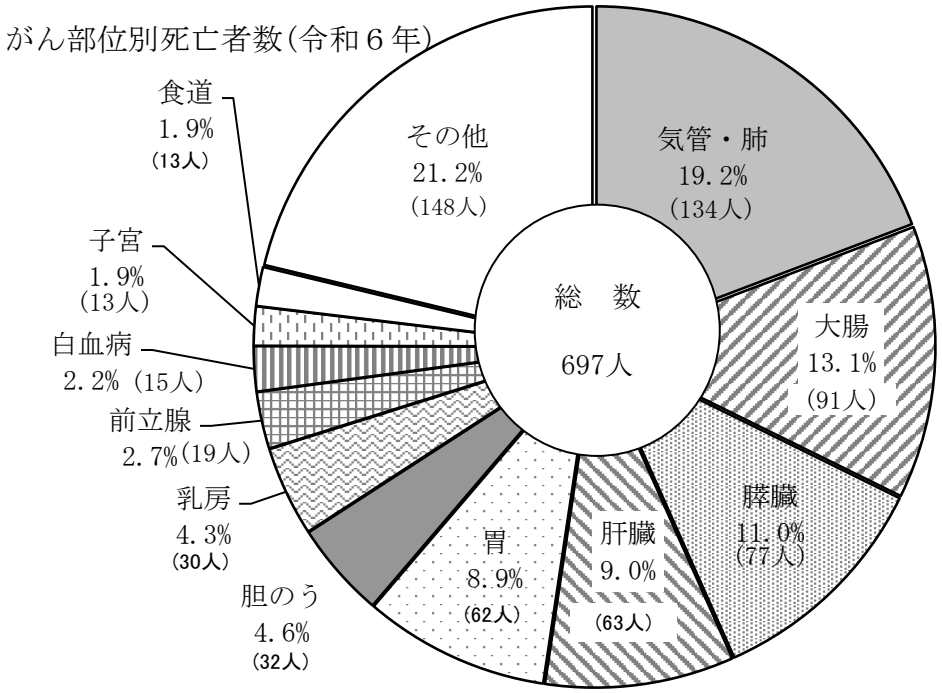
① 全体

年次 / 順位	平成7 (1995)		12 (2000)		17 (2005)		22 (2010)		27 (2015)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
第1位	肝臓		肝臓		肝臓		気管・肺		気管・肺	
	75	19.4	73	17.5	107	17.0	138	19.8	140	19.4
第2位	胃		胃		気管・肺		肝臓		胃	
	64	16.5	65	15.6	94	14.9	100	14.3	90	12.5
第3位	肺		肺		胃		胃		肝臓	
	61	15.8	63	15.1	81	12.8	92	13.2	81	11.2
第4位	大腸		大腸		大腸		大腸		大腸	
	48	12.4	43	10.3	77	12.2	74	10.6	74	10.2
第5位	膵臓		膵臓		膵臓		膵臓		膵臓	
	23	5.9	30	7.2	51	8.1	57	8.2	58	8.0
第6位	胆のう		胆のう		胆のう		前立腺		胆のう	
	17	4.4	18	4.3	31	4.9	29	4.2	30	4.2
第7位	子宮		前立腺		食道		乳房		乳房	
	13	3.4	17	4.1	27	4.3	27	3.9	26	3.6
第8位	乳房		乳房		乳房		食道		前立腺	
	9	2.3	15	3.6	26	4.1	24	3.4	25	3.5
第9位	食道		食道		白血病		胆のう		白血病	
	8	2.1	15	3.6	20	3.2	23	3.3	21	2.9
第10位	白血病		白血病		前立腺		白血病		食道	
	7	1.8	9	2.2	20	3.2	20	2.9	19	2.6
第11位	前立腺		子宮		子宮		子宮		子宮	
	5	1.3	6	1.4	9	1.4	11	1.6	14	1.9
その他	その他		その他		その他		その他		その他	
	57	14.7	62	14.9	88	13.9	102	14.6	144	19.9
合計	合計		合計		合計		合計		合計	
	387	100.0	416	99.8	631	100.0	697	100.0	722	99.9

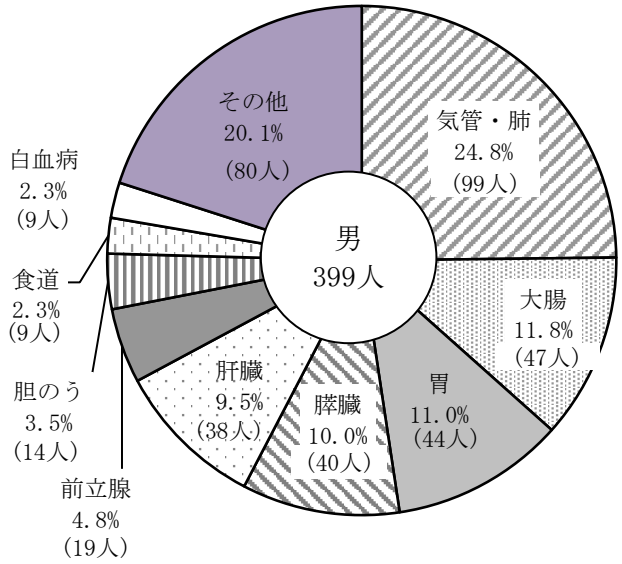
※佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より

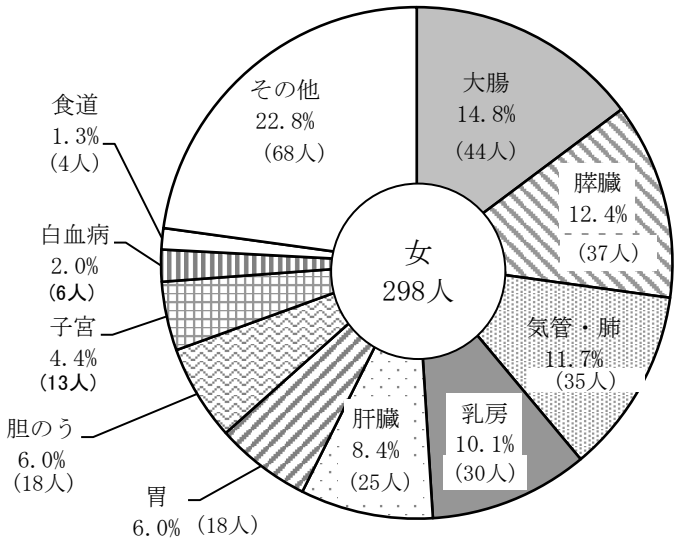
※割合は死亡者総数に対する割合

※端数処理のため、割合の合計が100にならない場合がある。



令和２　(2020)		3　(2021)		4　(2022)		5　(2023)		6　(2024)	
件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
気管・肺		気管・肺		気管・肺		気管・肺		気管・肺	
157	22.1	111	15.7	169	22.1	139	19.9	134	19.2
大腸		胃		大腸		大腸		大腸	
80	11.3	91	12.9	91	11.9	97	13.9	91	13.1
胃		大腸		胃		膵臓		膵臓	
72	10.2	86	12.2	81	10.6	79	11.3	77	11.0
膵臓		膵臓		膵臓		胃		肝臓	
66	9.3	67	9.5	69	9.0	68	9.8	63	9.0
肝臓		肝臓		肝臓		肝臓		胃	
60	8.5	59	8.4	61	8.0	42	6.0	62	8.9
胆のう		胆のう		乳房		乳房		胆のう	
45	6.3	31	4.4	31	4.0	31	4.4	32	4.6
前立腺		前立腺		前立腺		胆のう		乳房	
34	4.8	30	4.3	28	3.7	27	3.9	30	4.3
乳房		乳房		白血病		前立腺		前立腺	
29	4.1	23	3.3	24	3.1	20	2.9	19	2.7
白血病		食道		胆のう		白血病		白血病	
22	3.1	23	3.3	23	3.0	17	2.4	15	2.2
子宮		白血病		食道		子宮		子宮	
12	1.7	19	2.7	20	2.6	16	2.3	13	1.9
食道		子宮		子宮		食道		食道	
9	1.3	13	1.8	13	1.7	15	2.2	13	1.9
その他		その他		その他		その他		その他	
123	17.3	152	21.6	156	20.4	146	20.9	148	21.2
合計		合計		合計		合計		合計	
709	100.0	705	100.1	766	100.1	697	99.9	697	100.0





② 男

順位＼年次	平成7 (1995)		12 (2000)		17 (2005)		22 (2010)		27 (2015)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
第１位	肝臓		肺		気管・肺		気管・肺		気管・肺	
	54	24.1	46	19.3	68	19.4	99	23.9	104	25.1
第２位	肺		肝臓		肝臓		胃		胃	
	42	18.8	43	18.1	61	17.4	65	15.7	56	13.5
第３位	胃		胃		胃		肝臓		肝臓	
	39	17.4	39	16.4	51	14.6	62	14.9	47	11.3
第４位	大腸		大腸		大腸		大腸		大腸	
	26	11.6	26	10.9	38	10.9	39	9.4	35	8.4
第５位	胆のう		前立腺		膵臓		前立腺		膵臓	
	8	3.6	17	7.1	26	7.4	29	7.0	29	7.0
第６位	食道		膵臓		食道		膵臓		前立腺	
	8	3.6	12	5.0	24	6.9	23	5.5	25	6.0
第７位	膵臓		食道		前立腺		食道		胆のう	
	7	3.1	10	4.2	20	5.7	21	5.1	18	4.3
第８位	白血病		胆のう		白血病		白血病		食道	
	5	2.2	7	2.9	14	4.0	13	3.1	12	2.9
第９位	前立腺		白血病		胆のう		胆のう		白血病	
	5	2.2	5	2.1	9	2.6	10	2.4	12	2.9
第10位										
その他	その他		その他		その他		その他		その他	
	30	13.4	33	13.9	39	11.1	54	13.0	77	18.6
合計	合計		合計		合計		合計		合計	
	224	100.0	238	99.9	350	100.0	415	100.0	415	100.0

③ 女

順位＼年次	平成7 (1995)		12 (2000)		17 (2005)		22 (2010)		27 (2015)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
第１位	胃		肝臓		肝臓		気管・肺		大腸	
	25	15.3	30	16.9	46	16.4	39	13.8	39	12.7
第２位	大腸		胃		大腸		肝臓		気管・肺	
	22	13.5	26	14.6	39	13.9	38	13.5	36	11.7
第３位	肝臓		膵臓		胃		大腸		胃	
	21	12.9	18	10.1	30	10.7	35	12.4	34	11.1
第４位	肺		肺		気管・肺		膵臓		肝臓	
	19	11.7	17	9.6	26	9.3	34	12.1	34	11.1
第５位	膵臓		大腸		乳房		胃		膵臓	
	16	9.8	17	9.6	26	9.3	27	9.6	29	9.4
第６位	子宮		乳房		膵臓		乳房		乳房	
	13	8.0	15	8.4	25	8.9	27	9.6	26	8.5
第７位	乳房		胆のう		胆のう		胆のう		子宮	
	9	5.5	11	6.2	22	7.8	13	4.6	14	4.6
第８位	胆のう		子宮		子宮		子宮		胆のう	
	9	5.5	6	3.4	9	3.2	11	3.9	12	3.9
第９位	白血病		食道		白血病		白血病		白血病	
	2	1.2	5	2.8	6	2.1	7	2.5	9	2.9
第10位			白血病				食道		食道	
			4	2.2			3	1.1	7	2.3
その他	その他		その他		その他		その他		その他	
	27	16.6	29	16.3	52	18.5	48	17.0	67	21.8
合計	合計		合計		合計		合計		合計	
	163	100.0	178	100.1	281	100.1	282	100.1	307	100.0

令和２　(2020)		3　(2021)		4　(2022)		5　(2023)		6　(2024)	
件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
気管・肺		気管・肺		気管・肺		気管・肺		気管・肺	
109	26.8	72	18.9	119	27.1	101	26.2	99	24.8
胃		胃		胃		大腸		大腸	
49	12.1	55	14.4	50	11.4	49	12.7	47	11.8
大腸		大腸		大腸		胃		胃	
45	11.1	43	11.3	49	11.2	44	11.4	44	11.0
肝臓		肝臓		肝臓		膵臓		膵臓	
42	10.3	33	8.7	36	8.2	36	9.3	40	10.0
前立腺		前立腺		膵臓		肝臓		肝臓	
34	8.4	30	7.9	33	7.5	22	5.7	38	9.5
膵臓		膵臓		前立腺		前立腺		前立腺	
26	6.4	29	7.6	28	6.4	20	5.2	19	4.8
胆のう		食道		白血病		食道		胆のう	
19	4.7	21	5.5	18	4.1	12	3.1	14	3.5
白血病		胆のう		食道		胆のう		食道	
12	3.0	11	2.9	15	3.4	10	2.6	9	2.3
食道		白血病		胆のう		白血病		白血病	
7	1.7	11	2.9	13	3.0	9	2.3	9	2.3
その他		その他		その他		その他		その他	
63	15.5	76	19.9	78	17.8	83	21.5	80	20.1
合計		合計		合計		合計		合計	
406	100.0	381	100.0	439	100.0	386	100.1	399	100.1

令和２　(2020)		3　(2021)		4　(2022)		5　(2023)		6　(2024)	
件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
気管・肺		大腸		気管・肺		大腸		大腸	
48	15.8	43	13.3	50	15.3	48	15.4	44	14.8
膵臓		気管・肺		大腸		膵臓		膵臓	
40	13.2	39	12.0	42	12.8	43	13.8	37	12.4
大腸		膵臓		膵臓		気管・肺		気管・肺	
35	11.6	38	11.7	36	11.0	38	12.2	35	11.7
乳房		胃		胃		乳房		乳房	
29	9.6	36	11.1	31	9.5	31	10.0	30	10.1
胆のう		肝臓		乳房		胃		肝臓	
26	8.6	26	8.0	31	9.5	24	7.7	25	8.4
胃		乳房		肝臓		肝臓		胃	
23	7.6	23	7.1	25	7.6	20	6.4	18	6.0
肝臓		胆のう		子宮		胆のう		胆のう	
18	5.9	20	6.2	13	4.0	17	5.5	18	6.0
子宮		子宮		胆のう		子宮		子宮	
12	4.0	13	4.0	10	3.1	16	5.1	13	4.4
白血病		白血病		白血病		白血病		白血病	
10	3.3	8	2.5	6	1.8	8	2.6	6	2.0
食道		食道		食道		食道		食道	
2	0.7	2	0.6	5	1.5	3	1.0	4	1.3
その他		その他		その他		その他		その他	
60	19.8	76	23.5	78	23.9	63	20.3	68	22.8
合計		合計		合計		合計		合計	
303	100.0	324	100.0	327	100.0	311	100.0	298	99.9

(5) 悪性新生物部位別死亡数及び死亡率(人口10万対)の年次推移

・総数

年次	① 悪性新生物(がん全体)							② 食道がん						
	佐賀市		佐賀県			全国		佐賀市		佐賀県			全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	387	227.1	2,320	262.7	4	263,022	211.6	8	4.7	63	7.1	20	8,638	6.9
12 (2000)	416	249.0	2,473	282.9	7	295,484	235.2	15	9.0	64	7.3	31	10,256	8.2
17 (2005)	631	306.3	2,709	313.9	7	325,941	258.3	27	13.1	73	8.5	24	11,182	8.9
22 (2010)	697	296.7	2,714	320.7	14	353,499	279.7	24	10.2	73	8.6	29	11,867	9.4
27 (2015)	722	306.9	2,698	325.5	19	370,346	295.5	19	8.1	67	8.1	36	11,739	9.4
令和2 (2020)	709	305.5	2,689	334.1	19	378,385	306.6	9	3.9	62	7.7	36	10,981	8.9
3 (2021)	705	314.1	2,674	334.3	19	381,505	310.7	23	10.2	70	8.8	29	10,958	8.9
4 (2022)	766	343.1	2,764	348.5	17	385,797	316.1	20	9.0	57	7.2	44	10,918	8.9
5 (2023)	697	314.8	2,674	340.2	19	382,504	315.6	15	6.8	55	7.0	44	10,750	8.9
6 (2024)	697	317.5	2,655	341.7	20	384,111	319.3	13	5.9	51	6.6	44	10,638	8.8

年次	③ 胃がん							④ 大腸がん						
	佐賀市		佐賀県			全国		佐賀市		佐賀県			全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	64	37.5	404	45.8	13	50,076	40.3	48	28.0	279	31.6	5	31,274	25.2
12 (2000)	65	38.9	385	44.0	19	50,650	40.3	43	25.6	262	30.0	18	35,948	28.6
17 (2005)	81	39.3	400	46.3	12	50,311	39.9	77	37.4	287	33.3	21	40,830	32.4
22 (2010)	92	39.2	391	46.2	12	50,136	39.7	74	31.5	311	36.8	23	44,238	35.0
27 (2015)	90	38.3	344	41.5	18	46,679	37.2	74	31.5	322	38.8	33	49,699	39.7
令和2 (2020)	72	31.0	280	34.8	30	42,319	34.3	80	34.5	357	44.4	20	51,788	42.0
3 (2021)	91	40.5	304	38.0	20	41,624	33.9	86	38.3	325	40.6	34	52,418	42.7
4 (2022)	81	36.3	299	37.7	22	40,711	33.4	91	40.8	352	44.4	30	53,088	43.5
5 (2023)	68	30.7	246	31.3	34	38,771	32.0	97	43.8	348	44.3	31	53,131	43.8
6 (2024)	62	28.2	245	31.5	35	37,867	31.5	91	41.5	383	49.3	18	54,416	45.2

年次	⑤ 肝臓がん						
	佐賀市		佐賀県			全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	75	44.0	374	42.4	1	31,707	25.5
12 (2000)	73	43.7	387	44.3	1	33,981	27.1
17 (2005)	107	51.9	405	46.9	1	34,268	27.2
22 (2010)	100	42.6	348	41.1	1	32,765	25.9
27 (2015)	81	34.4	295	35.6	1	28,889	23.1
令和2 (2020)	60	25.8	242	30.1	2	24,839	20.1
3 (2021)	59	26.3	229	28.6	2	24,102	19.6
4 (2022)	61	27.3	201	25.3	7	23,620	19.4
5 (2023)	42	19.0	199	25.3	8	22,908	18.9
6 (2024)	63	28.7	229	29.5	1	22,465	18.7

年次	⑥ 胆のうがん						
	佐賀市		佐賀県			全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	17	10.1	135	15.3	8	13,746	11.1
12 (2000)	18	10.8	143	16.4	8	15,153	12.1
17 (2005)	31	15.1	147	17.0	14	16,586	13.1
22 (2010)	23	9.8	116	13.7	35	17,585	13.9
27 (2015)	30	12.8	123	14.8	33	18,152	14.5
令和2 (2020)	45	19.4	139	17.3	20	17,773	14.4
3 (2021)	31	13.8	124	15.5	25	18,172	14.8
4 (2022)	23	10.3	146	18.4	18	17,756	14.6
5 (2023)	27	12.2	119	15.1	26	17,239	14.2
6 (2024)	32	14.6	130	16.7	15	17,232	14.3

年次	⑦ 膵臓がん						
	佐賀市		佐賀県			全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	23	13.7	135	15.3	15	16,019	12.9
12 (2000)	30	18.0	152	17.4	17	19,094	15.2
17 (2005)	51	24.8	203	23.5	6	22,927	18.2
22 (2010)	57	24.3	190	22.5	32	28,017	22.2
27 (2015)	58	24.7	229	27.6	23	31,866	25.4
令和2 (2020)	66	28.4	237	29.4	36	37,677	30.5
3 (2021)	67	29.9	276	34.5	17	38,579	31.4
4 (2022)	69	30.9	252	31.8	34	39,468	32.3
5 (2023)	79	35.7	269	34.2	27	40,175	33.1
6 (2024)	77	35.1	257	33.1	36	41,235	34.3

年次	⑧ 肺がん						
	佐賀市		佐賀県			全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	61	35.8	373	42.2	13	45,745	36.8
12 (2000)	63	37.7	423	48.4	16	53,724	42.8
17 (2005)	94	45.6	467	54.1	18	62,063	49.2
22 (2010)	138	58.8	510	60.3	20	69,813	55.2
27 (2015)	140	59.5	494	59.6	31	74,378	59.4
令和2 (2020)	157	67.6	542	67.3	14	75,585	61.3
3 (2021)	111	49.5	509	63.6	26	76,212	62.1
4 (2022)	169	75.7	559	70.5	10	76,663	62.8
5 (2023)	139	62.8	538	68.4	12	75,762	62.5
6 (2024)	134	61.0	497	64.0	31	75,569	62.8

年次	⑨ 乳がん						
	佐賀市		佐賀県			全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	9	10.1	43	9.3	44	7,819	6.3
12 (2000)	15	9.0	64	7.3	23	9,248	7.4
17 (2005)	26	12.6	78	9.0	15	10,808	8.6
22 (2010)	27	11.5	96	11.3	4	12,545	9.9
27 (2015)	26	11.1	93	11.2	18	13,705	10.9
令和2 (2020)	29	12.5	95	11.8	28	14,779	12.0
3 (2021)	23	10.2	88	11.0	40	14,908	12.1
4 (2022)	31	13.9	109	13.7	15	16,021	13.1
5 (2023)	31	14.0	96	12.2	33	15,763	13.0
6 (2024)	30	13.7	115	14.8	9	16,005	13.3

年次	⑩ 子宮がん						
	佐賀市		佐賀県			全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	13	14.5	51	11.0	1	4,865	7.7
12 (2000)	6	6.8	42	9.1	15	5,202	8.1
17 (2005)	9	8.3	31	6.8	44	5,381	8.3
22 (2010)	11	8.9	55	12.3	1	5,930	9.1
27 (2015)	14	11.3	43	9.8	26	6,429	10.0
令和2 (2020)	12	5.2	43	10.2	30	6,808	10.7
3 (2021)	13	11.0	45	10.7	25	6,818	10.8
4 (2022)	13	11.1	59	14.1	5	7,157	11.4
5 (2023)	16	13.7	57	13.8	7	7,137	11.5
6 (2024)	13	11.2	47	11.5	22	7,116	11.5

※乳がんの全国順位は女性の値である。

年次	⑪ 前立腺がん						
	佐賀市		佐賀県			全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	5	6.2	51	12.2	－	5,399	8.9
12 (2000)	17	21.4	75	18.1	－	7,514	12.2
17 (2005)	20	20.5	87	21.4	7	9,265	15.0
22 (2010)	29	26.0	98	24.6	4	10,722	17.4
27 (2015)	25	22.5	102	26.0	5	11,326	18.6
令和2 (2020)	34	31.0	107	28.0	7	12,759	21.3
3 (2021)	30	28.3	90	23.7	22	13,217	22.1
4 (2022)	28	26.5	105	27.9	8	13,439	22.7
5 (2023)	20	19.1	110	29.5	5	13,429	22.8
6 (2024)	19	18.3	94	25.5	21	13,670	23.4

年次	⑫ 白血病						
	佐賀市		佐賀県			全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	7	4.1	73	8.3	4	6,129	4.9
12 (2000)	9	6.6	78	8.9	4	6,766	5.4
17 (2005)	20	9.7	92	10.7	4	7,283	5.8
22 (2010)	20	8.5	79	9.3	6	8,078	6.4
27 (2015)	21	8.9	85	10.3	7	8,631	6.9
令和2 (2020)	22	9.5	82	10.2	6	8,983	7.3
3 (2021)	19	8.5	69	8.6	11	9,124	7.4
4 (2022)	24	10.8	77	9.7	11	9,759	8.0
5 (2023)	17	7.7	81	10.3	9	9,869	8.1
6 (2024)	15	6.8	68	8.8	23	9,972	8.3

○男

年次	① 悪性新生物（がん全体）					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	224	276.4	1,380	330.4	159,623	262.0
12 (2000)	238	300.1	1,507	364.6	179,140	291.3
17 (2005)	350	358.7	1,556	382.2	196,603	319.1
22 (2010)	415	374.4	1,580	396.2	211,435	343.4
27 (2015)	415	373.9	1,550	395.8	219,508	359.7
令和2 (2020)	406	371.0	1,550	406.1	220,989	368.3
3 (2021)	381	359.2	1,492	393.7	222,467	372.3
4 (2022)	439	415.8	1,565	415.1	223,291	376.5
5 (2023)	386	368.8	1,525	408.8	221,360	375.8
6 (2024)	399	384.1	1,526	413.6	221,786	379.4

② 食道がん					
佐賀市		佐賀県		全国	
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
8	9.9	55	13.2	7,253	11.9
10	12.6	53	12.8	8,706	14.2
24	24.6	66	16.2	9,465	15.4
21	18.9	64	16.0	9,992	16.2
12	10.8	52	13.3	9,774	16.0
7	6.4	52	13.6	8,978	15.0
21	19.8	61	16.1	8,864	14.9
15	14.2	41	10.9	8,790	14.8
12	11.5	48	12.9	8,647	14.7
9	8.7	40	10.8	8,572	14.7

年次	③ 胃がん					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	39	48.1	237	56.7	32,015	52.6
12 (2000)	39	49.2	249	60.2	32,798	53.3
17 (2005)	51	52.3	251	61.7	32,643	53.0
22 (2010)	65	58.6	251	62.9	32,943	53.5
27 (2015)	56	50.5	218	55.7	30,809	50.5
令和2 (2020)	49	44.8	179	46.9	27,771	46.3
3 (2021)	55	51.9	192	50.7	27,196	45.6
4 (2022)	50	47.4	195	51.7	26,455	44.6
5 (2023)	44	42.0	155	41.6	25,325	43.0
6 (2024)	44	42.4	153	41.5	24,720	42.3

④ 大腸がん					
佐賀市		佐賀県		全国	
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
26	31.9	150	35.9	17,312	28.4
26	32.6	143	34.6	19,868	32.3
38	38.9	145	35.6	22,146	35.9
39	35.2	155	38.9	23,921	38.9
35	31.5	152	38.8	26,818	43.4
45	41.1	170	44.5	27,718	46.2
43	40.5	164	43.3	28,080	47.1
49	46.4	175	46.4	28,099	47.4
49	46.8	184	49.3	27,936	47.4
47	45.2	206	55.8	28,826	49.3

※ ICD-10の死因分類の適用により、平成7年から「直腸がん」→「大腸がん」へ変更

年次	⑤ 肝臓がん					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	54	66.6	272	65.1	22,773	37.4
12 (2000)	43	54.2	258	62.4	23,602	38.4
17 (2005)	61	62.5	97	23.8	23,203	37.7
22 (2010)	62	55.9	200	50.2	21,520	34.9
27 (2015)	47	42.3	167	42.6	19,008	31.1
令和2 (2020)	42	38.4	166	43.5	16,271	27.1
3 (2021)	33	31.1	120	31.7	15,913	26.7
4 (2022)	36	34.1	120	31.8	15,717	26.5
5 (2023)	22	21.0	120	32.2	15,226	25.8
6 (2024)	38	36.6	142	38.5	15,133	25.9

⑥ 胆のうがん					
佐賀市		佐賀県		全国	
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
8	9.9	50	12.0	6,189	10.2
7	8.8	63	15.2	6,913	11.2
9	9.2	63	15.5	7,845	12.7
10	9.0	53	13.3	8,440	13.7
18	16.2	62	15.8	9,066	14.9
19	17.4	65	17.0	9,357	15.6
11	10.4	59	15.6	9,615	16.1
13	12.3	71	18.8	9,470	16.0
10	9.6	59	15.8	9,220	15.7
14	13.5	56	15.2	9,205	15.7

年次	⑦ 膵臓がん					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	7	8.6	73	17.5	8,965	14.7
12 (2000)	12	15.1	81	19.6	10,380	16.9
17 (2005)	26	26.6	97	23.8	12,284	19.9
22 (2010)	23	20.8	99	24.8	14,569	23.7
27 (2015)	29	26.1	107	27.3	16,186	26.5
令和2 (2020)	26	23.8	107	28.0	18,880	31.5
3 (2021)	29	27.3	124	32.7	19,334	32.4
4 (2022)	33	31.3	123	32.6	19,608	33.1
5 (2023)	36	34.4	142	38.1	19,859	33.7
6 (2024)	40	38.5	133	36.0	20,371	34.9

⑧ 肺がん					
佐賀市		佐賀県		全国	
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
42	51.8	262	62.7	33,389	54.8
46	58.0	311	75.2	39,053	63.5
68	69.7	335	82.3	45,189	73.3
99	89.3	368	92.3	50,395	81.8
104	93.7	349	89.1	53,208	87.2
109	99.6	377	98.8	53,247	88.7
72	67.9	366	96.6	53,278	89.3
119	112.7	391	103.7	53,750	90.6
101	96.5	382	102.4	52,908	89.8
99	95.3	369	100.0	52,333	89.5

年次	⑨ 乳がん					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	0	0.0	0	0.0	56	0.1
12 (2000)	0	0.0	0	0.0	77	0.1
17 (2005)	0	0.0	0	0.0	87	0.1
22 (2010)	0	0.0	0	0.0	90	0.1
27 (2015)	0	0.0	0	0.0	121	0.2
令和2 (2020)	0	0.0	0	0.0	129	0.2
3 (2021)	0	0.0	0	0.0	105	0.2
4 (2022)	0	0.0	1	0.3	109	0.2
5 (2023)	0	0.0	0	0.0	134	0.2
6 (2024)	0	0.0	1	0.3	136	0.2

⑩ 前立腺がん					
佐賀市		佐賀県		全国	
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
5	6.2	51	12.2	5,399	8.9
17	21.4	75	18.1	7,514	12.2
20	20.5	87	21.4	9,265	15.0
29	26.0	98	24.6	10,722	17.4
25	22.5	102	26.0	11,326	18.6
34	31.0	107	28.0	12,759	21.3
30	28.3	90	23.7	13,217	22.1
28	26.5	105	27.9	13,439	22.7
20	19.1	110	29.5	13,429	22.8
19	18.3	94	25.5	13,670	23.4

年次	⑪ 白血病					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	5	6.2	43	10.3	3,645	6.0
12 (2000)	5	6.3	49	11.9	3,970	6.5
17 (2005)	14	14.3	58	14.2	4,311	7.0
22 (2010)	13	11.7	47	11.8	4,860	7.9
27 (2015)	12	10.8	60	15.3	5,104	8.4
令和2 (2020)	12	11.0	50	13.1	5,467	9.1
3 (2021)	11	10.4	39	10.3	5,549	9.3
4 (2022)	18	17.0	47	12.5	6,007	10.1
5 (2023)	9	8.6	45	12.1	6,095	10.3
6 (2024)	9	8.7	39	10.6	6,077	10.4

○女

年次	① 悪性新生物（がん全体）					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	163	182.3	940	202.3	103,399	163.1
12 (2000)	178	202.8	966	209.7	116,344	181.4
17 (2005)	281	259.2	1,153	252.9	129,338	200.3
22 (2010)	282	227.3	1,134	253.5	142,064	219.2
27 (2015)	307	247.1	1,148	262.5	150,838	234.6
令和2 (2020)	303	248.0	1,139	269.1	157,396	248.3
3 (2021)	324	273.7	1,182	281.4	159,038	252.1
4 (2022)	327	278.0	1,199	287.5	162,506	259.1
5 (2023)	311	266.3	1,149	278.9	161,144	258.7
6 (2024)	298	257.7	1,129	276.7	162,325	262.5

年次	② 食道がん					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	0	0.0	8	1.7	1,385	2.2
12 (2000)	5	5.7	11	2.4	1,550	2.4
17 (2005)	3	2.8	7	1.5	1,717	2.7
22 (2010)	3	2.4	9	2.0	1,875	2.9
27 (2015)	7	5.6	15	3.4	1,965	3.1
令和2 (2020)	2	1.6	10	2.4	2,003	3.2
3 (2021)	2	1.7	9	2.1	2,094	3.3
4 (2022)	5	4.3	16	3.8	2,128	3.4
5 (2023)	3	2.6	7	1.7	2,103	3.4
6 (2024)	4	3.5	11	2.7	2,066	3.3

年次	③ 胃がん					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	25	28.0	167	35.9	18,061	28.5
12 (2000)	26	29.6	136	29.5	17,852	27.8
17 (2005)	30	27.7	149	32.7	17,668	27.4
22 (2010)	27	21.8	140	31.3	17,193	26.5
27 (2015)	34	27.4	126	28.8	15,870	24.7
令和2 (2020)	23	18.8	101	23.9	14,548	22.9
3 (2021)	36	30.4	112	26.7	14,428	22.9
4 (2022)	31	26.4	104	24.9	14,256	22.7
5 (2023)	24	20.6	91	22.1	13,446	21.6
6 (2024)	18	15.6	92	22.5	13,147	21.3

年次	④ 大腸がん					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	22	24.5	129	27.8	13,962	22.0
12 (2000)	17	19.3	119	25.8	16,080	25.1
17 (2005)	39	36.0	142	31.1	18,684	28.9
22 (2010)	35	28.2	156	34.9	20,317	31.4
27 (2015)	39	31.4	170	38.9	22,881	35.1
令和2 (2020)	35	28.6	187	44.2	24,070	38.0
3 (2021)	43	36.3	161	38.3	24,338	38.6
4 (2022)	42	35.7	177	42.4	24,989	39.8
5 (2023)	48	41.1	164	39.8	25,195	40.4
6 (2024)	44	38.0	177	43.4	25,590	41.4

※ ICD-10の死因分類の適用により、平成7年から「直腸がん」→「大腸がん」へ変更

年次	⑤ 肝臓がん					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	21	23.5	102	22.0	8,934	14.1
12 (2000)	30	34.2	129	28.0	10,379	16.2
17 (2005)	46	42.4	163	35.8	11,065	17.1
22 (2010)	38	30.6	148	33.1	11,255	17.4
27 (2015)	34	27.4	128	29.3	9,881	15.4
令和2 (2020)	18	14.7	76	18.0	8,568	13.5
3 (2021)	26	22.0	109	26.0	8,189	13.0
4 (2022)	25	21.3	81	19.4	7,903	12.6
5 (2023)	20	17.1	79	19.2	7,682	12.3
6 (2024)	25	21.6	87	21.3	7,332	11.9

⑥ 胆のうがん					
佐賀市		佐賀県		全国	
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
9	10.1	85	18.3	7,557	11.9
11	12.5	80	17.4	8,240	12.8
22	20.3	84	18.4	8,741	13.5
13	10.5	63	14.1	9,145	14.1
12	9.7	61	13.9	9,086	14.1
26	21.3	74	17.5	8,416	13.3
20	16.9	65	15.5	8,557	13.6
10	8.5	75	18.0	8,286	13.2
17	14.6	60	14.6	8,019	12.9
18	15.6	74	18.1	8,027	13.0

年次	⑦ 膵臓がん					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	16	17.9	62	13.3	7,054	11.1
12 (2000)	18	20.5	71	15.4	8,714	13.6
17 (2005)	25	23.1	106	23.2	10,643	16.5
22 (2010)	34	27.4	91	20.3	13,448	20.7
27 (2015)	29	23.3	122	27.9	15,680	24.4
令和2 (2020)	40	32.7	130	30.7	18,797	29.7
3 (2021)	38	32.1	152	36.2	19,245	30.5
4 (2022)	36	30.6	129	30.9	19,860	31.7
5 (2023)	43	36.8	127	30.8	20,316	32.6
6 (2024)	37	32.0	124	30.4	20,864	33.7

⑧ 肺がん					
佐賀市		佐賀県		全国	
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
19	21.2	111	23.9	12,356	19.5
17	19.4	112	24.3	14,671	22.9
26	24.0	132	29.0	16,874	26.1
39	31.4	142	31.7	19,418	30.0
36	29.0	145	33.2	21,170	32.9
48	39.3	165	39.0	22,338	35.2
39	32.9	143	34.0	22,934	36.3
50	42.5	168	40.3	22,913	36.5
38	32.5	156	37.9	22,854	36.7
35	30.3	128	31.4	23,236	37.6

年次	⑨ 乳がん					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	9	10.1	43	9.3	7,763	12.2
12 (2000)	15	17.1	64	13.9	9,171	14.3
17 (2005)	26	24.0	78	17.1	10,721	16.6
22 (2010)	27	21.8	96	21.5	12,455	19.2
27 (2015)	26	20.9	93	21.3	13,584	21.1
令和2 (2020)	29	23.7	95	22.4	14,650	23.1
3 (2021)	23	19.4	88	21.0	14,803	23.5
4 (2022)	31	26.4	108	25.9	15,912	25.4
5 (2023)	31	26.5	96	23.3	15,629	25.1
6 (2024)	30	25.9	114	27.9	15,869	25.7

⑩ 子宮がん					
佐賀市		佐賀県		全国	
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
13	14.5	51	11.0	4,865	7.7
6	6.8	42	9.1	5,202	8.1
9	8.3	31	6.8	5,381	8.3
11	8.9	55	12.3	5,930	9.1
14	11.3	43	9.8	6,429	10.0
12	9.8	43	10.2	6,808	10.7
13	11.0	45	10.7	6,818	10.8
13	11.1	59	14.1	7,157	11.4
16	13.7	57	13.8	7,137	11.5
13	11.2	47	11.5	7,116	11.5

年次	⑪ 白血病					
	佐賀市		佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
平成7 (1995)	2	2.2	30	6.5	2,484	3.9
12 (2000)	4	4.6	29	6.3	2,796	4.4
17 (2005)	6	5.5	34	7.5	2,972	4.6
22 (2010)	7	5.6	32	7.2	3,218	5.0
27 (2015)	9	7.2	25	5.7	3,527	5.5
令和2 (2020)	10	8.2	32	7.6	3,516	5.5
3 (2021)	8	6.8	30	7.1	3,575	5.7
4 (2022)	6	5.1	30	7.2	3,752	6.0
5 (2023)	8	6.9	36	8.7	3,774	6.1
6 (2024)	6	5.2	29	7.1	3,895	6.3

※厚生労働省「人口動態統計」、佐賀県健康福祉部「保健統計年報」より
※直腸がんは ICD-10の死因分類の適用により平成7年から大腸がんに変更
※「大腸」は「結腸」と「直腸S状結腸移行部及び直腸」を示す。
※子宮がんの死亡率は女性人口10万人対の率である。
※前立腺がんの死亡率は男性人口10万人対の率（佐賀市健康づくり課試算）である。

第2章　救急医療

1　救急医療情報システム

2　在宅当番医制度

3　病院群輪番制度

4　休日歯科診療所

5　休日夜間こども診療所

6　看護学校運営費補助事業

1　救急医療情報システム

昭和５７年３月１日から県、県医師会及び県内市町村がそれぞれ出資し設立した財団法人「佐賀県救急医療財団」による救急医療情報システムの供用を開始した。その後、平成４年３月には、双方向性多機能端末の設置や情報のリアルタイム化などシステムの更新を行い、集信業務及び照会業務の充実を図ってきた。財団法人「佐賀県救急医療財団」は解散しており、救急医療情報システムの運営は平成19年度から佐賀県救急医療情報センター（佐賀県）で行われている。運営費については、国の負担金のほか、経費の一部を県内市町が負担している。

また、平成１４年度からインターネット等のメディアの拡充、平成２３年度からは多機能情報端末の全救急車への配備を行っている。

当該救急医療情報システム（「99さがネット」）は、医療機関、救急医療情報センター、各地区消防本部を相互に専用回線（オンライン）で結び、医療機関の応需可否状況、その他救急医療及び患者の搬送等に必要な医療情報を適確に提供するものである。また、同システムの正確な医療情報を活用した「医療機関情報検索機能」により、住民は医療機関や薬局を探すことができる。なお、当該検索機能は令和6年4月1日から、厚生労働省が提供する全国統一システムである「医療情報ネット」に移行し、更なるサービスの向上が図られている。

2　在宅当番医制度

昭和４０年１１月１日から、佐賀市医師会が自主的に日曜在宅医制度を取り入れ、内科３・外科１・婦人科１を一組として日曜日当番による診療を開始したのが、この制度の始まりである。その後、昭和５０年から日曜在宅医の案内を行うため、市衛生課にテレホンサービスを設け、事業の充実を図った。さらに平成３年１０月から、佐賀市医師会の自主的な社会活動として夜間救急在宅医当番制が開始された。

救急時の初期医療（プライマリ・ケア）は、初期症状の患者を診察し、将来重篤な疾病に移行するか否かの判断等、適切な処置を講じなければならない。そのため、救急医療体制の基盤となる一次救急医療体制（在宅当番医制）の整備は、極めて重要なものであり、昭和５２年度から国・県の補助制度が設けられたことに伴い定額助成を行い、現在は委託事業として実施している。

※１当番日につき、内科３・外科２医療機関の当番体制
（年末年始は眼科１、12月31日・1月2日は耳鼻科１を追加で実施）
※日曜・休日在宅医テレホンサービス案内　TEL　0952－30－0114
※平成１６年度から国・県補助金は廃止

・診療科目別内訳　（令和7（2025）年度）　（単位：人）

診療科目	①佐賀市民	②その他	合　計①＋②	割合（%）
内科・小児科	6,785	1,110	7,895	67.8
外科・整形外科・脳神経外科	2,417	746	3,163	27.1
その他	400	190	590	5.1
合計	9,602	2,046	11,648	100.0

・初診、再診別内訳　（令和7（2025）年度）　（単位：人）

初診・再診の別	診療科目		①佐賀市民	②その他	合　計①＋②
	初診患者	内科・小児科	6,222	1,000	7,222
		外科・整形外科・脳神経外科	2,090	678	2,768
		その他	281	141	422
		小計	8,593	1,819	10,412
	再診患者	内科・小児科	563	110	673
		外科・整形外科・脳神経外科	327	68	395
		その他	119	49	168
		小計	1,009	227	1,236
合計			9,602	2,046	11,648

３　病院群輪番制度

二次救急医療体制（病院群輪番制）は、昭和５４年度から佐賀市郡の広域圏で一次救急医療体制（在宅当番医制）の後方体制として、内科１・外科１を１組としてスタートし、現在は、佐賀市・多久市・小城市の３市で運営（内科１・外科１を１組）している。事業内容は、日曜休日及び年末年始に診療機関から転送される患者を参加病院が輪番で診療にあたる制度で、事務局を佐賀市に設置し、圏内市（２市）からの負担金の徴収、参加病院への補助金の交付等の事務を行っている。

（※注）

三次救急医療体制については、全県下を一つの圏域と考え、佐賀県医療センター好生館の館内に最重篤な救急患者の受入れ施設として救命救急センターが設置され、脳血管障害・心筋梗塞・頭部外傷等に対応できる高度医療機器の整備、機能の充実が図られている。

また、昭和６０年には佐賀大学医学部附属病院にも救急部が設けられ、平成１７年に救命救急センターとしての指定を受けている。

・診療科目別患者数〔令和7（2025）年度〕　（単位：人）

内　訳	内　　科	小児科	外科・整形外科 脳外科	産婦人科	その他	合　　計
入　院	138	13	176	17	28	372
外　来	2,005	2	1,179	26	32	3,244
合　計	2,143	15	1,355	43	60	3,616

・取扱患者の来院・方法別内訳〔令和7（2025）年度〕　（単位：人）

内　訳	初期救急医療施設からの転送			そ　の　他			合　計
	救急車	その他	小 計①	救急車	その他	小 計②	①＋②
入　院	5	4	9	151	129	280	289
外　来	21	66	87	120	3,120	3,240	3,327
合　計	26	70	96	271	3,249	3,520	3,616

４　休日歯科診療所

休日等における救急歯科診療体制の整備を行うため、佐賀市が開設者となり佐賀市歯科医師会館の一部を借用し、施設・医療機械等を整備後、昭和６１年８月３日に佐賀市休日救急歯科診療所を開設した。

平成１２年４月８日にほほえみ館東側（兵庫北）に「佐賀市休日急患センター」として歯科と小児科を開設し、平成１５年１月１２日に歯科診療所のみをほほえみ館内へ移設した。現在は県病院跡地（水ヶ江）に移設した「佐賀市休日等急患センター」内にて平成３０年４月１５日から歯科診療所を運営している。

管理運営については、平成１８年４月１日から佐賀市歯科医師会を指定管理者に指定している。

なお、当診療所は、佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町（４市１町）の広域的な救急歯科医療機関であることから、佐賀市、神埼地区及び小城・多久歯科医師会の全面的な協力のもと、三地区の歯科医師会会員の輪番制による診療体制をとっている。

（１）　休日歯科診療所の概要

名　　称	佐賀市休日歯科診療所
所　在　地	佐賀市水ヶ江一丁目１２番１１号
設　置　者	佐賀市
管 理 運 営	指定管理者　一般社団法人　佐賀市歯科医師会
設立年月日	昭和６１年８月３日
延 床 面 積	１００．１２㎡
診　療　日	日曜日・休日・１２月３１日～１月３日
診 療 時 間	午前９時３０分～午後４時
電 話 番 号	０９５２－２４－１４２６

（２）　休日歯科診療所の市町別患者数　　（単位：人）

年　　度	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）
診 療 日 数	69 日	71 日	71 日	71 日
佐　賀　市	528	584	598	563
多　久　市	12	17	22	28
小　城　市	73	71	82	86
神　埼　市	42	42	57	69
吉野ヶ里町	15	13	33	20
そ　の　他	105	105	133	89
合　　計	775	832	925	855

５　休日夜間こども診療所

休日の昼夜間における小児科の急病患者について初期救急医療を確保し、子育てに対する親の不安感、負担感の解消・軽減を図るため、平成１２年４月８日に「佐賀市休日急患センター」（休日こども診療所）を開設した。

開設当初は、「土曜日」及び「日曜・休日」の診療であったが、平成１７年９月１日から「平日夜間」（午後８時から午後１０時まで）の診療を開始しており、小児初期救急医療体制の充実並びに第二次・第三次救急医療体制との連携について強化を図っている。

平成１８年４月１日からは、佐賀市医師会を指定管理者に指定し、管理運営を任せている。

平成３０年４月９日に、ほほえみ館敷地内（兵庫北）から県病院跡地（水ヶ江）に移転した。

（１）　休日夜間こども診療所の概要

名　　称	佐賀市休日夜間こども診療所
所　在　地	佐賀市水ヶ江一丁目１２番１１号
設　置　者	佐賀市
管 理 運 営	指定管理者　一般社団法人　佐賀市医師会
設立年月日	平成１２年４月８日
延 床 面 積	４４４．０１㎡
診　療　日	年間３６５日
診 療 時 間	土　曜　日　：午後５時～午後１０時 日曜･休日・１２月３１日～１月３日：午前９時～午後１０時 平　　日　：午後８時～午後１０時
電 話 番 号	０９５２－２４－１４００

（２）　休日夜間こども診療所の市町別患者数

（単位：人）

年度 / 市町名	令和４（2022）			令和５（2023）			令和６（2024）			令和７（2025）		
	平日	土・日・休日	合計	平日	土・日・休日	合計	平日	土・日・休日	合計	平日	土・日・休日	合計
佐　賀　市	1,127	5,248	6,375	1,663	7,281	8,944	1,517	5,837	7,354	1,444	5,587	7,031
多　久　市	40	145	185	46	204	250	43	167	210	24	130	154
小　城　市	164	988	1,152	258	1,332	1,590	221	1,032	1,253	195	967	1,162
神　埼　市	107	434	541	137	591	728	133	552	685	135	464	599
吉野ヶ里町	39	177	216	50	260	310	39	183	222	34	156	190
その他県内	82	446	528	109	467	576	103	450	553	90	421	511
県　　外	46	272	318	60	425	485	62	417	479	77	313	390
合　　計	1,605	7,710	9,315	2,323	10,560	12,883	2,118	8,638	10,756	1,999	8,038	10,037

６　看護学校運営費補助事業

平成１８年の診療報酬改定により、新たな看護師の配置基準が設けられ、地域医療を担う看護師不足の問題が生じていたことから、平成２０年度から看護学生の経済的負担の軽減と、看護教育の充実を図り、看護師及び准看護師の養成を行うため、佐賀市医師会立看護専門学校に対し運営費の一部を助成している。

この補助事業は、佐賀中部保健医療圏の４市１町（佐賀市・多久市・小城市・神埼市・吉野ヶ里町）で取り組み、補助金に関する事務を佐賀市で行っている。

（１）補助金額〔令和７（2025）年度〕

補助金総額	うち佐賀市負担分
13,507,000円	10,798,223円

（２）佐賀市医師会立看護専門学校生徒数（令和８年３月末現在）

（単位：人）

課程	生徒定員				生徒数			
	１年	２年	３年	計	１年	２年	３年	計
看護専門課程（看護科）	40	80	80	200	38	35	51	124
看護高等課程（准看護科）	80	80		160	36	56		92
合計	120	160	80	360	74	91	51	216

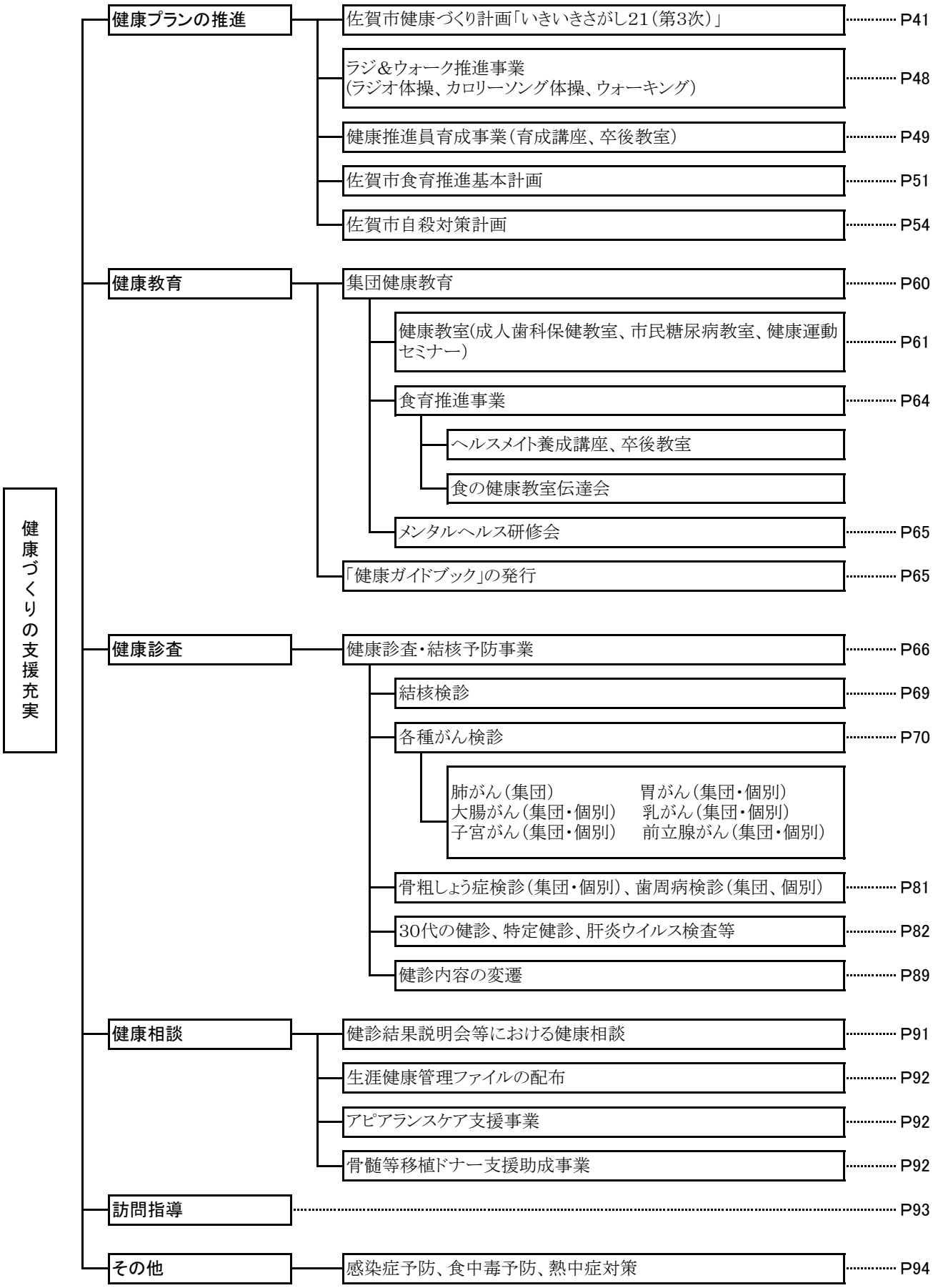
（３）卒業生の進路状況〔令和７（2025）年度〕(単位：人)

区分		専門課程	高等課程	計
看護職としての就職先	佐賀市	20	33	53
	多久市	0	0	0
	小城市	2	3	5
	神埼市	0	1	1
	吉野ヶ里町	2	0	2
	その他県内	2	0	2
	県外	16	0	16
	小計	42	37	79
進学		1	10	11
その他（未就職等）		8	9	17
合計		51	56	107

第3章　保健予防

1　健康づくり推進事業体系図
2　佐賀市健康プランの推進
3　佐賀市食育推進基本計画
4　佐賀市自殺対策計画
5　保健事業の概要
6　健康教育
7　健康診査
8　健康相談
9　訪問指導
10　感染症予防
11　食中毒予防
12　熱中症予防

1 健康づくり推進事業体系図 （令和7年度）



2 佐賀市健康プランの推進

日本では、急速な高齢化や生活習慣の変化により、疾病構造が変化し、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患および糖尿病等の生活習慣病の割合が増加している。こうした変化に対応し、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会にするため、国において令和５年５月に、「健康日本２１（第３次）」が策定され、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底等の方針が示されている。

（1） 佐賀市健康づくり計画「いきいきさがし21」

本計画は、本市の健康づくり施策に関する基本的な考え方について定めるものであり、「第３次佐賀市総合計画」の方針に沿った健康づくりに関する個別計画として、また「第３次佐賀県健康プラン（佐賀県健康増進計画）」や国の「健康日本２１（第３次）」の基本的方向性を踏まえ、市民の生涯を通じた健康づくりのための計画として令和６年度に策定した。

さらに、本市において策定している「佐賀市子ども・子育て支援事業計画」、「第３次佐賀市食育推進基本計画」、「佐賀市第３期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第４期特定健康診査等実施計画」、「佐賀市高齢者保健福祉計画」、「佐賀市自殺対策計画」等とも整合性を図ったものである。

① 策定の目的

市民の生活習慣の改善及び環境整備等を図ることで、健康寿命を延伸することを目的とする。

② 基本理念

全ての市民が共に支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現

③ 基本的方向

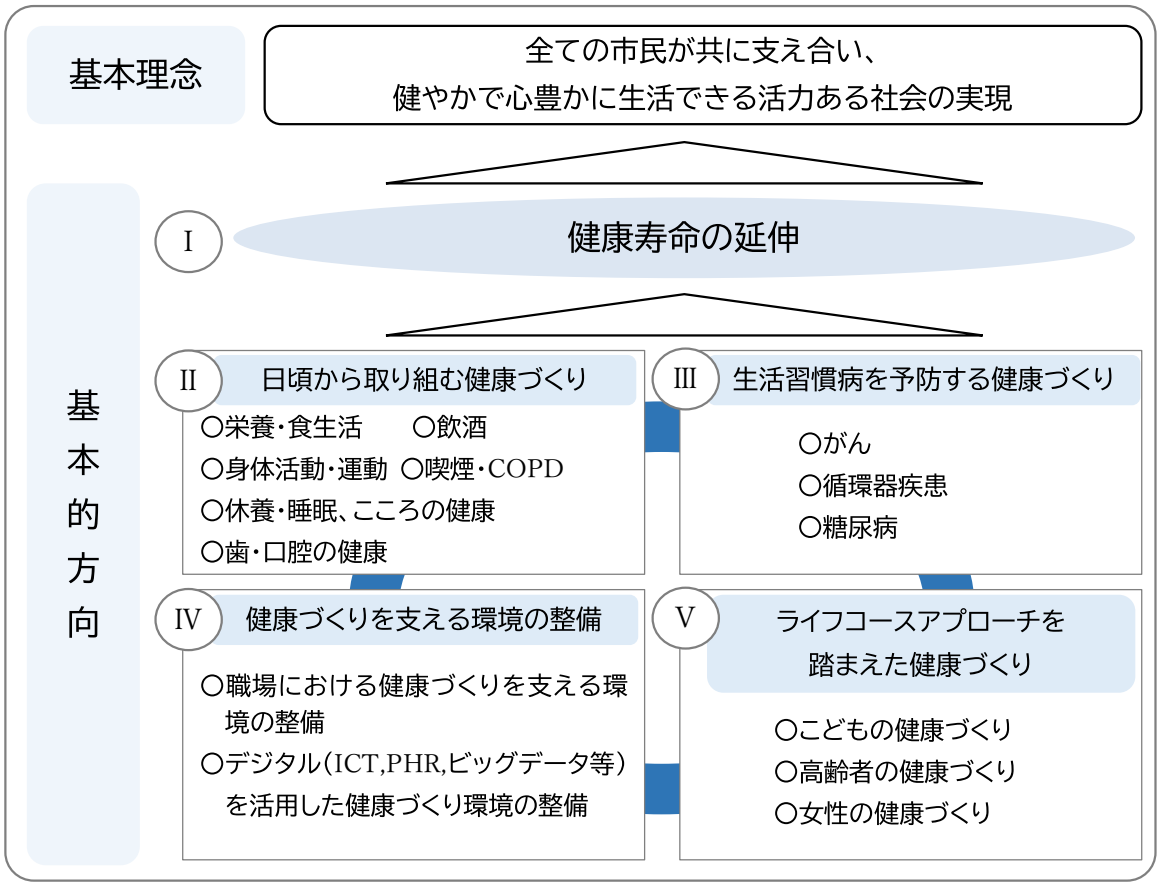
Ⅰ健康寿命の延伸、Ⅱ日頃から取り組む健康づくり、Ⅲ生活習慣病を予防する健康づくり、Ⅳ健康づくりを支える環境の整備、Ⅴライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

④ 計画の期間

本計画は、国の「健康日本２１（第３次）」等との整合を図り、計画期間を令和７年度から令和１８年度までの１２年間とする。また、社会情勢の変化や各種制度、法令の改正などを踏まえ、中間年度である令和１２年度に中間評価を行い、必要に応じて見直しを行うものとする。

⑤ 第3次計画の基本的方向

急激な少子高齢化や疾病構造の変化が進む中で、個々人の生活習慣の改善に加え社会環境の改善を図るとともに、前計画の理念を踏まえて、以下を計画の理念とする。



⑥「いきいきさがし21（第3次）」の基本的方向及び目標項目

基本的方向	施策の柱	目標項目
Ⅰ　健康寿命の延伸		○ 平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 ○ 市民の主観的な幸福感の向上
Ⅱ 日頃から取り組む健康づくり	1 栄養・食生活	○ 適正体重を維持している人の増加（肥満及びやせの減少） ○ 高血圧の改善 ○ 脂質（LDLコレステロール）高値の人の減少 ○ 糖尿病有病者の増加の抑制 ○ バランスの良い食事をとっている人の増加
	2 身体活動・運動	○ 運動習慣者の増加 ○ 日常生活における歩数の増加 ○ 身体活動量の増加 ○ 運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少
	3 休養・睡眠、こころの健康	○ 睡眠で休養がとれている人の増加 ○ 自殺者の減少
	4 飲酒	○ 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の減少 ○ 妊娠中の飲酒率の減少
	5 喫煙・COPD	○ 成人の喫煙率の減少 ○ 妊娠中の喫煙率の減少 ○ COPDによる死亡の減少
	6 歯・口腔の健康	○ 乳幼児・学童期におけるむし歯のないこどもの増加 ○ 歯周病を有する人の減少 ○ 喪失歯のない人の増加 ○ よく噛んで食べることができる人の増加
Ⅲ 生活習慣病を予防する健康づくり	1 がん	○ がんによる死亡の減少 ○ がん検診受診者の増加 ○ HPVワクチンの実施率の増加
	2 循環器疾患	○ 脳血管疾患による死亡の減少 ○【再掲】高血圧の改善 ○【再掲】脂質（LDLコレステロール）高値の人の減少 ○ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少 ○ 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上
	3 糖尿病	○ 糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少 ○ 治療継続者の増加 ○ 血糖コントロール不良者の減少 ○【再掲】糖尿病有病者の増加の抑制 ○【再掲】特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上
Ⅳ 健康づくりを支える環境の整備	1 職場における健康づくりを支える環境の整備	○ スマート・ライフ・プロジェクト活動企業・団体の増加 ○ 健康経営に取り組む事業所数の増加
	2 デジタル（ICT、PHR、ビッグデータ等）を活用した健康づくり環境の整備	
Ⅴ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり	1 こどもの健康づくり	○【再掲】適正体重を維持している人の増加 ○【再掲】運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少 ○ 妊娠中の喫煙率・飲酒率の減少
	2 高齢者の健康づくり	○ 中重度の要介護者（要介護2～5）の増加の抑制 ○ 生活機能の維持向上 ○ 低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の減少 ○ 社会活動を行っている高齢者の増加
	3 女性の健康づくり	○ 20～30歳代女性のやせの減少 ○ 骨粗しょう症検診受診率の向上 ○ 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の減少 ○【再掲】妊娠中の喫煙率・飲酒率の減少

Ⅰ　健康寿命の延伸

分野	【いきいきさがし21（第3次）】 項目		市の現状値		市の目標値		データソース	参考：国【健康日本21（第3次）】 項目		国の現状値		国の目標値	
健康寿命の延伸	■平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加							■健康寿命の延伸					
	男性	平均寿命	81.18年	令和4	平均寿命と健康寿命の差の縮小	令和16	①	男性	平均寿命	81.41年	令和1	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	令和14
		健康寿命	80.30年						健康寿命	72.68年			
		差	0.88年						差	8.73年			
	女性	平均寿命	87.15年					女性	平均寿命	87.45年			
		健康寿命	84.94年						健康寿命	75.38年			
		差	2.21年						差	12.07年			
	■市民の主観的な幸福感の向上												
	幸福の程度を10点満点中7点以上と回答した人の割合		60.3%	令和4	増加	令和16	②						

Ⅱ　日頃から取り組む健康づくり

分野	項目	市の現状値		市の目標値		データソース	項目	国の現状値		国の目標値	
栄養・食生活	■適正体重を維持している人の増加（肥満及びやせの減少）										
	全出生中の低出生体重児の割合	8.1%	令和4	減少	令和16	③					
	肥満傾向にあるこどもの割合	10.3%				④	児童・生徒における肥満傾向児の割合	10.96%	令和3	減少	令和7
	20～30歳代女性のやせの割合	14.2%				⑤	BMI18.5以上25未満（65歳以上はBMI20を超え25未満）の者の割合	60.3%	令和1	66.0%	令和14
	30～60歳代男性の肥満者の割合	36.0%				⑥					
	40～60歳代女性の肥満者の割合	20.9%				⑦					
	低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者（65～74歳）の割合	19.1%									
	■高血圧の改善										
	Ⅰ度高血圧以上の人の割合	21.0%	令和4	減少	令和16	⑦	収縮期血圧の平均値（40歳以上、内服加療中の人も含む）	131.1㎜Hg	令和1	令和6から5㎜Hgの低下	令和14
	■脂質（LDLコレステロール）高値の人の減少										
	LDLコレステロール160㎎/dl以上の人の割合	10.6%	令和4	減少	令和16	⑦	LDLコレステロール160㎎/dl以上の人の割合（40歳以上、内服加療中の人も含む）	11.0%	令和1	令和6から25%の減少	令和14
	■糖尿病有病者の増加の抑制										
	HbA1c（NGSP値）6.5%以上または糖尿病の内服治療中の人の割合	14.7%	令和4	増加の抑制	令和16	⑦	糖尿病有病者数の推計値	約1,000万人	平成28	1,350万人	令和14
	■バランスの良い食事をとっている人の増加										
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合	71.1%	令和2	80.00%	令和8	⑧	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日々がほぼ毎日の者の割合	なし（参考値）37.7%	令和3	50.0%	令和14

【いきいきさがし21（第2次）】							参考：国【健康日本21（第2次）】				
Ⅱ　日頃から取り組む健康づくり											
分野	項目	市の現状値		市の目標値		データソース	項目	国の現状値		国の目標値	
身体活動・運動	■運動習慣者の増加										
	運動習慣者の割合（1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している人）	42.5%	令和4	増加	令和16	⑨	運動習慣者の割合（1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者の割合）	28.7%	令和1	40.0%	令和14
	■日常生活における歩数の増加										
	SAGATOCO登録者の平均歩数	5,409歩	令和4	7,000歩	令和16	⑩	1日の歩数の平均値	6,278歩	令和1	7,100歩	令和14
	■身体活動量の増加										
	日常において身体活動を1日1時間以上実施している人の割合	53.4%	令和4	増加	令和16	⑪					
	■運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少										
	1週間の総運動時間（体育授業除く）が60分未満の児童の割合（小5女子）	15.5%	令和5	減少	令和16	⑫	1週間の総運動時間（体育授業除く）が60分未満の児童の割合（小5女子）	14.4%	令和3	7.2%	令和8
休養・睡眠、こころの健康	■睡眠で休養がとれている人の増加										
	睡眠で休養がとれている人の割合	77.3%	令和4	80.0%	令和16	⑪	睡眠で休養がとれている人の割合	78.3%	平成30	80.0%	令和14
	■自殺者の減少										
	自殺死亡率（人口10万対）	15.2	令和4	10.4	令和10	⑬					
飲酒	■生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の減少										
	（男性）1日当たりの純アルコール摂取量が40g以上の人の割合	13.0%	令和4	減少	令和16	⑪	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人の割合	11.8%	令和1	10.0%	令和14
	（女性）1日当たりの純アルコール摂取量が20g以上の人の割合	8.6%									
	■妊娠中の飲酒率の減少										
	妊娠中の飲酒率	0.3%	令和4	減少	令和16	⑤					
喫煙・COPD	■成人の喫煙率の減少										
	男性の喫煙率	22.2%	令和4	減少	令和16	⑪	20歳以上の人の喫煙率	16.7%	令和1	12.0%	令和14
	女性の喫煙率	5.0%									
	■妊娠中の喫煙率の減少						■妊娠中の喫煙をなくす				
	妊娠中の喫煙率	**2.4%**	**令和4**	**減少**	**令和16**	⑤	妊婦の喫煙率	1.9%	令和3	0%	令和7
	■COPDによる死亡の減少										
	COPDの死亡率（人口10万対）	15.2	令和4	10.0	令和16	③	COPDの死亡率（人口10万対）	13.3	令和3	10.0	令和14
歯・口腔の健康	■乳幼児・学童期におけるむし歯のないこどもの増加										
	3歳児におけるむし歯のないこどもの割合	85.1%	令和4	95.0%	令和16	⑭					
	12歳児におけるむし歯のないこどもの割合	68.8%		80.0%							
	■歯周病を有する人の減少										
	40歳以上における歯周炎を有する人の割合	47.1%	令和4	減少	令和16	⑮	40歳以上における歯周炎を有する人の割合	57.2%	平成28	40.0%	令和14
	■喪失歯のない人の増加										
	40歳における喪失歯のない人の割合	84.9%	令和4	増加	令和16	⑮					
	■よく噛んで食べることができる人の増加										
	50歳以上における咀嚼良好者の割合	73.9%	令和4	80.0%	令和16	⑨	50歳以上における咀嚼良好者の割合	71.0%	令和1	80.0%	令和14

【いきいきさがし21（第3次）】							参考：国【健康日本21（第3次）】				
Ⅲ　生活習慣病を予防する健康づくり											
分野	項目		市の現状値		市の目標値	データソース	項目		国の現状値		国の目標値
がん	■がんによる死亡の減少										
	○佐賀市におけるがんの年齢調整死亡率（人口10万対）※H27モデル人口						○がんの年齢調整死亡率（人口10万対）※S60モデル人口				
	悪性新生物（全部位）		304.4	平成24～令和4	減少	令和16	③	悪性新生物（全部位）		110.1 令和3	減少 令和10
	肝及び肝内胆管		30.7								
	胃		36.0								
	気管、気管支及び肺		57.1								
	直腸S状結腸移行部及び直腸		9.3								
	乳房		12.8								
	子宮		10.1								
	■がん検診受診者の増加										
	○69歳以下のがん検診受診率										
	胃がん		17.6%	令和4	60.0%	令和16	⑯	胃がん	男性	48.0%	令和1 60.0% 令和10
									女性	37.1%	
	肺がん		20.8%					肺がん	男性	53.4%	
									女性	45.6%	
	大腸がん		24.0%					大腸がん	男性	47.8%	
									女性	40.9%	
	乳がん		44.1%					乳がん	女性	47.4%	
	子宮がん		70.8%		80.0%			子宮がん	女性	43.7%	
	○がん検診精密検査受診率										
	胃がん		82.2%	令和3	90.0%	令和16	⑯				
	肺がん		82.9%								
	大腸がん		73.3%								
	乳がん		87.4%								
	子宮がん		88.0%								
	■HPVワクチンの実施率の増加										
	HPVワクチンの実施率	第1回	53.6%	令和4	増加	令和16	⑰				
		第2回	52.6%								
		第3回	42.4%								

【いきいきさがし21（第3次）】							参考：国【健康日本21（第3次）】				
Ⅲ　生活習慣病を予防する健康づくり											
循環器疾患	■脳血管疾患による死亡の減少						■脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率の減少				
	○佐賀市における脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）						○脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）				
	全体	82.4	平成24～令和4	減少	令和16	③					
	男性	112.3					男性	287.5	令和3	減少	令和10
	女性	64.1					女性	165.3			
	■【再掲】高血圧の改善										
	Ⅰ度高血圧以上の人の割合	21.0%	令和4	減少	令和16	⑦	収縮期血圧の平均値（40歳以上、内服加療中の人も含む）	131.1㎜Hg	令和1	令和6から5㎜Hgの低下	令和14
	■【再掲】脂質（LDLコレステロール）高値の人の減少										
	LDLコレステロール160㎎/dl以上の人の割合	10.6%	令和4	減少	令和16	⑦	LDLコレステロール160㎎/dl以上の人の割合（40歳以上、内服加療中の人も含む）	11.0%	令和1	令和6から25%の減少	令和14
	■メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少										
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	33.6%	令和4	減少	令和16	⑦	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の人数	約1,619万人	令和3	平成20と比べて25%減少	令和14
	■特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上										
	特定健康診査の実施率	33.5%	令和4	60.0%	令和16	⑱	特定健康診査の実施率	56.5%	令和3	70.0%	令和11
	特定保健指導の実施率	53.5%					特定保健指導の実施率	24.6%		45.0%	
糖尿病	■糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少						■糖尿病の合併症（糖尿病腎症）の減少				
	糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数（人/人中）	33人/64人中	令和4	減少	令和16	⑲	糖尿病腎症の年間新規透析導入患者数	15,271人	令和3	12,000人	令和14
	■治療継続者の増加										
	HbA1c（NGSP値）6.5%以上のうち糖尿病の内服治療中の人の割合	60.7%	令和4	増加	令和16	⑦	治療継続者の割合	67.6%	令和1	75.0%	令和14
	■血糖コントロール不良者の減少										
	HbA1c（NGSP値）8.0%以上の人の割合	1.7%	令和4	減少	令和16	⑦	HbA1c8.0%以上の者の割合	1.32%	令和1	1.0%	令和14
	■【再掲】糖尿病有病者の増加の抑制										
	HbA1c（NGSP値）6.5%以上または糖尿病の内服治療中の人の割合	14.7%	令和4	増加の抑制	令和16	⑦	糖尿病有病者数の推計値	約1,000万人	平成28	1,350万人	令和14
	■【再掲】特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上										
	特定健康診査の実施率	33.5%	令和4	60.0%	令和16	⑱	特定健康診査の実施率	56.5%	令和3	70.0%	令和11
	特定保健指導の実施率	53.5%					特手保健指導の実施率	24.6%		45.0%	

【いきいきさがし21（第3次）】						参考：国【健康日本21（第3次）】			
Ⅳ　健康づくりを支える環境の整備									
分野	項目	市の現状値		市の目標値	データソース	項目	国の現状値		国の目標値
職場における健康づくりを支える環境の整備	■スマート・ライフ・プロジェクト活動企業・団体の増加								
	スマート・ライフ・プロジェクト活動企業・団体数	県内27	令和4	増加	令和16	⑳	スマート・ライフ・プロジェクトへ参画し活動している企業・団体数	なし	－　1,500団体　令和14
	■健康経営に取り組む事業所数の増加								
	健康経営に取り組む事業所数	県内769	令和4	県内1,000	令和16	㉑	保険者とともに健康経営に取り組む企業数	12万9040社	令和4　10万社　令和7

【いきいきさがし21（第3次）】						参考：国【健康日本21（第3次）】				
Ⅴ　ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり										
分野	項目	市の現状値		市の目標値	データソース	項目	国の現状値		国の目標値	
こどもの健康づくり	**■【再掲】適正体重を維持している人の増加（肥満及びやせの減少）**									
	【再掲】全出生中の低出生体重児の割合	8.1%	令和4	減少 令和16	③					
	【再掲】肥満傾向にあるこどもの割合	10.3%	令和4	減少 令和16	④	【再掲】児童・生徒における肥満傾向児の割合	10.96%	令和3	減少	令和7
	【再掲】20～30歳代女性のやせの割合	14.2%	令和4	減少 令和16	⑤	【再掲】BMI18.5未満の20～30歳代女性の割合	18.1%	令和1	15.0%	令和14
	■【再掲】運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少									
	1週間の総運動時間（体育授業除く）が60分未満の児童の割合（小5女子）	15.5%	令和5	減少 令和16	⑫	1週間の総運動時間（体育授業除く）が60分未満の児童の割合（小5女子）	14.4%	令和3	7.2%	令和8
	■妊娠中の喫煙率・飲酒率の減少					**■妊娠中の喫煙をなくす**				
	【再掲】妊娠中の喫煙率	2.4%	令和4	減少 令和16	⑤	妊婦の喫煙率	1.9%	令和3	0%	令和14
	【再掲】妊娠中の飲酒率	0.3%								
高齢者の健康づくり	**■中重度の要介護者（要介護2～5）の増加の抑制**									
	1号被保険者における中重度の要介護者の割合	7.3%	令和4	減少	㉒					
	1号被保険者における中重度の要介護者の数	4,881人		増加の抑制 令和16						
	■生活機能の維持向上									
	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い人の割合（65歳以上）	54.5%	令和4	増加 令和16	⑨					
	日常において身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（65歳以上）	55.0%								
	■低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の減少									
	【再掲】低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者（65～74歳）の割合	19.1%	令和4	減少 令和16	⑦	【再掲】BMI20以下の高齢者（65歳以上）の割合	16.8%	令和1	13.0%	令和14
	■社会活動を行っている高齢者の増加									
	地域の行事や活動に参加している人の割合（70歳以上）	35.0%	令和4	増加 令和16	②	いずれかの社会活動（就労・就学を含む）を行っている高齢者（65歳以上）の割合	なし	－	令和6から10%の増加	令和14
女性の健康づくり	**■20～30歳代女性のやせの減少**									
	【再掲】20～30歳代女性のやせの割合	14.2%	令和4	減少 令和16	⑤	【再掲】BMI18.5未満の20～30歳代女性の割合	18.1%	令和1	15.0%	令和14
	■骨粗しょう症検診受診率の向上									
	骨粗しょう症検診受診率	8.1%	令和4	15.0% 令和16	㉓	骨粗しょう症検診受診率	5.3%	令和3	15.0%	令和14
	■生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の減少									
	【再掲】1日当たりの純アルコール摂取量が20g以上の女性の割合	8.6%	令和4	減少 令和16	⑪	【再掲】1日当たりの純アルコール摂取量が20g以上の女性の割合	9.1%	令和1	6.4%	令和14
	■【再掲】妊娠中の喫煙率・飲酒率の減少					**■妊娠中の喫煙をなくす**				
	【再掲】妊娠中の喫煙率	2.4%	令和4	減少 令和16	⑤	妊婦の喫煙率	1.9%	令和3	0%	令和14
	【再掲】妊娠中の飲酒率	0.3%								

【データソース】

①佐賀市健康づくり課調べ（平成24年度厚生労働科学研究費補助金による健康寿命の算定方法の指針）
②市民意向調査
③保健統計年報（佐賀県）
④学校保健統計
⑤プレママアンケート
⑥30代の健診・佐賀市国民健康保険の特定健診結果
⑦佐賀市国民健康保険の特定健診結果
⑧佐賀市食育推進基本計画
　食育に関するアンケート調査（20～69歳）
⑨特定健診問診票による聞き取り（佐賀市）
⑩佐賀県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」
⑪30代の健診・特定健診問診票による聞き取り（佐賀市）
⑫全国体力・運動能力、運動習慣等調査
⑬地域における自殺の基礎資料（自殺日・居住地）
⑭ヘルシースマイル佐賀21
⑮佐賀市歯周病検診
⑯佐賀市がん検診結果
⑰佐賀市健康づくり課調べ
⑱特定健診等データ管理システム
　《国保連合会　法定報告》
⑲人工透析患者数等調（佐賀県）
⑳スマート・ライフ・プロジェクトHP
㉑佐賀県健康福祉政策課調べ
㉒佐賀中部広域連合認定審査会デー
㉓佐賀市骨粗しょう症検診

(2) ラジ＆ウォーク推進事業

① 市民一斉ラジオ体操の日

平成２０年度から、地域でのラジオ体操会を通じて地域コミュニティを形成するため、「夏休みは地域のラジオ体操会に参加しよう！」を合言葉に「朝ラジ まなざし 朝ごはん」プロジェクトを開始。
平成２２年度からは毎年８月１日を「市民一斉ラジオ体操の日」、１日から７日までをラジオ体操強化週間と定め、周知している。

② ラジオ体操講習会

目的：身体活動・運動、ロコモティブシンドローム及びその予防に関する普及啓発の一環として、ラジオ体操の説明や模範演技を行い、効果的なラジオ体操を指導することで市民の健康づくりを推進する。
対象：佐賀市民
講師：佐賀県ラジオ体操連盟
　　佐賀市健康推進員協議会（健康ひろげ隊）
内容：実技と解説（３０分～１時間程度）

年　度	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)
開催回数（回）	17	17	15	14
延べ参加者数（人）	1,286	1,747	1,830	1,502

③ 健康イベント事業（平成18年から佐賀市健康推進員協議会に委託）

実施日	イベント名	実施場所	参加者数（人）
10月18日	にこにこ”さがし”ウォーク２０２５	佐賀県立森林公園	181
1月10日	新春三社詣ウォーク	佐賀城本丸歴史館	375

※にこにこさがしウォークは雨天のため途中で中止となった。

④ カロリーソング体操

健康ひろげ隊が中心となり、ラジオ体操講習会や地域のイベント等でラジオ体操と合わせて普及活動を行っている。

年　度	令和４ (2022)	令和５ (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)
開催回数（回）	16	14	13	10
延べ参加者数（人）	1,238	1,443	1,431	864

(3) 健康推進員育成事業

佐賀市健康づくり計画「いきいきさがし２１」においては、個人の健康づくりを社会全体で支援できる環境整備を基本方針として掲げているが、その推進を図るためには健康づくりを地域において推進するキーパーソンとなる人づくりが重要である。また、その活動を地域に根ざした自主的なものへと発展するように支援する。

① 健康推進員育成講座

目的：市民の健康意識が向上し、個人が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、自らの健康づくりを実践し、地域において推進するリーダー的存在を育成する。

対象：① 佐賀市在住
② 講座修了後、健康ひろげ隊として活動できる人（市報等にて公募）

日程：令和７年１０月～令和８年３月　計１０回開催

担当：保健師　２名　　健康運動指導士　１名

場所：ほほえみ館、佐賀市健康運動センター、ウォーキングイベント開催地

内容：講義、運動の実践、健康ひろげ隊の活動体験 等

実績：修了者（講座への出席率が６割以上の者）８名

・カリキュラム

回	実施日	時間	場所	内容
1	10月2日(木)	13:30～16:00	健康運動センター	開講式 ・オリエンテーション 健康ひろげ隊活動紹介 InBody測定、結果説明 運動の実践
2	10月18日(土)	9:00～12:00	森林公園	健康ひろげ隊健康イベント参加 にこにこさがしウォーク2025
3	10月30日(木)	13:30～16:00	健康運動センター	健康運動センター体験利用
4	11月12日(水)	9:00～12:00	兵庫ひょうたん島公園周辺	健康ひろげ隊地域活動参加 兵庫ひょうたん島ラジ＆ウォーク
5	11月20日(木)	13:30～16:00	ほほえみ館	栄養講座 カロリーソング体操・ラジオ体操 （卒後教室と合同）
6	12月18日(木)	13:30～16:00	佐賀城本丸歴史館周辺	健康ひろげ隊健康イベント準備参加 新春三社詣ウォーク下歩き
7	1月10日(土)	8:00～12:00	佐賀城本丸歴史館周辺	健康ひろげ隊健康イベント参加 新春三社詣ウォーク
8	1月29日(木)	13:30～16:00	ほほえみ館	佐賀市の健康課題について カロリーソング体操・ラジオ体操
9	2月19日(木)	13:30～16:00	ほほえみ館	ボランティア活動について（外部講師） カロリーソング体操・ラジオ体操 （卒後教室と合同）
10	3月5日(木)	13:30～16:00	健康運動センター	修了式 InBody測定、結果説明 運動について

② 健康推進員卒後教室

目的：会員の健康づくりの場及び地域での健康づくり推進のための学習の場とする。

対象：佐賀市健康推進員協議会会員（通称「健康ひろげ隊」）

日程：令和７年４月～令和８年３月（月１回開催）

場所：ほほえみ館等

内容：健康推進員の活動に必要な健康情報の学習や技術の習得、自分自身の健康増進のための運動等の実施

・カリキュラム

回数	月	日	曜日	時間	場所	内容		参加人数（人）
1	4月	17日	木	13:30～15:30	ほほえみ館	総会＆期別集会		42
2	5月	15日	木	13:30～15:30	ほほえみ館	話し合い	栄の国まつり総踊り練習、ラジオ体操、カロリーソング体操	26
3	6月	19日	木	13:30～15:30	夢の里兵庫	話し合い	パークゴルフ大会	25
4	7月	17日	木	13:30～15:30	佐賀市健康運動センター	話し合い	年に1回の体力チェック	26
5	8月	21日	木	13:30～15:30	ほほえみ館	話し合い	パラスポーツ体験	27
6	9月	18日	木	13:30～15:30	佐賀市健康運動センター	話し合い	カロリーソング体操新バージョン	26
7	10月	9日	木	13:30～16:00	森林公園	話し合い	にこにこ”さがし”ウォーク2025の下歩き	26
8	11月	20日	木	13:30～15:30	ほほえみ館	話し合い	「栄養講座（管理栄養士）」（育成講座生と合同研修）	26
9	12月	18日	木	13:30～15:30	佐賀城本丸歴史館周辺	話し合い	新春三社詣ウォークの下歩き	28
10	1月	8日	木	13:30～15:30	ほほえみ館	話し合い	筋肉トレーニング、ストレッチ	20
11	2月	19日	木	13:30～15:30	ほほえみ館	話し合い	「ボランティア活動について（外部講師）」（育成講座生と合同研修）	26
12	3月	19日	木	13:30～15:30	ほほえみ館	話し合い	健診結果勉強会・運動	29

３ 佐賀市食育推進基本計画

本計画は、食育基本法第１８条第１項に基づく市町村食育推進計画であり、国県の「食育推進基本計画」と整合を図るとともに、「佐賀市総合計画」の個別計画として、関係各課と連携しながら食育を推進することとします。

（１）策定の目的

本市の食育推進に関する基本的な事項を定めるものとし、今後の佐賀市の食育推進の方向性を定め、食に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本指針として策定しています。

（２）基本理念

市民が、生涯を通じた心身の健康と持続可能な食を支える食育を実践し、食を通じて、人と人、地域と地域がつながる「生涯食育社会」を目指します

（３）計画の期間

本計画は「第１次及び第２次佐賀市食育推進基本計画」を引き継ぐものとして策定したもので、令和４年度を初年度とし、令和８年度を目標年度とする５年間の計画です。

（４）基本目標及び施策

基本目標１　心身の健康を支える食生活の実践～健康～

（１） 食の正しい知識を身につける
（２） 規則正しい生活とワーク・ライフ・バランスを確立する
（３） 食事を楽しみ、よく噛んで食べる

基本目標２　食育の輪を広める～連携～

（１） 社会全体で食育を推進する体制の整備
（２） 新しい生活様式に対応した食育の推進

基本目標３　持続可能な食環境の整備～環境～

（１） 食への感謝と理解を深める
（２） 環境に配慮した食生活の実践

基本目標４　豊かな佐賀の農水産物を味わう～地産地消～

（１） 生産と消費をつなぐ
（２） 佐賀の特産物を知る
（３） 佐賀の農水産物をおいしく食べる

基本目標５　食文化を継承し生きる力を養う～体験～

（１） 佐賀の食文化を伝える
（２） 生きていく力を養う

基本目標

佐賀市の目指す姿の実現に向けて、５つの視点による基本目標を掲げ、具体的な取り組みを推進します。

基本目標１　心身の健康を支える食生活の実践～健康～

市民の心身の健康増進は、健康寿命の延伸に資する食育における目的の要です。しかしながら、栄養の偏りや不規則な食生活などに起因した糖尿病など生活習慣病の増加、肥満・過度の痩せ、朝食の欠食や低栄養など、食に関する様々な問題が存在しています。

健全な食生活の実践は、心身の健康につながりますので、市民全てが食育への関心を持ち、食に関する正しい知識を身につけ、良い食習慣を実践していくための取り組みを推進します。

また、食育の実践にあたっては、規則正しい生活習慣やワーク・ライフ・バランスを確立し、おいしく楽しんで食べて健康であることが重要です。そのため、引き続き「朝ラジ　まなざし朝ごはん」など、食の正しい知識を普及するための取り組みを推進します。

基本目標２　食育の輪を広げる　～連携～

食育を進めるためには、市民、保育所（園）、幼稚園、学校、企業、団体、地域等が食に対する共通認識を持った上で、食育を実践していくことが重要です。

それを実現するために、食育に関わる人々のネットワークをつくり、市内で展開されている食育の取り組みを相互に連携させていくとともに、地域の食育推進の担い手である食生活改善推進員（ヘルスメイト）など食育を推進するリーダーの養成を図り、協働の場づくりを推進します。

また、市民の食育への関心を高めるために、食育活動の広報や啓発を図るなど、食育活動を広く普及させるための取り組みを推進します。

基本目標３　持続可能な食環境の整備　～環境～

食生活は、自然の恩恵の上に成り立っています。食料の生産から消費に至る食の循環が環境へ与える影響に配慮し、食におけるSDGsの目標１２「つくる責任・つかう責任」を考慮した取り組みを地域全体で進めることが必要です。

そのためにも、市民一人ひとりが食を育む生態系を守るという意識を持ち、「いただきます」や「ごちそうさま」などの生産者への感謝の念や、食べ物を大切にする気持ちを醸成していくための取り組みを推進します。

基本目標４　豊かな佐賀の農水産物を味わう　～地産地消～

佐賀市には、北部の背振山地から南部の有明海まで広がる恵まれた自然で育まれた豊かな農水産物があります。これらの地域資源は貴重な宝であり、次世代に伝えていく必要があります。

そのためには、市民が身近な地域で生産された農水産物を購入し、佐賀の特産物を知り、安全・安心な食べ物を地域で消費する「地産地消」を実践することが重要です。

地域で育まれた良質な佐賀の農水産物を食べることで、生産と消費をつなげ、豊かな地域資源を守り伝えていく地産地消の取り組みを推進します。

基本目標５　食文化を継承し生きる力を養う ～体験～

佐賀市には、地域に根づいた郷土料理やお茶をはじめとした食文化があり、その食生活の文化的な豊かさを将来へ伝えることは大切なことです。

また、食は日々の調理や食事と深く結び付いている体験的なものですので、身近な地域での農漁業体験など生産者とのふれあいの機会を通じて、豊潤で恵まれた佐賀という地域の素晴らしさやそこで育まれた食への理解を深め、生きていく力を養う取り組みを推進します。

数値目標

	指標		現状値	目標値（令和８年度）
■基本目標１　心身の健康を支える食生活の実践　～健康～				
1	朝食を毎日食べている子どもの割合	小４～中３	86.0%	100%
2	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合		71.1%	80%
3	野菜を多く摂ることを心掛けている人の割合		37.6%	45%
4	外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にしている人の割合		63.0%	70%
5	ゆっくりよく噛んで食べる人の割合		47.3% （国現状値）	55%
6	肥満（BMI※25以上）の人の割合		21.5%	18%
■基本目標２　食育の輪を広げる　～連携～				
1	食育という言葉を知っている人の割合		91.0%	95%
2	食育に関心を持っている人の割合		61.0%	70%
3	「さがん食育の日（毎月１日）」を知っている人の割合		12.9%	20%
4	食生活改善推進員（ヘルスメイト）の数		688人	738人
■基本目標３　持続可能な食環境の整備　～環境～				
1	「いただきます」、「ごちそうさま」のあいさつを必ずしている人の割合		40.7%	65%
2	お箸を正しく持てる人の割合		85.0%	90%
3	食べ残しや食品の廃棄について「もったいない」といつも感じている人の割合		55.7%	80%
■基本目標４　豊かな佐賀の食を味わう　～地産地消～				
1	佐賀市産の食材を意識して購入している人の割合		49.2%	60%
2	佐賀市産の農水産物直売コーナーを利用している人の割合		69.7%	80%
3	佐賀市産を学校給食で使用した割合（金額ベース）	小学校	8.8%	10%
4	ふるさと献立（郷土料理など）の年実施回数	小学校	217回	228回
5	栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の月平均取組回数	小学校	5.5回	7回
■基本目標５　食文化を継承し生きる力を養う　～体験～				
1	和食を心掛けている人の割合		70.8%	90%
2	農漁業などの体験学習に参加したことがある人の割合		48.9%	60%
3	自ら料理に取り組んでいる人の割合		52.4%	60%

現状値は「食育に関するアンケート調査（令和2年度）[調査対象：20歳～69歳]」より

4. 佐賀市自殺対策計画

（1）趣旨

我が国の自殺者数は、1998年以降は年間３万人を超え、その後も高い水準で推移していましたが、2006年に自殺対策基本法が施行され、社会全体で自殺対策が進められるようになりました。また、2016年には、自殺対策を更に強化するため自殺対策基本法が改正され、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して、全ての都道府県及び市町村が「地域自殺対策計画」を策定することになりました。

本市においては、自殺対策基本法に基づき、自殺対策を推進するため、2015年に佐賀市健康づくり計画「いきいきさがし21（第２次）」を策定し、自殺予防に関する普及啓発の取組を進めてきましたが、本市のこれまでの取組を全庁的な取組として更に発展させ、総合的な自殺対策を推進するため、2019年に「佐賀市自殺対策計画～誰も自殺に追い込まれることのない佐賀市の実現を目指して～」を策定しました。

その後、国は、2022年に自殺総合対策大綱の見直しを行い、佐賀県においても、国の見直しを踏まえ、2023年に佐賀県自殺対策基本計画を見直して施策の充実・強化を図りました。

本市では、国・県計画の見直し後の視点を取り入れ、本市計画の中間見直し版を策定しました。

（2）計画の期間

2019年から2028年までの10年間

※社会経済情勢の変化、自殺をめぐる諸情勢の変化、国の動向等を踏まえて、おおむね５年を目途に見直しを行うとしていたため、2023年度に中間見直しを行いました。

（3）計画の数値目標

現状（2017年）13.2人　→　目標（2028年）10.4人

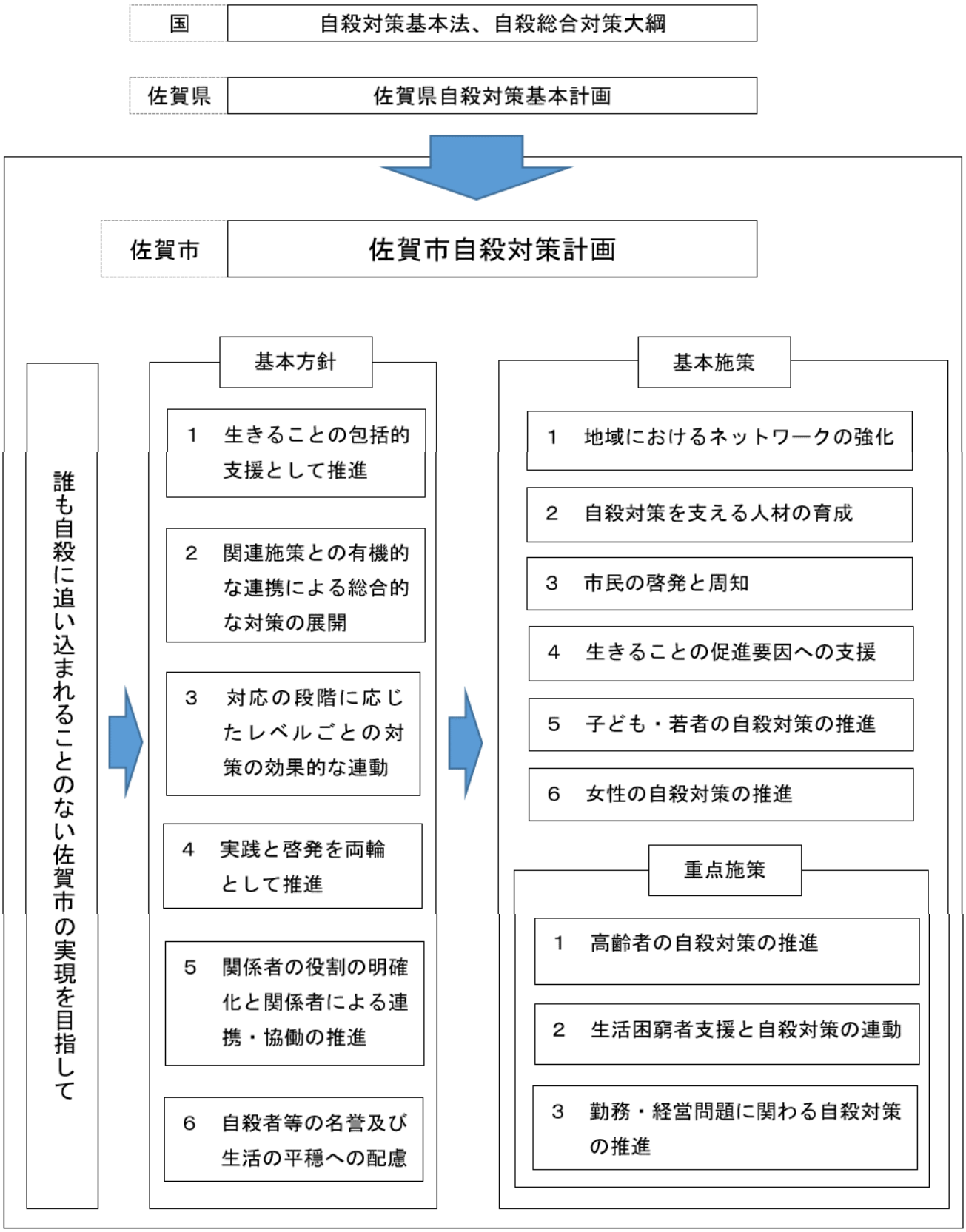
※人口10万人当たりの自殺死亡者数を表す自殺死亡率を2028年までに、2017年に比べ、21%以上減少させることを目指します。

中間見直し時において目標値には達していないため、引き続き当該目標を掲げています。

（4）計画の推進体制

庁外の関係機関や専門家等を構成員とする佐賀市自殺対策推進協議会において、関係者間の連携を図るとともに、様々な知見を活かして自殺対策を総合的に推進します。また、庁内関係課で構成する自殺対策庁内連絡会議を必要に応じて開催し、各分野の部署との連携により、総合的かつ効果的な自殺対策を推進します。

佐賀市の自殺対策の体系図



基 本 施 策

基本施策とは、地域で自殺対策を推進する上で欠かすことのできない取組です。
これらの各施策を連動させ強力に、かつ総合的に推進することで、本市の自殺対策の基盤を強化します。

１．地域におけるネットワークの強化

(1) ネットワーク強化に向けた体制づくり
(2) 特定の問題に関する連携・ネットワークの強化

２．自殺対策を支える人材の育成

(1) 様々な職種を対象とした研修の実施
(2) 市民向けゲートキーパー養成講座等の開催
(3) 学校教育に関わる教職員を対象とした研修等の実施

３．市民への啓発と周知

(1) リーフレット等啓発グッズの作成と周知
(2) 市民向け講演会やイベント等の開催
(3) メディア等を活用した啓発活動
(4) 地域や家庭と連携した啓発活動

４．生きることの促進要因への支援

(1) 自殺リスクを抱える可能性のある人への支援
(2) 子どもの居場所づくり
(3) 遺された人への支援
(4) 支援者への支援
(5) 自殺未遂者への支援

５　子ども・若者の自殺対策の推進

(1) 児童生徒のＳＯＳの出し方に関する教育
(2) 発達障がい児等に対する支援
(3) 子どもの居場所づくり
(4) 性的マイノリティの理解促進の教育・研修
(5) ヤングケアラーに対する支援
(6) ＳＮＳ相談窓口の周知
(7) ひきこもり者等に対する支援
(8) 子どもへのまなざし運動の推進

６　女性の自殺対策の推進

(1) 妊産婦への切れ目のない支援
(2) コロナ禍で顕在化した課題を踏まえた女性支援

重 点 施 策

本市では平成30年から令和４年までの５年間で186人（男性130人、女性56人）が自殺で亡くなっています。そのうち72人は60歳以上であり、約４割という高い割合を高齢者が占めています。また、原因・動機別では、「経済・生活問題」や「勤務問題」を理由とするものが22.9%となっています。

このことから、「高齢者」、「生活困窮者」、「勤務・経営」に関わる自殺対策を本市における重点施策として位置づけ、それぞれの課題や対象者に関わる様々な施策を結集させて、全庁一体的な取組として推進していきます。

１　高齢者の自殺対策の推進

高齢者の自殺を防ぐには、高齢者本人だけでなく、高齢者を支える家族や介護者等の支援者への支援を含めて取り組む必要があります。具体的には、相談支援先の周知や、自殺リスクの高い高齢者の早期発見・支援等が挙げられます。また、高齢者とその支援者が、社会的に孤立することなく、他者と関わり、生きがいを感じられるような地域づくりを進めることも重要です。

(1) 高齢者とその支援者に対して、相談先情報の周知を図る
(2) 支援者の「気づき」の力を高める
(3) 高齢者が生きがいと役割を実感できる地域づくりの推進
(4) 高齢者を支える家族等の支援者への支援の推進

２　生活困窮者支援と自殺対策の連動

生活困窮者の自殺を防ぐには、生活扶助等の経済的な支援に加えて、就労支援や心身面の疾患に対する治療等、様々な分野の関係者が協働し包括的に支援していく必要があります。

(1) 生活困窮者に対する「生きることの包括的な支援」の強化
(2) 支援につながっていない人を、早期に支援へとつなぐための取組の推進
(3) 多分野の会議における連携・協働の推進

３　勤務・経営問題に関わる自殺対策の推進

勤務上の悩みを抱えた人が適切な相談先・支援先につながるよう、労働相談の利用促進や窓口情報の周知を図るとともに、自殺リスクを生まないような労働環境を整備することも必要です。

(1) 労働相談の実施と利用促進
(2) 勤務・経営問題の現状に関する啓発や相談先の周知
(3) 健康経営に資する取組の推進

5 保健事業の概要

佐賀市健康づくり計画「いきいきさがし２１（第２次）」に基づき、健康に関する正しい知識や予防の大切さの普及・啓発、各種健（検）診の実施、健診結果を活かした生活習慣病の発症予防、重症化予防のための保健指導等、さまざまな施策を展開している。

・保健事業の概要（令和7年度）

項目		対象者	内容
健康教育	集団健康教育	・市民	○ 健康教室、講演会等により健康教育を行う。 ・健診結果説明会 ・成人歯科保健教室　・市民糖尿病教室 ・健康運動セミナー ・食の健康教室伝達会 ・ラジオ体操講習会　など ○ 地域で健康づくりを推進するリーダーの養成講座を行う。 ・健康推進員育成講座、卒後教室 ・ヘルスメイト養成講座、卒後教室 ○ 健康ガイドブックの発行
健康診査	特定健康診査	・佐賀市国民健康保険の加入者で40～74歳の者	○ 基本的な健診の項目（必須項目） ・問診、身体計測(身長、体重、BMI、腹囲) ・理学的検査(身体診察) ・血圧測定　・尿検査(糖、蛋白、潜血) ・血液検査(空腹時(随時)中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、ＡＳＴ(GOT)、ＡＬＴ(GPT)、γ-GT(γ-GTP)、空腹時(随時)血糖、HbA1c、尿酸) ○ 詳細な健診の項目（選択項目） ・貧血検査(赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値)・心電図検査・眼底検査・クレアチニン
	特定保健指導	・特定健診の結果、未治療で保健指導が特に必要と認められる者	○ 個別保健指導（積極的支援、動機付け支援）
	後期高齢者の健康診査	・75歳以上の者	○ 特定健康診査に同じ 基本的な健診の項目（必須項目） 詳細な健診の項目（選択項目）
	健康増進法に基づく生活保護世帯に属する者等に係る健康診査	・40歳以上の者で生活保護世帯に属する者等	○ 特定健康診査に同じ 基本的な健診の項目（必須項目） 詳細な健診の項目（選択項目）
	健康増進法に基づく生活保護世帯に属する者等への保健指導	・健康診査の結果、保健指導が必要と認められる者（特定健診における特定保健指導と同じ基準による）	○ 個別保健指導

項　　目			対　象　者	内　　容
健康診査	30代の健診		・30～39歳の者	○ 健診の項目 ・問診、身体計測(身長、体重、BMI、腹囲) ・血圧測定　・尿検査(糖、蛋白、潜血) ・血液検査(空腹時(随時)中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、ＡＳＴ(GOT)、ＡＬＴ(GPT)、γ-GT(γ-GTP)、空腹時(随時)血糖、HbA1c、尿酸、クレアチニン)
	肝炎ウイルス検査		・次の集団健診受診者のうち、未検査の者 30歳代：30代の健診 40～74歳：特定健診 75歳以上：後期高齢者の健康診査	○ 選択項目 HCV抗体、HCV-RNA、HBs抗原
	結核検診		・65歳以上の者	○ 胸部Ｘ線検査
	がん検診	肺がん検診	・40歳以上の者	○ 胸部Ｘ線検査
		胃がん検診	・40歳以上の者	○ 胃部Ｘ線検査
			・50・52・54・56・58・60・62・64・66・68歳の者	○ 胃部Ｘ線検査または胃内視鏡検査
		大腸がん検診	・40歳以上の者	○ 便潜血検査
		乳がん検診	・40歳以上の女性	○ マンモグラフィ
		子宮がん検診	・20歳以上の女性	○ 視診、内診、細胞診
		〈ＨＰＶ検査〉	〈30歳以上の頸部検診受診者〉	〈HPV検査〉
		前立腺がん検診	・50歳以上の男性	○ ＰＳＡ検査
	骨粗しょう症検診		・40・45・50・55・60・65・70歳の女性	○ 骨量測定（Ｘ線検査または超音波検査）
	歯周病検診		・20歳以上の者	○ 歯科医師による診察 ○ 歯科衛生士によるブラッシング指導
健康相談	重点健康相談 総合健康相談		・市民 ・必要に応じその家族等	○ 健診結果を生活習慣改善に活かすための相談事業 ・健診結果説明会 ・生涯健康管理ファイルの配布 ○ 対象者の心身の健康に関する一般的な事項に関する指導･助言 ○ アピアランスケア支援事業 がんの治療と社会参加を支援するため補整具（ウィッグ、乳房補整具）の購入費の一部を助成 ○ 骨髄等移植ドナー支援助成事業 公益財団法人日本骨髄バンクが実施する事業において、骨髄又は末梢血幹細胞の提供を行った者に対する助成金交付
訪問指導			・保健指導が必要と認められる者及びその家族等	○ 生活習慣病予防を主とした健康管理上必要な指導

6 健康教育

(1) 集団健康教育

市民一人ひとりの健康の実現のためには、疾病の原因となる生活習慣など(危険因子)を改善する「一次予防」に取り組むことが最も重要である。そこで､市民が正しい知識をもち、自らの意思で健康づくりに取り組めるように健康教室等を行う。

･集団健康教育実施状況

年 度		4 (2022)		5 (2023)		6 (2024)		7 (2025)	
集団健康教育		実施回数 (回)	参加延人員 (人)	実施回数 (回)	参加延人員 (人)	実施回数 (回)	参加延人員 (人)	実施回数 (回)	参加延人員 (人)
		157 (173)	1,012 (3,751)	149 (174)	1,100 (4,761)	134 (151)	1,201 (4,482)	113 (130)	968 (4,127)
内訳	歯周疾患	1 (1)	7 (15)	1 (2)	5 (30)	1 (1)	8 (17)	1 (1)	6 (10)
	ロコモティブシンドローム（運動器症候群）	0	0	0	0	0	0	0	0
	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	0	0	0	0	0	0	0	0
	病態別	51 (62)	144 (652)	48 (58)	225 (918)	32 (44)	168 (676)	24 (33)	184 (817)
	薬	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	105 (110)	861 (3,084)	100 (114)	870 (3,813)	101 (106)	1,025 (3,789)	88 (96)	778 (3,300)

※（ ）内＝全年齢集計

※平成20年度以降は、健康増進事業としての実施となり、対象者が40～64歳となった。

※平成26年度から「健康増進事業実施要領の一部改正」に伴い「骨粗鬆症」を「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）に変更。

(2) 健康教室

概 要：市民が、生活習慣病の実態や予防についての正しい知識を持ち、健康のレベルアップにつながる生活習慣を習得できるよう講話・個別相談や、実践を交えた教育を行う。

① 成人歯科保健教室

働く世代に歯の健康についての正しい知識を普及し、健康意識の向上及び生活習慣の改善を促す機会として事業所等に出向き、教室を実施している。

対象：佐賀市内の事業所・団体

年　度	実施回数	参加延人数	内　　容
令和３（2021）	1回	33人	１）歯周病予防についての講話 ２）ブラッシング指導 ３）染め出し検査 ４）唾液潜血検査　〔平成22年度から開始〕 ５）個別相談（口腔内検査）〔平成25年度から開始〕
４（2022）	1回	15人	
５（2023）	2回	30人	
６（2024）	1回	17人	
７（2025）	1回	10人	

※令和２年度から令和５年度までは新型コロナウイルスの感染が拡大したため３）～５）を中止した。

※令和６年度から希望者のみ３）と５）を再開。

・令和７年度成人歯科保健教室開催内容

実施日	参加者数	事　業　所　・　団　体　種　別	講 師 名
10月30日	10	ヘルスメイト養成講座	山田歯科医院　山田　昭仁　氏

② 市民糖尿病教室〈昭和56年度から開催〉…「健康増進佐賀市民会議」に委託
年々増えつつある糖尿病に関する知識の普及・啓発を図るため、年３回開催している。

・開催構成　　１・２回目：医師、歯科医師、薬剤師等による講演。講演前に希望者に対して、尿糖・血糖検査（無料）、糖尿病モデル食の展示や栄養士による個別相談等を行っている。
３回目：糖尿病の食事療法について栄養士による講演。
モデル食の弁当を試食しながら、栄養士による食事指導や糖尿病モデル食の展示等。

・開催内容

年度	回	期日	テ ー マ	講 師 名	参加者数
3 (2021)	第121回	R3.11.27	「歯科と糖尿病の関係について」 「糖尿病の薬」 ～種類や副作用を知る～	野口歯科医院 院長　野口　忠裕　氏 神代薬局　神野東店 管理薬剤師　松枝　聖　氏	68人
4 (2022)	第123回	R4.8.27	「withコロナ、with家族、そしてWith糖尿病」 ～幸せになるために、今から変える3つのこと～	佐賀県医療センター好生館 糖尿病代謝内科　部長　吉村　達　氏	58人
	第124回	R4.11.19	シンポジウム 「糖尿病ケアについて」	佐賀県医療センター好生館 眼科部長　佐々　由季生　氏 陣内歯科医院 院長　陣内　重雄　氏 佐賀大学医学部附属病院 看護師　藤井　純子　氏	70人
	第125回	R5.2.18	「あなたの未来を支える健康食」 ～はじめの一歩～	NHO佐賀病院 栄養管理室　主任栄養士　荒谷　紗樹子　氏	62人
5 (2023)	第126回	R5.8.19	「もう一度見直そう生活習慣」 ～糖尿病と歯周病を予防するために～ 「糖尿病と薬」	野口歯科医院 院長　野口　忠裕　氏 佐賀県医療センター好生館 薬剤部　永倉　優子　氏	66人
	第127回	R5.11.11	「佐賀県民に糖尿病が多いのは“なぜ”？」 ～その謎について考える～	佐賀県医療センター好生館 糖尿病代謝内科　部長　吉村　達　氏	85人
	第128回	R6.2.17	「今日から実践！ 自分に見合った食事と運動,活き活きライフ」	医療法人ロコメディカル　江口病院 栄養管理科　科長　平川　美智子　氏	82人
6 (2024)	第129回	R6.8.24	「糖尿病の病名から合併症・依存症まで 考えてみませんか」	佐賀大学名誉教授 医療法人社団高邦会高木病院 糖尿病内分泌肝疾患センター長 国際医療福祉大学医学部教授 安西　慶三　氏	90人
	第130回	R6.11.16	「糖尿病の予防のための生活活動と運動」	佐賀大学医学部社会医学講座 予防医学分野　講師　西田　裕一郎　氏	74人
	第131回	R7.2.15	「健康的な食事とは？」	佐賀大学医学部附属病院 栄養治療部　副部長　射場　裕美子　氏	91人
7 (2025)	第132回	R7.8.23	「もっと知ろう糖尿病 ～予防と治療のひと工夫～」	佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科　助教　小島　基靖　氏	107人
	第133回	R7.11.15	「なぜ歯科に行くのか」 ～歯科医が伝えたい糖尿病予防～ 「避難所におけるお薬事情」 ～糖尿病の方に知っておいてほしいこと～	野口歯科医院 院長　野口　忠裕　氏 佐賀県薬剤師会 理事　北　泰輔　氏	75人
	第134回	R8.2.7	「これからの健康のために」 ～今日からできる食事の工夫～	NHO佐賀病院 栄養管理室長　林田　由紀子　氏	78人

※令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症対策として回数及び参加人数の調整を行った。
※第120回（令和3年2月6日）、第122回（令和4年2月5日）は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止。
※令和5年度から新型コロナウイルス感染症第5類移行に伴い、参加人数の調整なし、事前申し込み制に変更。

③ 健康運動セミナー　（すらっと・スッキリ運動教室）

目的：運動の習慣化や食生活改善の動機付けを行うために、健康づくりに関する情報を提供し、個人に合った運動方法などを学んでもらう。また、効果的な運動等の実践を継続的にサポートし、参加者の自己健康管理能力の向上を図り、メタボリックシンドロームを改善する。

対象：特定健診受診者のうち、次の（１）、（２）のいずれかに該当する市民

（１）保健指導レベルが積極的支援または動機付け支援に該当する人

（２）メタボリックシンドローム判定が「基準該当」または「予備群該当」に該当する人

日程：

	初回	２回目	最終	曜日・時間
１期	R7.10.8	R7.10.15	R7.12.24	水曜日　14：00～16：00
２期	R7.11.13	R7.11.20	R8.1.29	木曜日　14：00～16：00
３期	R7.12.12	R7.12.19	R8.2.27	金曜日　14：00～16：00

・全12回（11週間）で実施。

・積極的支援方法として、初回・２回目・最終日にセミナーを実施。

・上記セミナー以外の参加日を固定せず、週１回の施設利用を促す。

人数：第１期　３人、第２期　３人、第３期　７人

担当：健康運動指導士

場所：佐賀市健康運動センター

内容：講話、実技・自主利用（ストレッチ体操、筋力トレーニング、踏み台運動、ウォーキング等）、Inbody（体成分分析装置）測定、SAGATOCOアプリの活用

カリキュラム

回数	内容
第１回	開講式、InBody測定・結果説明、利用者登録・利用案内、運動記録作成・説明、今後の進行、「歩きんぐ手帳」「歩歩歩ポイント」の説明、ミニ講話（減量のための生活習慣と改善）
第２回	目標設定、コラム冊子配布、講話（エネルギー出納バランス、身体活動量を増やす工夫）、実技
２週目	自主利用開始：運動強度と時間の確認
３～５週目	７つのコラムから選択して配布
６週目	目標と対策の確認・修正
７～10週目	７つのコラムから選択して配布
最終	修了式、InBody測定･結果説明、アンケート、今後について

(3) 食育推進事業

地域における食生活を中心とした健康上の課題を把握し、食生活改善のための知識や技術を習得する人材育成が必要である。また、地区組織活動を自主的に発展させ、健康づくりを推進することを目的としている。

① ヘルスメイト養成講座（昭和55年8月開始）

目的 ： 生活習慣病の予防を推進するにあたって、食生活改善は重要な施策のひとつである。そこで、食を通して地域で活動するボランティアであるヘルスメイト（食生活改善推進員）を養成し、市民に自らの食生活を改善する体験と学びの場を提供する機会を増やし、市民自らが食生活の改善に取り組む機会を提供することを目的とする。

対象 ： 佐賀市民（概ね70歳以下の人）
講座修了後、ヘルスメイトとして活動できる人

日程 ： 令和7年10月～令和8年2月［全6回］

場所 ： ほほえみ館

内容 ： 講義、実習等

実績 ： 令和7年度　修了者10名

回	月日	講　　義 9時30分～10時30分	調 理 実 習 10時30分～13時15分	講　　義 13時15分～15時
1	10月2日 （木）	開講式 オリエンテーション	講義　～12時 栄養・調理の基礎知識 （管理栄養士）	
2	10月30日 （木）	佐賀市の健康づくり事業 健診を活かすために（保健師）	調理実習① 「食べすぎ・足りないを防ぐ バランス食入門」	歯科保健教室 （外来講師）
3	11月19日 （水）	食品衛生と食品表示 （外来講師）	調理実習② 「野菜をたっぷり食べよう」	ごみの出し方基礎知識 （循環型社会推進課３Ｒ推進係）
4	12月11日 （木）	食事記録から 食生活を振り返ろう （管理栄養士）	調理実習③ 「今日からできる！ おいしく減塩のポイント」	運動を楽しもう （健康運動指導士）
5	1月15日 （木）	地区組織について （管理栄養士）	調理実習④ 「実は摂りすぎ…？ 食事の脂質を見直そう！」	早寝早起き朝ごはんって なにがいいの？ （保健師）
6	2月5日 （木）	修了式	食生活改善推進協議会との顔合わせ ～12時	

②ヘルスメイト卒後教室

目的：食生活改善推進協議会会員（通称ヘルスメイト）が、地域市民の食生活改善、健康づくりだけでなく、各校区間の交流や調理実習を実施し、活動の円滑化と仲間づくりを図る。

対象：佐賀市食生活改善推進協議会会員

日程：令和7年7月～令和7年8月［全2回］

場所：ほほえみ館

内容：講義、グループワーク、調理実習等

実績：令和7年度参加者数　20名［延べ参加者数 37名］

・日程と内容

日程	時間	内　　容	場所
7月31日 （木）	9時30分～12時	ヘルスメイト活動について（講義）・ グループワーク	ほほえみ館1階 きらきら学習ルーム
8月29日 （金）	9時30分～13時	食品衛生と安全管理（講義）・調理実習	ほほえみ館3階 健康料理講習室

③ 食の健康教室伝達会

目的：市民一人ひとりが「食」に関する知識と技術を習得し、健全な食生活を実践する「食育」の推進を図り、「佐賀市食育推進基本計画」「佐賀市健康づくり計画」の普及を目的とする。

対象：佐賀市民

日程：令和7年6月～令和8年2月［年180回開催］

場所：市内及び支所公民館、保健センターなど

内容：講義、調理実習、みそ汁塩分濃度測定

実績：延べ参加者数　3,308名

年度	食の健康教室伝達会		
	実施回数	参加人数	講話テーマ
令和3 (2021)	182回	2,511人	血管内皮を守ろう～高血糖予防～
令和4 (2022)	200回	3,075人	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を予防しよう
令和5 (2023)	199回	3,796人	動脈硬化を予防しよう
令和6 (2024)	180回	3,353人	糖尿病を予防しよう！
令和7 (2025)	180回	3,308人	知って防ごう！糖尿病

※令和3年度・令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、例年より規模を縮小して実施

年度	親子クッキング		
	実施回数	参加人数	講話テーマ
令和3 (2021)	5回	84人	飲み物の砂糖について知ろう
令和4 (2022)	13回	232人	やさいのちから　野菜にはいろんなパワーがある！
令和5 (2023)	20回	492人	３つのなかまをそろえよう！
令和6 (2024)	20回	485人	早寝・早起き・朝ごはんで一日を元気に過ごそう！
令和7 (2025)	19回	435人	早寝・早起き・朝ごはん　よく寝て、よく食べて、よく動こう！

○親子クッキングは、伝達会に含まれる。

(4)メンタルヘルス研修会

うつ病や睡眠など、こころの健康に関する正しい知識の普及と、身近な人のＳＯＳサインに気づき、声かけ、傾聴、見守りなど適切な対応ができる「ゲートキーパー」の育成を目的とした研修会を開催。

年　度	令和３ (2021)	令和４ (2022)	令和５ (2023)	令和６ (2024)	令和７ (2025)
開催回数（回）	2	5	4	7	8
延べ参加者数（人）	32	151	148	188	232

(5)「健康ガイドブック」の発行

平成4年度から、市民の自発的・計画的な各種健（検）診・健康推進事業等への参加を促すため、「健康ガイドブック」を作成し、全戸配布している。

7 健康診査

(1)健康診査・結核予防事業の実施状況(令和7年度)

ア　集団健（検）診

健(検)診の種類	対象者	健(検)診内容	委託機関	実施回数		
				毎日健診	支所健診	公民館健診等
特定健診	佐賀市国民健康保険の加入者で40～74歳の者	〔必須〕問診、身体計測、理学的検査、血圧測定、尿検査、血液検査 〔詳細〕心電図、貧血、クレアチニン、眼底検査	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年３２回	公民館健診１７回
健康増進法に基づく健康診査	40歳以上の者で生活保護世帯に属する者等	〔必須〕問診、身体計測、理学的検査、血圧測定、尿検査、血液検査 〔詳細〕心電図、貧血、クレアチニン、眼底検査	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年３２回	公民館健診１７回
肺がん検診	40歳以上の者	胸部Ｘ線検査 ハイリスク者には、３日間連続の喀痰検査	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年３２回	公民館健診１２回
結核検診	65歳以上で肺がん検診を受診する者	胸部Ｘ線検査	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年３２回	公民館健診１２回
胃がん検診	40歳以上の者	胃部Ｘ線検査	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年２１回	実施なし
子宮がん検診	20歳以上の女性	視診、内診、細胞診	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年１６回	実施なし
ＨＰＶ検査	30歳以上で子宮頸がん検診を受診する者	ウイルス検査				
30代の健診	30～39歳の者	問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査 新規：B型C型肝炎ウイルス検査 C型のみ:C型肝炎ウイルス検査 B型のみ:B型肝炎ウイルス検査	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年３２回	公民館健診１７回
肝炎ウイルス検査	佐賀市国保の特定健診、後期高齢者健診又は健康増進法に基づく健康診査受診者	新規:B型C型肝炎ウイルス検査 C型のみ:C型肝炎ウイルス検査 B型のみ:B型肝炎ウイルス検査	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年３２回	公民館健診１７回
乳がん検診	40歳以上の女性	マンモグラフィ (40歳代は2方向、50歳以上は1方向撮影)	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年２７回	実施なし
歯周病検診	20歳以上の者	歯科医師の診察及び 歯科衛生士のブラッシング指導	(一社)佐賀市歯科医師会	平日：３２回 土日：２６回	年１２回	実施なし
大腸がん検診	40歳以上の者	便潜血検査 （２日法）	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年３２回	公民館健診１７回
前立腺がん検診	50歳以上の男性	ＰＳＡ検査（血液検査）	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年３２回	公民館健診１７回
骨粗しょう症検診	40・45・50・55・60・65・70歳の女性	骨量測定 （Ｘ線検査又は超音波検査）	(公財)佐賀県健康づくり財団	月曜～金曜まで毎日 土日：２６回	年５回	実施なし

※健(検)診の周知方法…

(1)「市報さが」、新聞、ホームページ、SNS等で広報

(2)健康ガイドブックを年１回全戸配布

(3)各支所健診地域に、チラシの自治会班回覧又は全戸配布による周知

(4)受診勧奨通知等

※毎日健診実施回数：年２６３回（うち平日２３７回、土日２６回）

1人当たりの経費(税込)		うち自己負担額
	6,604円	1,000円
	6,604円	無　料
(撮影+読影) (読影) (喀痰)	1,951円 289円 3,295円	無　料
	1,688円	無　料
	6,684円	無　料
(頸がん)	4,529円	500円
(HPV検査)	4,304円	1,000円
30～39歳の新規 30～39歳のC型のみ 30～39歳のB型のみ 30～39歳の継続	7,798円 6,830円 6,478円 5,453円	700円
40歳以上の新規 40歳以上のC型のみ 40歳以上のB型のみ	2,345円 1,377円 1,025円	無　料
X線検査（1方向） X線検査（2方向）	4,181円 5,659円	500円
歯科医師の診察 ブラッシング指導	4,006円 2,920円	無　料
	1,341円	無　料
	2,229円	500円
	1,645円	500円
	費用免除者 （生活保護世帯等）	無料

健康診査・結核予防事業の実施状況

イ　個別健（検）診

健(検)診の種類	対象者	健(検)診内容	委託機関		実施場所及び期間	1人当たりの経費(税込)		うち自己負担額
特定健診	佐賀市国民健康保険の加入者で40～74歳の者	〔必須〕問診、身体計測、理学的検査、血圧測定、尿検査、血液検査 〔詳細〕心電図、貧血、クレアチニン、眼底検査	実施	(一社)佐賀県医師会 (血液検査：(公財)佐賀県健康づくり財団等)	特定健診登録医療機関 (年中実施)		8,448円	1,000円
健康増進法に基づく健康診査	40歳以上の者で生活保護世帯に属する者等	〔必須〕問診、身体計測、理学的検査、血圧測定、尿検査、血液検査 〔詳細〕心電図、貧血、クレアチニン、眼底検査	実施	(一社)佐賀市医師会 (血液検査：(公財)佐賀県健康づくり財団等)	特定健診登録医療機関 (年中実施)		8,448円	無　料
胃がん検診	50・52・54・56・58・60・62・64・66・68歳の者	胃内視鏡検査	実施	県内胃内視鏡検診登録医療機関（79医療機関）	県内胃内視鏡検診登録医療機関 (年中実施)		17,607円	4,000円
							費用免除者 (生活保護世帯)	無料
子宮がん検診	20歳以上の女性	視診、内診、細胞診	実施	県内子宮がん検診登録医療機関（29医療機関）	県内子宮がん検診登録医療機関 (年中実施)	(頸がん)	5,896円	1,300円
						(頸がん+HPV)	6,896円	2,300円
						(頸がん・体がん)	9,526円	2,100円
						(頸がん・体がん+HPV)	10,526円	3,100円
HPV検査	30歳以上で子宮頸がん検診を受診する者	ウイルス検査	検査	(公財)佐賀県健康づくり財団		(細胞診検査)	2,163円	
						(HPV検査)	3,960円	
乳がん検診	40歳以上の女性	マンモグラフィ (40歳代は2方向、50歳以上は1方向撮影)	実施	県内乳がん検診登録医療機関（17医療機関）	県内乳がん検診登録医療機関 (年中実施)	Ｘ線検査（1方向） Ｘ線検査（2方向）	4,742円 6,649円	500円
歯周病検診	40・50歳の者	歯科医師の診察及び歯科衛生士のブラッシング指導	実施	(一社)佐賀市歯科医師会	歯周病検診登録歯科医療機関		4,070円	無　料
大腸がん検診	40歳以上の者	便潜血検査 （２日法）	実施	(一社)佐賀市医師会	大腸がん検診登録医療機関 (年中実施)	(検診)	3,201円	無　料
			検査	(公財)佐賀県健康づくり財団		(検査)	1,176円	
前立腺がん検診	50歳以上の男性	ＰＳＡ検査(血液検査)	実施	(一社)佐賀市医師会 (血液検査：(公財)佐賀県健康づくり財団等)	前立腺がん検診登録医療機関 (年中実施)	特定健診等と同時実施 前立腺がん検診を単独実施	2,915円 3,355円	500円
骨粗しょう症検診	40･45･50･55･60･65･70歳の女性	骨量測定 （Ｘ線検査等）	実施	(一社)佐賀市医師会	骨粗しょう症検診登録医療機関 (年中実施)		5,156円	1,400円
							費用免除者 (生活保護世帯等)	無料

※健(検)診の周知方法…

(1)「市報さが」、ホームページ、SNS等で広報

(2)健康ガイドブックを年１回全戸配布

(3)受診勧奨通知等

(2) 健康診査・結核予防事業の検診結果推移

・各健(検)診の受診者数の推移

（単位：人）

年度	結核	肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	前立腺がん	骨粗しょう症	歯周病	30代健診	特定健診	生活保護	肝炎ウィルス	受診者延総数
令和３(2021)	5,762	9,326	3,877	10,816	6,414	9,589	2,489	779	487	365	11,048	84	892	61,928
	11.6%	14.2%	5.9%	16.5%	15.5%	20.2%	11.1%	7.2%	0.7%	5.9%	33.3%	4.6%	4.8%	
4(2022)	6,014	9,516	3,706	10,665	6,591	9,863	2,636	881	663	358	10,918	95	951	62,857
	12.1%	14.5%	5.6%	16.3%	16.0%	20.8%	11.8%	8.1%	1.0%	6.4%	34.2%	5.3%	5.6%	
5(2023)	5,983	9,332	3,443	10,441	6,408	9,567	2,563	776	513	337	10,247	65	866	60,541
	12.1%	14.2%	5.2%	15.9%	15.5%	20.2%	11.5%	7.1%	0.8%	6.6%	31.5%	3.6%	6.1%	
6(2024)	6,012	9,120	3,001	10,310	6,332	9,013	2,554	754	553	361	9,890	50	787	58,737
	12.1%	13.9%	4.6%	15.7%	15.3%	19.0%	11.4%	6.9%	0.8%	8.2%	31.2%	2.8%	4.6%	
7(2025)	5,851	8,716	2,627	10,387	5,919	8,809	3,129	775	462	318	9,262	77	668	57,000
	11.8%	13.3%	4.0%	15.8%	14.3%	18.6%	14.0%	7.2%	0.7%	8.1%	30.6%	4.4%	4.0%	

※上段は総受診者数、下段は受診率（がん検診は、国勢調査結果を用いた推計対象者数による算出）を記載。
※特定健診は受診者実数を計上しているため、法定報告と異なる。

・令和7年度 各健(検)診対象者数

	全年齢（対象年齢全て）		69歳以下		
	全住民※1	推計人口※2	全住民※1	推計人口※2	国保被保険者※3
①結核検診	66,821	49,599			
②肺がん検診	141,198	65,612	88,681	24,423	19,469
③胃がん検診					
④大腸がん検診					
⑤乳がん検診	77,075	41,320	45,800	15,355	9,961
⑥子宮がん検診	99,440	47,413	68,165	21,448	12,697
⑦前立腺がん検診	49,601	22,340	28,359	7,116	7,154
⑧骨粗しょう症検診	10,815				
⑨30代の健診	23,228	3,932			

※1 「全住民」：各がん検診の対象年齢の全住民（職域等で受診機会のある人も含む）

※2 「推計人口」：国勢調査結果を用いた推計対象者〔＝対象年齢人口－（就業者数－農林水産業従事者数）〕

※3 対象年齢の佐賀市国民健康保険被保険者数

①結核検診

※精密結果は、令和8年5月末現在の数値を掲載

年度	受診者数（人）	受診率（%）	要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）			
						活動性	陳旧性	その他	異常なし
令和３(2021)	5,762	11.6%	54	0.9	77.8	0	1	35	6
4(2022)	6,014	12.1%	45	0.7	77.8	0	1	28	6
5(2023)	5,983	12.1%	72	1.2	83.3	0	1	46	13
6(2024)	6,012	12.1%	82	1.4	80.5	0	0	54	12
7(2025)	5,851	11.8%	81	1.4	69.1	0	1	47	8

※ 結核検診の受診率は、国勢調査結果を用いた推計対象者数による算出

②肺がん検診

※精密結果は、令和8年5月末現在の数値を掲載

年度	検診方式	受診者数（人）		受診率（%）	要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）			
								肺がん	がん疑い	その他	異常なし
令和３(2021)	全年齢	9,326	(236)	（全住民） 6.6 （推計人口） 14.2	76	0.8	82.9	8	2	37	16
	（再掲）69歳以下	5,198 （うち国保被保険者） 3,082	(90)	（全住民） 5.7 （推計人口） 21.3 （国保被保険者） 13.4	26	0.5	88.5	3	0	12	8
4(2022)	全年齢	9,516	(216)	（全住民） 6.7 （推計人口） 14.5	104	1.1	85.6	5	1	56	27
	（再掲）69歳以下	5,080 （うち国保被保険者） 3,010	(73)	（全住民） 5.6 （推計人口） 20.8 （国保被保険者） 13.7	40	0.8	90.0	1	0	21	14
5(2023)	全年齢	9,332	(217)	（全住民） 6.6 （推計人口） 14.2	115	1.2	91.3	11	5	61	28
	（再掲）69歳以下	4,896 （うち国保被保険者） 2,824	(91)	（全住民） 5.5 （推計人口） 20.0 （国保被保険者） 13.5	45	0.9	88.9	4	2	24	10
6(2024)	全年齢	9,120	(183)	（全住民） 6.5 （推計人口） 13.9	131	1.4	90.8	5	4	63	47
	（再掲）69歳以下	4,571 （うち国保被保険者） 2,575	(46)	（全住民） 5.1 （推計人口） 18.7 （国保被保険者） 12.7	44	1.0	84.1	0	1	17	19
7(2025)	全年齢	8,716	(162)	（全住民） 6.2 （推計人口） 13.3	124	1.4	77.4	1	8	57	30
	（再掲）69歳以下	4,182 （うち国保被保険者） 2,310	(55)	（全住民） 4.7 （推計人口） 17.1 （国保被保険者） 11.9	46	1.1	54.3	0	1	11	13

※（ ）内は喀痰検診受診者数

③胃がん検診

※精密結果は、令和8年5月末現在の数値を掲載

年度	検診方式	受診者数（人）		受診率（%）	要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）			
								胃がん	がん疑い	その他	異常なし
令和３(2021)	集団	全年齢	3,805	―	237	6.2	81.9	6	0	170	18
		（再掲）69歳以下	2,849	―	156	5.5	80.8	1	0	115	10
	個別	全年齢（内視鏡検査）	72	―	5	6.9	100.0	0	0	5	0
	合計	全年齢	3,877	（全住民） 2.7 （推計人口） 5.9	242	6.2	82.2	6	0	175	18
		（再掲）69歳以下	2,921 （うち国保被保険者） 1,544	（全住民） 3.2 （推計人口） 12.0 （国保被保険者） 6.7	161	5.5	81.4	1	0	120	10
4(2022)	集団	全年齢	3,598	―	219	6.1	83.1	3	0	159	20
		（再掲）69歳以下	2,654	―	136	5.1	79.4	2	0	92	14
	個別	全年齢（内視鏡検査）	108	―	8	7.4	100.0	0	0	8	0
	合計	全年齢	3,706	（全住民） 2.6 （推計人口） 5.6	227	6.1	83.7	3	0	167	20
		（再掲）69歳以下	2,762 （うち国保被保険者） 1,496	（全住民） 3.1 （推計人口） 11.3 （国保被保険者） 6.8	144	5.2	80.6	2	0	100	14
5(2023)	集団	全年齢	3,311	―	252	7.6	88.1	2	0	198	22
		（再掲）69歳以下	2,418	―	162	6.7	88.9	1	0	131	12
	個別	全年齢（内視鏡検査）	132	―	6	4.5	100.0	0	0	6	0
	合計	全年齢	3,443	（全住民） 2.4 （推計人口） 5.2	258	7.5	88.4	2	0	204	22
		（再掲）69歳以下	2,550 （うち国保被保険者） 1,351	（全住民） 2.8 （推計人口） 10.4 （国保被保険者） 6.5	168	6.6	89.3	1	0	137	12
6(2024)	集団	全年齢	2,845	―	186	6.5	83.9	3	0	139	14
		（再掲）69歳以下	2,127	―	118	5.5	82.2	1	0	85	11
	個別	全年齢（内視鏡検査）	156	―	7	4.5	100.0	1	0	6	0
	合計	全年齢	3,001	（全住民） 2.1 （推計人口） 4.6	193	6.4	84.5	4	0	145	14
		（再掲）69歳以下	2,283 （うち国保被保険者） 1,180	（全住民） 2.6 （推計人口） 9.3 （国保被保険者） 5.8	125	5.5	83.2	2	0	91	11
7(2025)	集団	全年齢	2,457	―	184	7.5	65.8	1	0	100	20
		（再掲）69歳以下	1,851	―	120	6.5	63.3	0	0	62	14
	個別	全年齢（内視鏡検査）	170	―	11	6.5	100.0	0	0	11	0
	合計	全年齢	2,627	（全住民） 1.9 （推計人口） 4.0	195	7.4	67.7	1	0	111	20
		（再掲）69歳以下	2,021 （うち国保被保険者） 1,027	（全住民） 2.3 （推計人口） 8.3 （国保被保険者） 5.3	131	6.5	66.4	0	0	73	14

※個別検診（内視鏡検査）は令和2年10月から開始。対象者は50歳～68歳の偶数年齢の者。
令和４年度から対象年齢拡充（66歳、68歳を追加）。

◇ 受診率の算出について：令和7年度受診率は、P69の対象者数によりそれぞれ算出して記載。

④大腸がん検診

※精密結果は、令和8年5月末現在の数値を掲載

年度	検診方式	受診者数（人）		受診率（%）		要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）			
									大腸がん	がん疑い	その他	異常なし
令和3 (2021)	集団	全年齢	9,134	－		722	7.9	73.5	19	0	412	100
		（再掲）69歳以下	5,445	－		357	6.6	75.1	9	0	193	66
	個別	全年齢	1,682	－		146	8.7	71.9	3	0	82	20
		（再掲）69歳以下	799	－		57	7.1	77.2	2	0	31	11
	合計	全年齢	10,816	（全住民）	7.7	868	8.0	73.3	22	0	494	120
				（推計人口）	16.5							
		（再掲）69歳以下	6,244	（全住民）	6.9	414	6.6	75.4	11	0	224	77
			（うち国保被保険者） 3,097	（推計人口）	25.6							
				（国保被保険者）	13.5							
4 (2022)	集団	全年齢	9,080	－		555	6.1	73.5	22	0	307	79
		（再掲）69歳以下	5,186	－		269	5.2	75.1	12	0	141	49
	個別	全年齢	1,585	－		118	7.4	72.9	7	0	63	16
		（再掲）69歳以下	677	－		39	5.8	79.5	3	0	19	9
	合計	全年齢	10,665	（全住民）	7.6	673	6.3	73.4	29	0	370	95
				（推計人口）	16.3							
		（再掲）69歳以下	5,863	（全住民）	6.5	308	5.3	75.6	15	0	160	58
			（うち国保被保険者） 2,978	（推計人口）	24.0							
				（国保被保険者）	13.5							
5 (2023)	集団	全年齢	8,785	－		573	6.5	72.1	15	0	316	82
		（再掲）69歳以下	4,882	－		246	5.0	67.1	2	0	113	50
	個別	全年齢	1,656	－		157	9.5	70.1	7	0	85	18
		（再掲）69歳以下	677	－		45	6.6	71.1	1	0	24	7
	合計	全年齢	10,441	（全住民）	7.4	730	7.0	71.6	22	0	401	100
				（推計人口）	15.9							
		（再掲）69歳以下	5,559	（全住民）	6.2	291	5.2	67.7	3	0	137	57
			（うち国保被保険者） 2,766	（推計人口）	22.8							
				（国保被保険者）	13.2							
6 (2024)	集団	全年齢	8,610	－		580	6.7	71.4	14	0	327	73
		（再掲）69歳以下	4,563	－		255	5.6	69.8	6	0	129	43
	個別	全年齢	1,700	－		138	8.1	71.0	4	0	89	5
		（再掲）69歳以下	705	－		46	6.5	65.2	0	0	29	1
	合計	全年齢	10,310	（全住民）	7.3	718	7.0	71.3	18	0	416	78
				（推計人口）	15.7							
		（再掲）69歳以下	5,268	（全住民）	5.9	301	5.7	69.1	6	0	158	44
			（うち国保被保険者） 2,593	（推計人口）	21.6							
				（国保被保険者）	12.8							
7 (2025)	集団	全年齢	8,429	－		621	7.4	53.1	11	4	258	57
		（再掲）69歳以下	4,302	－		265	6.2	50.9	2	1	100	32
	個別	全年齢	1,958	－		169	8.6	49.7	3	1	70	10
		（再掲）69歳以下	842	－		40	4.8	60.0	1	0	19	4
	合計	全年齢	10,387	（全住民）	7.4	790	7.6	52.4	14	5	328	67
				（推計人口）	15.8							
		（再掲）69歳以下	5,144	（全住民）	5.8	305	5.9	52.1	3	1	119	36
			（うち国保被保険者） 2,465	（推計人口）	21.1							
				（国保被保険者）	12.7							

◇ 受診率の算出について：令和7年度受診率は、P69の対象者数によりそれぞれ算出して記載。

⑤乳がん検診

※精密結果は、令和8年5月末現在の数値を掲載

年度	検診方式	受診者数（人）		受診率（%）		要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）			
									乳がん	がん疑い	その他	異常なし
令和3 (2021)	集団	全年齢	5,203	－		249	4.8	86.3	12	0	103	100
		（再掲）69歳以下	3,498	－		187	5.3	84.5	7	0	86	65
	個別	全年齢	1,211	－		76	6.3	90.8	3	0	31	35
		（再掲）69歳以下	1,067	－		69	6.5	89.9	2	0	28	32
	合計	全年齢	6,414	（全住民）	8.3	325	5.1	87.4	15	0	134	135
				（推計人口）	15.5							
		（再掲）69歳以下	4,565	（全住民）	9.7	256	5.6	85.9	9	0	114	97
		（うち国保被保険者）		（推計人口）	29.7							
			1,616	（国保被保険者）	13.4							
4 (2022)	集団	全年齢	5,347	－		299	5.6	93.3	27	0	112	140
		（再掲）69歳以下	3,477	－		198	5.7	92.9	18	0	84	82
	個別	全年齢	1,244	－		64	5.1	92.2	2	0	25	32
		（再掲）69歳以下	1,069	－		55	5.1	90.9	0	0	24	26
	合計	全年齢	6,591	（全住民）	8.5	363	5.5	93.1	29	0	137	172
				（推計人口）	16.0							
		（再掲）69歳以下	4,546	（全住民）	9.7	253	5.6	92.5	18	0	108	108
		（うち国保被保険者）		（推計人口）	29.6							
			1,630	（国保被保険者）	14.2							
5 (2023)	集団	全年齢	5,116	－		257	5.0	93.8	15	0	110	116
		（再掲）69歳以下	3,301	－		191	5.8	93.2	9	0	88	81
	個別	全年齢	1,292	－		86	6.7	91.9	4	0	40	35
		（再掲）69歳以下	1,120	－		77	6.9	92.2	4	0	38	29
	合計	全年齢	6,408	（全住民）	8.3	343	5.4	93.3	19	0	150	151
				（推計人口）	15.5							
		（再掲）69歳以下	4,421	（全住民）	9.5	268	6.1	92.9	13	0	126	110
		（うち国保被保険者）		（推計人口）	28.8							
			1,454	（国保被保険者）	13.5							
6 (2024)	集団	全年齢	4,923	－		228	4.6	95.2	15	1	99	102
		（再掲）69歳以下	3,051	－		160	5.2	95.0	7	1	81	63
	個別	全年齢	1,409	－		125	8.9	86.4	2	0	55	51
		（再掲）69歳以下	1,259	－		109	8.7	87.2	1	0	50	44
	合計	全年齢	6,332	（全住民）	8.2	353	5.6	92.1	17	1	154	153
				（推計人口）	15.3							
		（再掲）69歳以下	4,310	（全住民）	9.4	269	6.2	91.8	8	1	131	107
		（うち国保被保険者）		（推計人口）	28.1							
			1,350	（国保被保険者）	13.0							
7 (2025)	集団	全年齢	4,665	－		187	4.0	79.1	10	0	69	69
		（再掲）69歳以下	2,832	－		115	4.1	80.0	2	0	53	37
	個別	全年齢	1,254	－		86	6.9	75.6	4	0	32	29
		（再掲）69歳以下	1,097	－		76	6.9	78.9	2	0	30	28
	合計	全年齢	5,919	（全住民）	7.7	273	4.6	78.0	14	0	101	98
				（推計人口）	14.3							
		（再掲）69歳以下	3,929	（全住民）	8.6	191	4.9	79.6	4	0	83	65
		（うち国保被保険者）		（推計人口）	25.6							
			1,215	（国保被保険者）	12.2							

◇ 受診率の算出について：令和７年度受診率は、P69の対象者数によりそれぞれ算出して記載。

(7) 乳がん検診無料クーポン券対象者の受診状況（再掲）　（年齢は該当年度の前年度年齢）

年度	検診方式	40歳			要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）			
		受診者数（人）	対象者数（人）	受診率（%）				乳がん	がん疑い	その他	異常なし
令和３(2021)	集団	130	－	－	5	3.8	100.0	0	0	4	1
	個別	147	－	－	17	11.6	82.4	0	0	7	7
	合計	277	1,408	19.7	22	7.9	86.4	0	0	11	8
4(2022)	集団	127	－	－	7	5.5	100.0	1	0	1	5
	個別	140	－	－	8	5.7	87.5	0	0	3	4
	合計	267	1,432	18.6	15	5.6	93.3	1	0	4	9
5(2023)	集団	123	－	－	10	8.1	90.0	0	0	7	2
	個別	147	－	－	9	6.1	100.0	0	0	4	5
	合計	270	1,473	18.3	19	7.0	94.7	0	0	11	7
6(2024)	集団	114	－	－	5	4.4	100.0	0	0	4	1
	個別	167	－	－	9	5.4	100.0	0	0	7	2
	合計	281	1,385	20.3	14	5.0	100.0	0	0	11	3
7(2025)	集団	89	－	－	4	4.5	100.0	0	0	3	1
	個別	144	－	－	13	9.0	84.6	0	0	6	5
	合計	233	1,403	16.6	17	7.3	88.2	0	0	9	6

※精密結果は、令和８年５月末現在の数値を掲載

⑥子宮がん検診

※精密結果は、令和8年5月末現在の数値を掲載

年度	検診方式	受診者数（人）		受診率（%）		要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）				
									子宮がん	CIN3又はAIS	CIN2～1（異形成）	その他	異常なし
令和3（2021）	集団	全年齢	3,138	—		66	2.1	90.9	5	4	25	15	11
		（再掲）69歳以下	2,156	—		55	2.6	89.1	4	4	21	12	8
	個別（体がん）	全年齢	6,451	—		344	5.3	87.5	9	18	141	69	64
		（再掲）69歳以下	6,112	—		337	5.5	87.2	7	18	140	69	60
		（再掲）（体がん）	(398)	—		(14)	(3.5)	(92.9)	(3)	(0)	(0)	(4)	(6)
	合計	全年齢	9,589	（全住民）	9.5	410	4.3	88.0	14	22	166	84	75
				（推計人口）	20.2								
		（再掲）69歳以下	8,268	（全住民）	11.6	392	4.7	87.5	11	22	161	81	68
			（うち国保被保険者）	（推計人口）	38.5								
			1,597	（国保被保険者）	10.7								
4（2022）	集団	全年齢	3,420	—		51	1.5	90.2	0	7	19	6	14
		（再掲）69歳以下	2,233	—		45	2.0	91.1	0	7	17	6	11
	個別（体がん）	全年齢	6,443	—		286	4.4	92.3	5	18	138	46	57
		（再掲）69歳以下	6,075	—		276	4.5	92.4	4	18	138	45	50
		（再掲）（体がん）	(460)	—		(4)	(0.9)	(100.0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(2)
	合計	全年齢	9,863	（全住民）	9.8	337	3.4	92.0	5	25	157	52	71
				（推計人口）	20.8								
		（再掲）69歳以下	8,308	（全住民）	11.9	321	3.9	92.2	4	25	155	51	61
			（うち国保被保険者）	（推計人口）	38.7								
			1,670	（国保被保険者）	11.7								
5（2023）	集団	全年齢	3,192	—		35	1.1	88.6	0	2	15	7	7
		（再掲）69歳以下	2,102	—		26	1.2	84.6	0	2	13	4	3
	個別（体がん）	全年齢	6,375	—		353	5.5	89.8	10	32	165	65	45
		（再掲）69歳以下	6,040	—		346	5.7	89.6	8	32	164	63	43
		（再掲）（体がん）	(446)	—		(6)	(1.3)	(100.0)	(3)	(0)	(0)	(1)	(2)
	合計	全年齢	9,567	（全住民）	9.5	388	4.1	89.7	10	34	180	72	52
				（推計人口）	20.2								
		（再掲）69歳以下	8,142	（全住民）	11.7	372	4.6	89.2	8	34	177	67	46
			（うち国保被保険者）	（推計人口）	38.0								
			1,518	（国保被保険者）	11.2								
6（2023）	集団	全年齢	2,862	—		43	1.5	88.4	2	7	16	7	6
		（再掲）69歳以下	1,841	—		38	2.1	89.5	1	7	16	5	5
	個別（体がん）	全年齢	6,151	—		353	5.7	91.2	10	24	169	71	48
		（再掲）69歳以下	5,810	—		345	5.9	91.0	9	24	167	69	45
		（再掲）（体がん）	(401)	—		(6)	(1.5)	(100.0)	(2)	(0)	(0)	(1)	(3)
	合計	全年齢	9,013	（全住民）	9.0	396	4.4	90.9	12	31	185	78	54
				（推計人口）	19.0								
		（再掲）69歳以下	7,651	（全住民）	11.1	383	5.0	90.9	10	31	183	74	50
			（うち国保被保険者）	（推計人口）	35.7								
			1,461	（国保被保険者）	11.1								
7（2024）	集団	全年齢	2,881	—		43	1.5	72.1	1	4	9	5	12
		（再掲）69歳以下	1,787	—		37	2.1	75.7	1	4	9	4	10
	個別（体がん）	全年齢	5,928	—		295	5.0	85.1	4	15	127	41	64
		（再掲）69歳以下	5,540	—		281	5.1	85.1	3	15	124	38	59
		（再掲）（体がん）	(426)	—		(10)	(2.3)	(100.0)	(3)	(0)	(0)	(1)	(6)
	合計	全年齢	8,809	（全住民）	8.9	338	3.8	83.4	5	19	136	46	76
				（推計人口）	18.6								
		（再掲）69歳以下	7,327	（全住民）	10.7	318	4.3	84.0	4	19	133	42	69
			（うち国保被保険者）	（推計人口）	34.2								
			1,387	（国保被保険者）	10.9								

◇ 受診率の算出について：R7年度受診率は、P69の対象者数によりそれぞれ算出して記載。

(ア) HPV検査

年度	検診方式	受診者数（人）	ＨＰＶ受診率（%）	結果内訳（人）			
				陽性者（2年連続陽性者数）	陽性率(%)	陰性者	
						陰性者数	（再掲）細胞診、HPVともに「異常なし」者
令和３（2021）	集団	1,365	43.8	96 （24）	7.0	1,269	〔1,261〕
	個別	4,022	80.4	532 （181）	13.2	3,486	〔3,459〕
	合計	5,387	66.4	628 （205）	11.7	4,755	〔4,720〕
4（2022）	集団	1,639	48.2	76 （20）	4.6	1,563	〔1,561〕
	個別	4,108	82.0	459 （160）	11.2	3,646	〔3,622〕
	合計	5,747	68.4	535 （180）	9.3	5,209	〔5,183〕
5（2023）	集団	1,598	50.4	73 （13）	4.6	1,525	〔1,521〕
	個別	3,977	80.1	490 （166）	12.3	3,485	〔3,456〕
	合計	5,575	68.5	563 （179）	10.1	5,010	〔4,977〕
6（2024）	集団	1,348	47.7	73 （20）	5.4	1,275	〔1,264〕
	個別	3,896	80.8	496 （175）	12.7	3,399	〔3,362〕
	合計	5,244	68.6	569 （195）	10.9	4,674	〔4,626〕
7（2025）	集団	1,451	50.7	69 （14）	4.8	1,382	〔1,374〕
	個別	3,676	78.0	440 （147）	12.0	3,236	〔3,200〕
	合計	5,127	67.7	509 （161）	9.9	4,618	〔4,574〕

※陽性者の（ ）内は、頸部判定結果にかかわらず、HPV検査結果が2年連続陽性であった者。

※陰性者の〔再掲：細胞診、HPVともに「異常なし」者〕は、次回の検診時期が3年後になる者。

※HPV検査受診者のうち令和元年度１名、令和2年度１名、令和3年度4名、令和4年度3名、令和5年度2名、令和6年度1名は判定不能。

※令和3年度～7年度は佐賀県子宮頸がん撲滅事業により30～44歳のＨＰＶ検査にかかる費用を県が負担。

(ｲ)　子宮がん検診無料クーポン券対象者の受診状況（再掲）

※初めてHPV検査対象者となる年度内30歳到達の女性に、佐賀市独自で「子宮頸がん検診無料クーポン券」を配布

年度	検診方式	※30歳（市独自）			要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）				
		受診者数	対象者数	受診率				子宮がん	CIN3又はAIS	CIN 2～1（異形成）	その他	異常なし
		（人）		（%）								
令和３(2021)	集団	40	－	－	2	5.0	100.0	0	1	0	1	0
	個別	374	－	－	11	2.9	90.9	0	1	4	3	2
	合計	414	1,137	36.4	13	3.1	92.3	0	2	4	4	2
４(2022)	集団	21	－	－	1	4.8	0.0	0	0	0	0	0
	個別	333	－	－	9	2.7	100.0	0	0	7	2	0
	合計	354	1,009	35.1	10	2.8	90.0	0	0	7	2	0
５(2023)	集団	28	－	－	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0
	個別	355	－	－	7	2.0	85.7	0	2	3	1	0
	合計	383	1,048	36.5	7	1.8	85.7	0	2	3	1	0
６(2024)	集団	37	－	－	1	2.7	100.0	0	0	1	0	0
	個別	349	－	－	11	3.2	100.0	0	0	9	2	0
	合計	386	1,102	35.0	12	3.1	100.0	0	0	10	2	0
７(2025)	集団	27	－	－	1	3.7	0.0	0	0	0	0	0
	個別	293	－	－	11	3.8	81.8	0	0	7	2	0
	合計	320	972	32.9	12	3.8	75.0	0	0	7	2	0

※精密結果は、令和８年５月末現在の数値を掲載

(ｳ)　子宮がん検診(個別)の変遷

年　度	受診者数(人)		備　　考
	頸がん	体がん	
平成2 (1990)	1,694	320	９月(がん制圧月間)に、個人負担を減額したところ、９月の受診者は、ほかの月の２倍となった。
3	1,781	206	同　　上
4	3,781	431	個人負担額……無料とする。
5	4,152	529	同　　上
6	3,848	259	同　　上
7	3,695	271	個別検診が、全体の４４％を占める。
8	3,667	292	個別検診が、全体の５６％を占める。
9	3,820	326	個別検診が、全体の５７．６％を占める。
10	3,638	407	個別検診が、全体の５９．３％を占める。
11	3,695	410	個別検診が、全体の６０．２％を占める。
12	3,884	457	個別検診が、全体の６０．１％を占める。
13	3,950	522	個別検診が、全体の６０．５％を占める。
14	3,950	479	個別検診が、全体の５９．４％を占める。
15	3,761	402	個別検診が、全体の５７．９％を占める。
16	3,761	462	個別検診が、全体の５８．９％を占める。
17	1,199	180	個人負担額…頸部検診１，８００円　頸部･体部検診２，６００円
18	1,544	149	個人負担額…頸部検診１，８００円　頸部･体部検診２，６００円
19	2,021	174	個人負担額…頸部検診１，８００円　頸部･体部検診２，６００円 個別検診が全体の32.1%を占める。
20	3,491	283	個人負担額…頸部検診１，８００円　頸部･体部検診２，６００円 個別検診が全体の39.9%を占める。
21	4,756	226	個人負担額…頸部検診１，８００円　頸部･体部検診２，６００円 個別検診が全体の45.4%を占める。
22	5,010	256	個人負担額…頸部検診１，８００円　頸部･体部検診２，６００円 個別検診が全体の47.1%を占める。
23	5,862	280	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の51.2%を占める。
24	5,938	161	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の51.3%を占める。
25	5,262	125	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の51.8%を占める。
26	6,699	138	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の61.5%を占める。
27	6,366	138	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の61.9%を占める。
28	6,313	166	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の61.2%を占める。
29	6,591	294	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の64.9%を占める。
30	6,175	277	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の64.2%を占める。

年　度	受診者数(人)		備　　考
	頸がん	体がん	
令和元 (2019)	6,369	350	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の63.1%を占める。
2 (2020)	6,599	442	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の67.5%を占める。
3 (2021)	6,451	398	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の67.3%を占める。
4 (2022)	6,443	460	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の65.3%を占める。
5 (2023)	6,375	446	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の66.6%を占める。
6 (2024)	6,151	401	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の68.2%を占める。
7(2025)	5,928	426	個人負担額…頸部検診１，３００円　頸部･体部検診２，１００円 個別検診が全体の67.3%を占める。

※体がんは、内数

※平成１７年度以前のデータについては、旧佐賀市のものを掲載

※平成１８・１９年度のデータについては、南部３町のものを含まず

⑦前立腺がん検診

※精密結果は、令和8年5月末現在の数値を掲載

年度	検診方式	受診者数（人）		受診率（%）	要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）			
								前立腺がん	がん疑い	その他	異常なし
令和3(2021)	集団	全年齢	2,097	－	184	8.8	70.1	11	1	74	43
		(再掲)69歳以下	787	－	52	6.6					
	個別	全年齢	392	－	41	10.5	51.2	0	0	18	3
		(再掲)69歳以下	125	－	7	5.6					
	合計	全年齢	2,489	(全住民) 5.1 (推計人口) 11.1	225	9.0	66.7	11	1	92	46
		(再掲)69歳以下	912	(全住民) 3.2 (推計人口) 12.8	59	6.5					
令和4(2022)	集団	全年齢	2,156	－	178	8.3	68.5	14	0	85	23
		(再掲)69歳以下	776	－	39	5.0					
	個別	全年齢	480	－	49	10.2	61.2	4	0	19	7
		(再掲)69歳以下	131	－	8	6.1					
	合計	全年齢	2,636	(全住民) 5.4 (推計人口) 11.8	227	8.6	67.0	18	0	104	30
		(再掲)69歳以下	907	(全住民) 3.2 (推計人口) 12.7	47	5.2					
令和5(2023)	集団	全年齢	2,087	－	187	9.0	63.6	20	0	72	27
		(再掲)69歳以下	727	－	38	5.2					
	個別	全年齢	476	－	58	12.2	72.4	10	0	24	8
		(再掲)69歳以下	116	－	10	8.6					
	合計	全年齢	2,563	(全住民) 5.2 (推計人口) 11.5	245	9.6	65.7	30	0	96	35
		(再掲)69歳以下	843	(全住民) 3.0 (推計人口) 11.8	48	5.7					
令和6(2024)	集団	全年齢	2,069	－	198	9.6	71.7	16	0	88	38
		(再掲)69歳以下	694	－	38	5.5					
	個別	全年齢	485	－	52	10.7	65.4	4	1	20	9
		(再掲)69歳以下	116	－	5	4.3					
	合計	全年齢	2,554	(全住民) 5.2 (推計人口) 11.4	250	9.8	70.4	20	1	108	47
		(再掲)69歳以下	810	(全住民) 2.9 (推計人口) 11.4	43	5.3					
令和7(2025)	集団	全年齢	2,361	－	227	9.6	48.0	13	1	59	36
		(再掲)69歳以下	895	－	54	6.0					
	個別	全年齢	768	－	93	12.1	58.1	14	0	27	13
		(再掲)69歳以下	286	－	14	4.9					
	合計	全年齢	3,129	(全住民) 6.3 (推計人口) 14.0	320	10.2	50.9	27	1	86	49
		(再掲)69歳以下	1,181	(全住民) 4.2 (推計人口) 16.6	68	5.8					

※精密結果内訳のうち、「その他」には高齢などの理由により精密検査未実施の者や最終診断が不明であった者を含む。

◇ 受診率の算出について：令和7年度受診率は、P69の対象者数によりそれぞれ算出して記載。

⑧骨粗しょう症検診

※精密結果は、令和8年5月末現在の数値を掲載

年度	検診方式	受診者数（人）	受診率（%）	要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）		
							異常なし	骨粗鬆症以外	骨粗鬆症
令和３(2021)	集団	757	－	110	14.5	65.5	19	7	46
	個別	22	－	8	36.4	62.5	1	1	3
	合計	779	7.2	118	15.1	65.3	20	8	49
4(2022)	集団	858	－	113	13.2	60.2	7	15	46
	個別	23	－	13	56.5	46.2	4	1	1
	合計	881	8.1	126	14.3	58.7	11	16	47
5(2023)	集団	750	－	113	15.1	63.7	10	20	42
	個別	26	－	9	34.6	77.8	1	1	5
	合計	776	7.1	122	15.7	64.8	11	21	47
6(2024)	集団	728	－	100	13.7	65.0	10	12	43
	個別	26	－	10	38.5	40.0	1	1	2
	合計	754	6.9	110	14.6	62.7	11	13	45
7(2025)	集団	737	－	131	17.8	54.2	16	10	45
	個別	38	－	15	39.5	20.0	1	1	1
	合計	775	7.2	146	18.8	50.7	17	11	46

◇ 受診率の算出について：令和7年度受診率は、P69の対象者数によりそれぞれ算出して記載。

⑨歯周病検診

※精密結果は、令和8年5月末現在の数値を掲載

年度	受診者数（人）		要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）			
						治療	経過観察	指導	他機関紹介
令和３(2021)	集団	469	312	66.5	37.2	97	17	1	1
	個別	18	8	44.4	62.5	4	0	1	0
	合計	487	320	65.7	37.8	101	17	2	1
4(2022)	集団	626	365	58.3	35.9	112	14	5	0
	個別	37	24	64.9	87.5	21	0	0	0
	合計	663	389	58.7	39.1	133	14	5	0
5(2023)	集団	487	273	56.1	42.1	99	12	3	1
	個別	26	10	38.5	90.0	9	0	0	0
	合計	513	283	55.2	43.8	108	12	3	1
6(2024)	集団	533	339	63.6	41.3	112	23	4	1
	個別	20	10	50.0	100.0	8	2	0	0
	合計	553	349	63.1	43.0	120	25	4	1
7(2025)	集団	449	278	61.9	44.6	104	19	1	0
	個別	13	9	69.2	88.9	4	2	2	0
	合計	462	287	62.1	46.0	108	21	3	0

※令和3年度から当該年度に40歳に到達する者のみを対象に個別検診を開始。

※令和4年度から、個別検診の対象に50歳を追加。

⑩３０代の健診

※精密結果は、令和８年５月末現在の数値を掲載

年度	受診者数（人）	受診率（%）	要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）			
						要医療(肝がん･肝硬変)		要観察要指導	異常なし
令和3　(2021)	365	5.9	24	6.6	50.0	1	(0)	10	1
4　(2022)	358	6.4	32	8.9	46.9	4	(0)	10	1
5　(2023)	337	6.6	25	7.4	28.0	0	(0)	6	1
6　(2024)	361	8.2	37	10.2	43.2	5	(0)	7	4
7　(2025)	318	8.1	21	6.6	28.6	2	(0)	4	0

⑪特定健診（初回面接実施状況と精密検査結果の内訳）

※精密結果は、令和8年５月末現在の数値を掲載

年度	健診方式	受診者数（人）	特定保健指導者数（人）				要精密者数（人）	要精密率（%）	精密受診率（%）	精密結果内訳（人）		
			積極的支援該当者数	初回面接実施者数	動機付け支援該当者数	初回面接実施者数				要医療	要指導	異常なし
令和3 (2021)	集団	6,174	261	166	663	495	1,245	20.2	40.6	159	295	51
	個別	4,874	125	30	437	77	886	18.2	55.8	135	309	50
	合計	11,048	386	196	1,100	572	2,131	19.3	46.9	294	604	101
4 (2022)	集団	6,128	212	160	615	486	1,175	19.2	42.1	152	291	52
	個別	4,790	118	40	401	95	833	17.4	55.1	126	270	63
	合計	10,918	330	200	1,016	581	2,008	18.4	47.5	278	561	115
5 (2023)	集団	5,691	223	159	554	428	1,134	19.9	48.0	161	338	45
	個別	4,556	113	45	368	106	782	17.2	68.4	101	367	67
	合計	10,247	336	204	922	534	1,916	18.7	56.3	262	705	112
6 (2024)	集団	5,383	194	152	573	491	1,030	19.1	39.8	136	231	43
	個別	4,507	104	52	391	133	741	16.4	62.2	115	283	63
	合計	9,890	298	204	964	624	1,771	17.9	49.2	251	514	106
7 (2025)	集団	4,995	184	146	551	419	883	17.7	46.4	121	228	61
	個別	4,267	108	41	353	124	652	15.3	63.7	93	260	62
	合計	9,262	292	187	904	543	1,535	16.6	53.7	214	488	123

⑫後期高齢者健康診査

年度	受診者数（人）	集団健診受診者数（人）	個別健診受診者数（人）
令和３(2021)	3,875	2,032	1,843
4(2022)	4,526	2,412	2,114
5(2023)	4,803	2,516	2,287
6(2024)	5,268	2,798	2,470
7(2025)	5,498	2,993	2,505

⑬健康増進法に基づく生活保護世帯に属する者等に係る健康診査

年度	受診者数（人）	健診方式別受診者数（人）		特定保健指導該当者数（人）	
		集団	個別	積極的支援該当者数	動機付け支援該当者数
令和３(2021)	84	81	3	8	6
4(2022)	95	89	6	11	9
5(2023)	65	56	9	10	5
6(2024)	50	43	7	3	3
7(2025)	77	69	8	8	13

⑭肝炎ウイルス検査結果（市実施分のみ）

令和3(2021)年度

年代	受診者数(人)			
	HBs抗原 HCV抗体 検査	HBs抗原 検査のみ	HCV抗体 検査のみ	計
30～39歳	207	0	0	207
40～49歳	174	1	0	175
50～59歳	75	1	1	77
60～69歳	232	12	2	246
70歳以上	172	15	0	187
計	860	29	3	892

令和4(2022)年度

年代	受診者数(人)			
	HBs抗原 HCV抗体 検査	HBs抗原 検査のみ	HCV抗体 検査のみ	計
30～39歳	208	0	0	208
40～49歳	170	0	0	170
50～59歳	104	0	0	104
60～69歳	237	8	0	245
70歳以上	203	16	5	224
計	922	24	5	951

令和5(2023)年度

年代	受診者数(人)			
	HBs抗原 HCV抗体 検査	HBs抗原 検査のみ	HCV抗体 検査のみ	計
30～39歳	172	1	0	173
40～49歳	149	0	0	149
50～59歳	89	3	0	92
60～69歳	221	7	4	232
70歳以上	209	11	0	220
計	840	22	4	866

令和6(2024)年度

年代	受診者数(人)			
	HBs抗原 HCV抗体 検査	HBs抗原 検査のみ	HCV抗体 検査のみ	計
30～39歳	199	0	0	199
40～49歳	121	0	0	121
50～59歳	71	0	0	71
60～69歳	172	5	2	179
70歳以上	201	12	4	217
計	764	17	6	787

令和7(2025)年度

年代	受診者数(人)			
	HBs抗原 HCV抗体 検査	HBs抗原 検査のみ	HCV抗体 検査のみ	計
30～39歳	161	1	0	162
40～49歳	109	0	0	109
50～59歳	63	0	0	63
60～69歳	137	3	3	143
70歳以上	180	10	1	191
計	650	14	4	668

(7)特定健診・特定保健指導の結果（令和7年度）

・特定健診 年代別受診状況

（単位：人）

項目	年代 / 健診方式	40～49歳		50～59歳		［60～64歳］ 60～69歳		70～74歳		計	
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
特定健診	集団	550	66.7%	609	59.2%	［522］ 1,728	［55.5%］ 54.6%	2,108	49.7%	4,995	53.9%
	個別	274	33.3%	420	40.8%	［419］ 1,437	［44.5%］ 45.4%	2,136	50.3%	4,267	46.1%
合計		824	－	1,029	－	［941］ 3,165	－	4,244	－	9,262	－

・特定保健指導 年代別実施状況

※該当者数の「割合」は、各年代の特定健診受診者数に対する割合
※積極的支援は、対象年齢である６４歳までの数値を掲載　（単位：人）

	保健指導レベル	年代 / 内訳	40～49歳		50～59歳		積極的：60～64歳 動機付：60～69歳		70～74歳		計	
			実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
特定保健指導	積極的支援	該当者数	101	12.3%	124	12.1%	67	7.1%			292	10.5%
		初回面接実施者数	66	65.3%	86	69.4%	35	52.2%			187	64.0%
	動機付け支援	該当者数	68	8.3%	91	8.8%	336	10.6%	409	9.6%	904	9.8%
		初回面接実施者数	36	52.9%	52	57.1%	191	56.8%	264	64.5%	543	60.1%

・受診勧奨域基準値 項目別集計

※「割合」は、各年代の特定健診受診者数に対する割合　（単位：人）

項目		年代 / 基準値	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～74歳		計	
			実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
中性脂肪		300～	31	3.8%	39	3.8%	63	2.0%	70	1.6%	203	2.2%
HDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙ		34以下	12	1.5%	8	0.8%	29	0.9%	35	0.8%	84	0.9%
LDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙ		140～	193	23.4%	318	30.9%	916	28.9%	995	23.4%	2,422	26.1%
ALT(GPT)		51～	59	7.2%	51	5.0%	106	3.3%	84	2.0%	300	3.2%
血糖	空腹時	126～	21	2.5%	43	4.2%	225	7.1%	338	8.0%	627	6.8%
	随時	126～	12	1.5%	19	1.8%	41	1.3%	121	2.9%	193	2.1%
	HbA1c	6.5～	31	3.8%	80	7.8%	357	11.3%	645	15.2%	1,113	12.0%
血圧収縮期		140～	57	6.9%	134	13.0%	556	17.6%	961	22.6%	1,708	18.4%
血圧拡張期		90～	75	9.1%	108	10.5%	292	9.2%	309	7.3%	784	8.5%
尿蛋白		＋＋～	8	1.0%	8	0.8%	29	0.9%	50	1.2%	95	1.0%
ｅＧＦＲ		50未満 （７０歳以上は４０未満）	9	1.1%	23	2.2%	159	5.0%	103	2.4%	294	3.2%
尿酸		8～	35	4.2%	33	3.2%	70	2.2%	83	2.0%	221	2.4%
合計（年代の合計）			543	65.9%	864	84.0%	2,843	89.8%	3,794	89.4%	8,044	86.8%

(ｲ) 特定健診(個別)・基本健康診査(個別)の変遷

	年度	内　　容	受診者数(人)	個人負担額	参考(集団健診)
	平成元 (1989)	基本健康診査	720	1,100円	600円
	2		1,086		
	3		852		
	4		908	1,600円	900円
	5		814		
	6		767	1,800円	1,000円
	7		752		
	8		1,369	1,000円	1,000円
	9		1,282	1,200円	1,200円
	10		1,332	1,300円	1,300円
	11		1,466		
	12		1,681		
	13		1,767		
	14		1,784		
	15		1,521		
	16		1,605		
	17		1,092	3,000円	1,300円
	18		1,197	3,000円	1,000円
基本健診終了	19		1,703		
特定健診開始	20	特定健康診査	3,986	1,000円	1,000円
	21		4,072		
	22		3,884		
	23		2,926		
	24		2,884		
	25		4,181		
	26		4,551		
	27		4,835		
	28		5,749		
	29		4,859		
	30		5,390		

※特定健診は、受診者実数を計上しているため、法定報告と異なる。

※平成２５年度からヘルスサポートを含む。

年度	内　　容	受診者数(人)	個人負担額	参考(集団健診)
令和元 (2019)	特定健康診査	5,138	1,000円	1,000円
2		5,502		
3		4,874		
4		4,790		
5		4,556		
6		4,507		
7		4,267		

※特定健診は、受診者実数を計上しているため、法定報告と異なる。

※平成２５年度からヘルスサポートを含む。

(ｳ) 特定健診参考資料

検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値

					正常値	保健指導判定値	受診勧奨判定値
					発病を予防する	早期発見、早期治療、血管変化の予防	発病後、進行を抑制し再発や重症化を防ぐ
基本的な健診の項目	血管が傷む（動脈硬化の危険因子）	身体の大きさ	BMI		～24.9	25.0～	
			腹囲		男性　85cm未満	85cm～	
					女性　90cm未満	90cm～	
		内臓脂肪の蓄積	中性脂肪	空腹時	～149	150～299	300～
				随時	～174	175～299	300～
			HDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙ		40～	～39	-
			AST(GOT)		～30	31～50	51～
			ALT(GPT)		～30	31～50	51～
			γ-GT(γ-GTP)		～50	51～100	101～
		インスリン抵抗性	血糖	空腹時	～99	100～125	126～
				随時	～99	100～125	126～
				HbA1c (NGSP値)	～5.5	5.6～6.4	6.5～
		血管を傷つける	血圧	収縮期	～129	130～139	140～
				拡張期	～84	85～89	90～
	血管変化	腎臓	尿蛋白		(－)	(±)	(＋) ～
			eGFR (糸球体ろ過量)		60～	45～59	～44
	その他の動脈硬化危険因子		LDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙ		～119	120～139	140～
詳細項目	血管易血栓化		血色素 (ヘモグロビン)		男性13.1～	12.1～13.0	～12.0
					女性12.1～	11.1～12.0	～11.0

※標準的健診・保健指導プログラム（令和６年度版）

(3) 健診内容の変遷

年　度	内　　容	
	集団健(検)診	**個別健(検)診**
平成 2 (1990)	肝疾患検診実施 基本健診･肝疾患検診で血液検査19項目実施(HBs抗原･ZTT導入)	
4	基本健診･肝疾患検診で血液検査21項目実施 (HDLコレステロール･クレアチニン導入) がん検診、個人負担額の無料化	乳がん検診実施
5	基本健診･肝疾患検診で血液検査22項目実施(HCV抗体導入)	
7		大腸がん検診実施(1月から)
8	ほほえみ館で総合健診実施	基本健診の自己負担額を集団健診と同額で実施
9	基本健診・肝疾患検診で血液検査23項目実施(HbA1c導入)	
10	大腸がん検診検体容器をほほえみ健診会場にて配布実施 結核精密検診受診者に対し喀痰検査追加	
12	月曜日に、ほほえみ健診実施	
13	肝疾患検診､基本健診血液検査項目見直し(18項目) ･HCV-RNA､HBs抗原､血小板の導入 ･MCV､MCH､MCHC､アルブミン､A/G比､コリンエステラーゼ､ZTTの除去	
14	老人保健事業に肝炎ウィルス検診（節目検診）の導入 結核検診要精密者の検査を総合保健協会で毎週月曜日実施	
15	ほほえみ健診での基本健診､がん検診を全面委託方式で実施 歯周疾患検診開始（10月～） ＨＣＶ抗原検査導入	
17	乳がん視触診とマンモグラフィ検査の併用 結核検診の対象者が65歳以上となる（結核予防法の一部を改正する法律施行）	乳がん検診 4月～8月一時休止 9月から視触診とマンモグラフィ検査併用
18	65歳以上の生活機能評価を基本健診と同時実施 基本健診・肝疾患検診で血液検査２１項目実施（尿酸導入）	
19	前立腺がん検診、骨粗しょう症検診開始 基本健診、肝疾患検診で腹囲測定実施 基本健診終了	
20	特定健診開始（HbA1c、クレアチニン、血清尿酸、尿潜血も同時実施） 65歳以上の生活機能評価の同時実施開始 健康増進法に基づく健康診査（生活保護）開始	特定健診開始（HbA1c、クレアチニン、血清尿酸、尿潜血も同時実施） 65歳以上の生活機能評価の同時実施開始 健康増進法に基づく健康診査（生活保護）開始 後期高齢者健診開始
21	女性特有のがん検診推進事業開始 特定健診の血液検査項目にｅＧＦＲ導入 65歳以上の生活機能評価の同時実施終了 後期高齢者健診開始	女性特有のがん検診推進事業開始 特定健診の血液検査項目にｅＧＦＲ導入
22	ミニドックさがでる健診開始（肺がん・胃がん検診同時実施） 毎日健診の試行（11月～）	65歳以上の生活機能評価の同時実施終了 （生活機能評価廃止） ヘルスサポート開始（11月～）
23	毎日健診の実施 子宮頸がん検診との併用で、HPV検査導入 子宮頸がん検診有料化（自己負担額500円）	子宮頸がん検診との併用で、HPV検査導入 子宮がん検診自己負担額の改定 （頸部1,800円⇒1,300円、頸体部2,600円⇒2,100円）
24	大腸がん検診を通年実施 前立腺がん検診の上限年齢撤廃（50歳以上を対象）	大腸がん検診を通年実施 前立腺がん検診の上限年齢撤廃（50歳以上を対象）
25	HPV検査の上限年齢撤廃（30歳以上を対象） 旧市内公民館１８か所で、特定健診・３０代の健診・後期高齢者健診・前立腺がん検診を実施	HPV検査の上限年齢撤廃（30歳以上を対象）
26	コンビニ健診の実施（特定健診・後期高齢者健診・３０代の健診・肺がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診） 旧市内公民館での健診に、大腸がん検診を追加 職域での大腸がん検診を開始	
27	30歳女性に、市独自で「子宮頸がん検診無料クーポン券」を配布 旧市内公民館での健診（２か所）で、肺がん検診を同時実施	30歳女性に、市独自で「子宮頸がん検診無料クーポン券」を配布
28	大和支所健診を、大和支所庁舎で実施	
29	乳がん検診の視診・触診を廃止（問診・マンモグラフィのみ実施）	乳がん検診の視診・触診を廃止（問診・マンモグラフィのみ実施） 個別子宮がん検診が県内広域化、子宮体がん検診の対象年齢変更（20歳以上）
30	特定健診（詳細健診）にクレアチニン検査が追加、心電図・眼底検査の対象者基準が拡大	特定健診（詳細健診）にクレアチニン検査が追加、心電図・眼底検査の対象者基準が拡大 個別大腸がん検診結果通知方法を、検査機関（健康づくり財団）から受診者に郵送する方法に変更

年　度	内　　容	
	集団健(検)診	**個別健(検)診**
令和元 (2019)	佐賀県子宮頸がん撲滅事業開始（30～44歳のＨＰＶ検査にかかる費用を県が負担）	佐賀県子宮頸がん撲滅事業開始（30～44歳のＨＰＶ検査にかかる費用を県が負担）
2		50・52・54・56・58・60・62・64歳を対象に市内登録医療機関（19医療機関）にて胃内視鏡検診を開始（10月～）
3		40歳を対象に市内登録歯科医療機関にて歯周病検診を開始
4		歯周病検診（個別）の対象に50歳を追加 胃内視鏡検診が県内広域化、対象年齢拡充（50・52・54・56・58・60・62・64・66・68歳）、自己負担額を5,000円から4,000円に改定
6	特定健診の血液検査項目に随時中性脂肪導入	特定健診の血液検査項目に随時中性脂肪導入 乳がん検診の県内広域化開始
7	職域での前立腺がん検診を開始 前立腺がん検診の対象者を拡大（健康保険の種類を問わず、50歳以上の男性）、単独実施も可能	前立腺がん検診の対象者を拡大（健康保険の種類を問わず、50歳以上の男性）、単独実施や人間ドック等との同時実施も可能

8 健康相談

（１）健診結果説明会

集団健診受診者に対し自己管理に役立つための結果説明を行い、生活習慣病の発症や重症化を防ぐ。

	実施回数（回）	対象者数（人）	参加者数（人）	参加率	備考
令和３（2021）	76	6,208	3,701	59.6%	
4（2022）	75	6,310	3,536	56.0%	※説明会中止:1回(台風のため)
5（2023）	73	5,776	3,300	57.1%	
6（2024）	58	5,218	2,814	53.9%	※公民館健診の説明会廃止
7（2025）	57	4,950	2,362	47.7%	

（２）健康相談

健康相談は、健診結果等健康上の問題について保健指導を行うもので、保健師や管理栄養士が相談に応じている。

年度		令和３（2021）		4（2022）		5（2023）		6（2024）		7（2025）	
事業名		実施回数（回）	延べ参加者数（人）	実施回数（回）	延べ参加者数（人）	実施回数（回）	延べ参加者数（人）	実施回数（回）	延べ参加者数（人）	実施回数（回）	延べ参加者数（人）
重点健康相談		289 (610)	606 (2,343)	310 (582)	613 (2,499)	300 (596)	504 (1,891)	306 (592)	546 (2,129)	248 (502)	382 (1,440)
（再掲）	高血圧	38 (113)	50 (234)	26 (91)	33 (162)	29 (85)	32 (138)	29 (91)	34 (146)	20 (64)	23 (85)
	脂質異常症	46 (91)	60 (165)	40 (84)	52 (160)	46 (95)	54 (141)	46 (81)	70 (127)	42 (75)	48 (117)
	糖尿病	118 (193)	258 (1,177)	123 (201)	216 (1,119)	130 (202)	205 (783)	123 (215)	218 (1,007)	87 (172)	121 (529)
	歯周疾患	60 (68)	203 (469)	70 (70)	246 (625)	70 (70)	184 (487)	70 (70)	179 (533)	70 (70)	157 (449)
	骨粗しょう症	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	病態別	27 (145)	35 (298)	51 (136)	66 (433)	25 (144)	29 (342)	38 (135)	45 (316)	29 (121)	33 (260)
総合健康相談		346 (720)	645 (2,209)	291 (515)	490 (1,700)	327 (548)	467 (1,408)	256 (502)	316 (1,173)	252 (480)	297 (951)
合計		635 (1,330)	1,251 (4,552)	601 (1,097)	1,103 (4,199)	627 (1,144)	971 (3,299)	562 (1,094)	862 (3,302)	500 (982)	679 (2,391)

・上段は健康増進事業実績（40～64歳）

・下段（　　）内は全年齢集計。特定保健指導は含まない。

（３）生涯健康管理ファイルの配布

特定健診・３０代の健診受診者等に対し、自己健康管理に役立ててもらうため、健康診査の記録など自己健康管理に必要な資料を保管できる「生涯健康管理ファイル」（佐賀市独自に作成）を配布している。

年　度	令和３ (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)
件数（件）	1,243	1,045	1,005	858	433

※「生涯健康管理ファイル」は、個々人に合った資料の活用ができるよう、平成２５年度まで同様の目的で配布していた「健康手帳」から移行したもの。

（４）アピアランスケア支援事業（令和4年4月事業開始）

がん患者の治療と社会参加等の両立を支援し、療養生活の質の向上や経済的負担の軽減を図るため、補整具（ウィッグや乳房補整具）の購入費の一部を助成する。

年　度	ウィッグ		乳房補整具	
	件数	助成額	件数	助成額
令和４ (2022)	83件	1,565,188円	43件	503,578円
5 (2023)	83件	1,591,572円	46件	455,830円
6 (2024)	105件	1,951,032円	36件	456,477円
7 (2025)	93件	1,667,568円	49件	562,609円

（５）骨髄等移植ドナー支援助成事業（令和5年4月事業開始）

公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄又は末梢血幹細胞の提供を行った者に対して助成金を交付する。

年　度	件数	助成額
令和５ (2023)	3件	420,000円
令和６ (2024)	4件	560,000円
令和７ (2025)	5件	700,000円

9 訪問指導

高齢者の医療の確保に関する法律により、特定健診・特定保健指導は医療保険者に義務付けられたため保険年金課が計上し、特定保健指導（積極的支援及び動機付け支援）の対象者以外の訪問を計上している。

項目＼年度		令和3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)
被指導人数（実人数）	健診結果による訪問	1,351	1,090	1,238	1,531	1,312
		(1,012)	(894)	(920)	(1,020)	(877)
	その他	45	179	201	214	258
		(41)	(169)	(188)	(185)	(239)
	合計	1,396	1,269	1,439	1,745	1,570
		(1,053)	(1,063)	(1,108)	(1,205)	(1,116)

※特定保健指導のための訪問は除く

※上段は延人数、下段は実人数

10　感染症予防

感染症に関する情報及び予防法について、ホームページ等で情報提供を行っている。
感染症拡大防止のための衛生・防護用品（消毒剤、マスク、防護服等）の備蓄を行っている。

11　食中毒予防

感染性病原菌等による食中毒の発生を未然に防止するため「食中毒事故防止対策連絡会議」を設置し、関係部署で情報共有を行い、それぞれの部署において対策を行っている。（平成２７年度以降会議開催の実績はない。）

また、市報やホームページにて食中毒予防に関する啓発及び注意喚起を行っている。

年度	2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)
食中毒発生件数(件)	1	0	3	0	3	2
食中毒注意報 発令件数(件)	10	11	7	5	2	2

12 熱中症予防

熱中症対策健康会議を開催し、行政、企業、民間団体等がそれぞれ実施している取組を共有するとともに、「熱中症による救急搬送者数の減少」を共通の目標として掲げ、官民連携による熱中症対策の普及啓発や取組の推進を図った。

令和７年８月からは、市内の事業所や地域団体等を対象に、熱中症対策物品（ミストシャワー、暑さ指数計）の貸出を開始し、地域イベント等における熱中症予防対策を支援した。

さらに、令和６年度からは、一時的に暑さを避けることができる場所として、冷房設備を備えた公共施設や大型商業施設等の協力のもと「涼み処」を設置した。令和６年度開始時の47か所から136か所へ増加し、市民が暑さをしのぐことができる環境づくりを推進した。

第4章　母子保健

1　母子保健事業体系図及び事業概要
2　母子健康手帳の交付
3　妊産婦健康相談事業
4　妊婦健康診査事業
5　産婦健康診査事業
6　養育医療給付事業
7　妊産婦・乳幼児訪問指導事業
8　産後ケア事業
9　妊婦のための支援事業・妊婦等包括相談支援事業
（旧：出産・子育て応援事業）
10　乳児健康診査事業
11　子育て健康相談事業
12　母子保健推進員事業
13　おやこ保健DX推進事業
14　親子生活習慣病予防事業
15　妊婦の歯周病検診
16　親子のふれあい・仲間づくり
17　1歳6か月児健康診査事業
18　3歳児健康診査事業
19　5歳児健康診査事業
20　フッ化物応用むし歯予防事業
21　発達障がい児支援事業
22　予防接種事業

1　母子保健事業体系図及び事業概要（令和７年度）

妊産婦

母子健康手帳の交付 P97

妊産婦の健康相談事業 P97
- 母子窓口相談 ― 妊娠届出時等に保健師・助産師が個別相談を実施

妊婦健康診査事業
- 妊婦一般健康診査 P98 ― 受診票を14枚交付する（多胎妊婦は19枚）
- 初回産科受診料助成 P99 ― 住民税非課税世帯又は生活保護世帯の受診者に対し助成

産婦健康診査事業 P99
- 産婦健康診査 ― 受診票を２枚交付する（グリーフケア用受診票あり）

妊産婦訪問指導事業 P100 若年妊産婦・特定妊婦等に対し､保健師･助産師が訪問

産婦 乳幼児

養育医療給付事業 P99 養育のために病院に入院することが必要な未熟児に対し、医療費を給付

乳幼児訪問指導事業 P100 生後１～４か月頃に、保健師・助産師・母子保健推進員が訪問
１歳６か月児健診・３歳児健診未受診者･要指導者等に対し､保健師が訪問

産後ケア事業 P101 母子の心身のケア等のため、産後ケア事業を実施する。

妊婦支援給付･妊婦等包括相談支援事 P102 妊婦や子育て家庭を対象に相談支援の実施及び支援給付金を支給する。また、定期的な面談を通じて、伴走型の相談支援を実施

乳児健康診査事業 P102
- 新生児聴覚スクリーニング検査 ― 新生児の耳の聞こえの検査の受診票を１枚交付する
- １か月児健康診査 ― １か月児健康診査受診票を１枚交付する
- 乳児健康診査 ― 乳児一般健康診査受診票を３枚交付する

子育て健康相談事業 P104
- 子育て専門相談室 ― ことばの発達、しつけ等に関して医師・公認心理師・言語聴覚士が応じる。
- こども発達支援室相談 ― ことばの発達、しつけ等に関してこども発達支援室公認心理師が応じる。
- テレホン育児相談 ― 妊娠、分娩、育児、栄養、発達等に関する電話相談

母子保健推進員事業 P105 生後３～５か月児の家庭に母子保健推進員が訪問する。

おやこ保健DX推進事業 P105 母子保健サービスのデジタル化の推進のために「さが親子手帳アプリ」を導入した。

親子生活習慣病予防事業 P106 大人の生活習慣が子どもの生活習慣を作る観点から、乳幼児期から生活習慣病を予防する。
幼児については、フッ化物応用むし歯予防事業を実施。
- ４～５か月児セミナー ― 子どもの生活習慣と離乳食
- １歳～１歳５か月児セミナー ― 子どもの生活習慣とむし歯予防
- 乳幼児健康相談 ― ほほえみ館、各支所で実施

親子のふれあい･仲間づくり P109
- 多胎児サークル(グリンピース) ― 双子等多胎児をもつ親の育児サークル

1歳6か月児健康診査事業 P110 問診、身体計測、小児科医診察、歯科診察、成人歯科検診（希望者）、フッ化物塗布（希望者）、保健師・栄養士・歯科衛生士による保健指導

3歳児健康診査事業 P111 問診、身体計測、小児科医診察、尿検査、屈折検査、歯科診察、フッ化物塗布（希望者）、保健師・栄養士・歯科衛生士による保健指導、（必要時）きこえの検査、（必要時）視力検査

5歳児健康診査事業 P112 小児科診察、身体計測、保育士の集団遊び、心理士・保健師・栄養士･歯科衛生士による個別指導、（必要時）屈折検査

歯科保健対策

フッ化物応用むし歯予防事業 P113

- フッ化物洗口 ― ４～５歳児のうち希望者を対象とし､保育所(園)・幼稚園・認定こども園で実施
- フッ化物塗布 ― １歳６か月児健診、３歳児健診、１歳～１歳５か月児セミナー

発達障がい児支援事業

児童発達支援事業 P115

自閉スペクトラム症と診断された未就学児を対象として、日常生活における基本的な動作の習得、集団生活への適応等を目的とした支援を行う。

発達障がい者及び家族支援事業 P115

発達障がいのあるこどもの保護者を対象とした前向き子育てプログラムを開催する。

親子教室 P115

発達障がいの疑いのあるこどもとその保護者を対象に、遊びを通した関わりの中でこどもの発達や特性の理解を深め、こどもへの適切な関わり方等を学ぶ教室を開催する。

感染症予防対策

予防接種事業 P116

二種混合、MR（麻しん風しん混合）2期、日本脳炎2期の対象者については、個別に勧奨通知を送付。

子宮頸がんワクチンは、令和4年4月1日から、定期接種対象者への個別勧奨を再開。

2 母子健康手帳の交付

(1) 事業内容

従　事　者	方法または内容
保健師 助産師	･月～金曜日(土日祝日を除く)８：３０～１７：１５まで随時 受付、交付を行うとともに、個別相談に応じている。

(2) 妊娠届出の状況

(件)

年　度	総　数	うち 多胎妊娠	届　出　週　数				
			11週以内	12～19週	20～27週	28週以上	不明出産後
令和３(2021)	1,592	12	1,421	163	6	2	0
４(2022)	1,556	19	1,378	168	5	4	1
５(2023)	1,439	10	1,295	136	4	3	1
６(2024)	1,327	10	1,189	131	6	1	0
７(2025)	1,308	22	1,178	111	14	3	2

3 妊産婦健康相談事業

妊娠届出時に、保健師・助産師が個別に面接を行い、妊娠・出産への不安や心配事の相談を受け、必要なサポートの情報提供等を行い、妊娠中から産科医療機関等と支援を行う。

また、妊娠期の歯周病や喫煙・飲酒が胎児に及ぼす影響を伝え、妊娠中の体の変化や胎児に対する関心を持ってもらう。

(1) 母子窓口相談

・事業内容

対　　象	従 事 者	方法または内容
乳幼児 妊　婦 産　婦	保健師 助産師	･母子健康手帳､妊婦一般健康診査受診票、産婦健康診査受診票、新生児聴覚検査受診票、１か月児健康診査受診票交付 ･母子保健事業案内　・妊婦の支援者の状況、不安・悩み、精神状態に関するアンケート　・タバコ、アルコールに関するアンケートを実施 ･その他妊産婦、育児に関する窓口相談

・実績

(件)

年度	総数	乳児	幼児	妊婦	産婦	その他
令和３(2021)	2,806	330	470	1,712	190	104
４(2022)	2,709	316	432	1,700	169	92
５(2023)	2,721	297	510	1,675	167	72
６(2024)	2,552	271	465	1,541	216	59
７(2025)	2,550	274	476	1,542	214	44

4 妊婦健康診査事業

(1) 妊婦健康診査受診票の交付

・事業内容

実施方法	方法または内容
福岡･長崎･佐賀の医師会に委託	･妊娠届出時に妊婦健診受診票を14枚交付し、受診を勧奨する。（転入の場合は、前市町村での受診状況及び妊娠週数に合わせて 必要枚数を交付） ・平成21年度から14枚交付。令和3年度から多胎妊婦に19枚交付。 【検査項目の追加】 ・平成22.12.1：ＨＴＬＶ－１検査追加 ・平成24年度：ＧＢＳ、クラミジア検査追加 ・平成28年度：ＧＢＳ、クラミジア検査時期の変更、血糖検査（後期）追加 ・令和8年度：超音波検査2回、子宮頸がん検査追加

・受診状況

年度	対象実人数		対象延人数（受診券交付枚数）	うぐいす【基本項目】受診券交付９枚/人(多胎妊婦14枚/人)		ピンク【基本項目・超音波】受診券交付1枚/人		オレンジ【基本項目・血液検査】受診券交付1枚/人		浅黄【基本項目・クラミジア】受診券交付1枚/人	
		内、多胎妊婦		延受診者（人）	受診率	延受診者（人）	受診率	延受診者（人）	受診率	延受診者（人）	受診率
令和３(2021)	1,592	12	22,348	11,406	79.3	1,490	93.6	1,529	96.0	1,537	96.5
4(2022)	1,555	19	21,865	10,822	76.8	1,382	88.9	1,537	98.8	1,509	97.0
5(2023)	1,438	12	20,192	10,502	80.8	1,351	93.9	1,413	98.3	1,413	98.3
6(2024)	1,327	11	18,633	9,787	81.6	1,219	91.9	1,312	98.9	1,310	98.7
7(2025)	1,308	22	18,422	9,603	80.8	1,190	91.0	1,294	98.9	1,284	98.2

年度	レモン【基本項目・血糖】受診券交付1枚/人		藤紫【基本項目・GBS】受診券交付1枚/人		当該年度申請の償還払い延受診人数	受診延人数
	延受診者（人）	受診率	延受診者（人）	受診率		
令和３(2021)	1,551	97.4	1,454	91.3	239	19,206
4(2022)	1,470	94.5	1,398	89.9	194	18,312
5(2023)	1,374	95.5	1,343	93.4	147	17,543
6(2024)	1,312	98.9	1,227	92.5	150	16,317
7(2025)	1,241	94.9	1,201	91.8	186	15,999

償還払い		
申請件数	延助成件数	
	現年度	過年度
325	239	86
259	194	65
241	147	94
202	150	52
258	186	72

・一次健診結果

年度	異常なし	異常あり	判定内訳			結果判定なし
			指導者・観察者	精密者	治療者	
令和３(2021)	15,572	3,395	1,903	95	1,397	239
4(2022)	15,360	2,758	1,701	92	965	194
5(2023)	14,574	2,822	1,462	98	1,262	147
6(2024)	13,909	2,258	853	112	1,293	150
7(2025)	13,099	2,714	1,049	115	1,550	186

・一次健診結果内訳(延人数) 主な内容

年度	妊娠高血圧症候群	糖尿病（妊娠糖尿病を含む）	貧血	ＨＢｓ抗原陽性	風しん抗体（－）
令和３(2021)	53	324	973	1	618
4(2022)	52	185	622	1	829
5(2023)	78	224	976	2	706
6(2024)	93	287	905	0	615
7(2025)	70	433	1,018	0	500

(2)　初回産科受診料助成

・ 事業内容

対象者	実施方法	方法または内容
住民税非課税世帯又は生活保護世帯の妊娠の可能性がある人	妊娠判定ができる産科及び婦人科の市内６医療機関に委託	・事業開始：令和５年度（償還払いは令和６年度） ・妊娠判定のための初回産科受診料に対し、必要な検査（診察、尿検査、超音波検査）にかかる費用の助成 ・上限6,000円、年間２回まで

・ 受診状況　（人）　（件）

年度	受診者		うち償還払い
	実人数	延人数	件数
令和５(2023)	6	6	
6(2024)	20	20	18
7(2025)	7	7	6

5 産婦健康診査事業

・事業内容

実施方法	方法または内容
県内産科医療機関に委託 (22医療機関)	・事業開始：平成29年度(令和6年度より産後1か月健診、令和7年1月よりグリーフケア開始) ・健診時期：産後2週間、産後1か月 ・健診内容：産後うつ病スクリーニング、メンタルヘルス支援、産婦の身体的回復状況の確認、児の発達確認、乳房ケア、授乳指導、育児指導

・受診状況

年度	対象者数	産後２週間		産後１か月	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
令和３(2021)	1,674	1,456	87.0		
4(2022)	1,525	1,368	89.7		
5(2023)	1,445	1,300	90.0		
6(2024)	1,380	1,320	95.7	1,337	96.9
7(2025)	1,314	1,221	92.9	1,266	96.3

※現年度の償還払い者含む。グリーフケアは含まない。

償還払い		
申請件数	延助成件数	
	現年度受診	過年度受診
87	75	12
98	83	15
81	67	14
210	199	11
222	199	23

年度	グリーフケア	
	産後2週間	産後1か月
令和6	4	1
令和7	106	30

・健診結果

年度	区分	フォローなし		要フォロー		判定内容（延人数）					結果判定なし
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	１０代	EPDS9点以上	精神疾患	養育環境	その他	
令和３(2021)	産後２週間	1,166	80.1	290	19.9	5	138	15	20	139	0
4(2022)	産後２週間	1,096	80.1	272	19.9	5	142	23	14	115	0
5(2023)	産後２週間	1,067	82.1	233	17.9	6	119	21	10	98	0
6(2024)	産後２週間	1,049	79.5	271	20.5	6	141	36	12	119	0
	産後１か月	1,163	87.0	174	13.0	6	82	23	11	92	0
7(2025)	産後２週間	976	79.9	245	20.1	6	105	31	17	129	0
	産後１か月	1,111	87.8	155	12.2	8	84	21	13	80	0

※現年度の償還払い者の結果を含む。グリーフケアは含まない。

6 養育医療給付事業

・事業内容

対象者	実施方法	方法または内容
2,000ｇ以下又は身体の発育が未熟のままで生まれ、入院を必要とする乳児（１歳になる前日まで）	指定養育医療機関	・事業開始：平成25年度 ・事業内容：養育のため病院に入院することを必要とする未熟児に対し、養育に必要な医療費の給付を行う。

・給付人数　（人）

年度	給付実人数	新規給付決定実人数	出生児の体重の状況						
			1,000g以下	1,001g以上1,500g以下	1,501g以上1,800g以下	1,801g以上2,000g以下	2,001g以上2,300g以下	2,301g以上2,500g以下	2,501g以上
令和３(2021)	39	34	4	8	7	10	0	0	5
4(2022)	32	25	4	3	2	8	2	2	4
5(2023)	51	35	3	5	6	12	3	1	5
6(2024)	38	30	1	4	8	7	4	1	5
7(2025)	42	36	2	5	6	13	2	0	8

7 妊産婦･乳幼児訪問指導事業

保健師および助産師が各家庭を訪問し、妊産婦の健康、疾病予防及び乳幼児の発育、栄養など適切な指導を行うことで不安を解消し、安心して出産、育児に臨めるように支援を行っている。

また、母子保健推進員も各家庭を訪問し、育児情報の提供や母子保健事業の案内等の育児支援活動を実施するとともに、子育て中の親子の孤立化を防止し、育児負担感の軽減につながるよう支援を行っている。

平成21年度から全戸訪問事業が開始となり、必要時フォローできる体制となっている。

(1) 事業内容

対象者	従事者	方法または内容
妊産婦・乳幼児	保健師 助産師 母子保健 推進員	保健師は支援が必要な家庭を訪問。 出産・子育て応援事業の開始により、令和５年度から基本的に助産師による全ての乳児訪問を実施。国立病院機構佐賀病院で未熟児養育医療を受けた退院した児の初回訪問は当院に委託し、それ以外は、佐賀県助産師会に委託している。 母子保健推進員は基本的に全ての家庭を訪問。

(2) 実施状況

（単位：人）

年度		妊婦		産婦		未熟児		新生児（未熟児除く）		乳児（新生児未熟児除く）		幼児		その他		総計	
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
令和3(2021)	実施数	108	112	1,652	2,793	104	108	74	86	1,488	2,625	297	351	53	80	3,776	6,155
	うち助産師	38	39	1,265	1,310	102	104	59	59	1,121	1,166	0	0	0	0	2,585	2,684
	うち国立佐賀病院	0	0	24	24	27	27	0	0	0	0	0	0	0	0	51	51
	うち母子保健推進員	18	18	1,288	1,288	0	0	0	0	1,300	1,300	201	201	0	0	2,807	2,807
	うち保健師	52	55	131	195	2	4	15	27	74	159	96	150	53	80	423	670
4(2022)	実施数	144	155	1,497	2,672	102	106	45	46	1,358	2,534	282	319	86	97	3,514	5,929
	うち助産師	46	46	1,202	1,260	99	103	30	30	1,086	1,142	0	0	0	0	2,463	2,581
	うち国立佐賀病院	0	0	22	22	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	48	48
	うち母子保健推進員	23	23	1,218	1,218	0	0	0	0	1,225	1,225	183	183	0	0	2,649	2,649
	うち保健師	75	86	146	193	3	3	15	16	137	167	99	136	86	97	561	698
5(2023)	実施数	89	109	1,441	3,053	143	151	51	56	1,323	2,895	263	301	28	42	3,338	6,607
	うち助産師	25	25	1,418	1,532	109	146	20	20	1,300	1,383	0	0	0	0	2,872	3,106
	うち国立佐賀病院	0	0	31	31	30	30	4	4	1	1	0	0	0	0	66	66
	うち母子保健推進員	26	26	1,251	1,251	0	0	0	0	1,260	1,260	152	152	0	0	2,689	2,689
	うち保健師	38	58	185	270	4	5	31	36	187	252	111	149	28	42	584	812
6(2024)	実施数	80	91	1,379	2,925	137	147	25	34	1,228	2,714	211	235	5	5	3,065	6,151
	うち助産師	21	21	1,374	1,446	135	144	16	18	1,215	1,308	0	0	0	0	2,761	2,937
	うち国立佐賀病院	0	0	17	17	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	41	41
	うち母子保健推進員	23	23	1,190	1,190	0	0	0	0	1,184	1,184	150	150	0	0	2,547	2,547
	うち保健師	36	47	140	289	2	3	9	16	168	222	61	85	5	5	421	667
7(2025)	実施数	73	97	1,312	2,648	113	118	13	19	1,212	2,432	50	61	6	12	2,779	5,387
	うち助産師	23	23	1,251	1,284	113	118	7	7	1,145	1,174	0	0	0	0	2,539	2,606
	うち国立佐賀病院	0	0	22	22	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	46	46
	うち母子保健推進員	19	19	1,076	1,076	0	0	0	0	1,073	1,073	0	0	0	0	2,168	2,168
	うち保健師	31	55	232	288	0	0	6	12	160	185	50	61	6	12	485	613

8 産後ケア事業

(1) 事業内容

実施方法	方法または内容
市内産科医療機関に委託 4医療機関 R7年度以降各医療機関等に委託 産科医療機関 助産院 佐賀県助産師会	**事業開始:令和4年4月1日** 母親の出産後の心身のケアや育児のサポートを行うため、医療機関や助産院で産後ケアを実施している。 ＜産後ケアの内容＞ ・母親の休息・身体的ケア、母親の心理的ケア、授乳支援、育児についての相談(抱き方やおむつ交換、沐浴等) ＜産後ケアの種類＞ ・ショートステイ(宿泊型):母親と児が産科医療機関に宿泊し産後ケアを受ける。1泊2日の利用を1回とする。 ・デイサービス(通所型)［フル(6時間)/ハーフ(3時間)］:医療機関や助産院へ母親と児が来所し、ケアを受ける。 ・アウトリーチ(訪問型):助産師が母親の自宅を訪問し、2時間程度育児相談や母親の心理的ケアを行う。 ＜変遷＞ ・R4～R6年度　［種類］ショートステイ ［対象］支援を必要とする母子 ・R7年度　［種類］ショートステイ、デイサービス、アウトリーチ ［対象］利用を希望する母子 ・R8年度以降　［種類］ショートステイ、デイサービス［フル(6時間)/ハーフ(3時間)］、アウトリーチ ［対象］利用を希望する母子

(2) 利用状況

(人)　(件)

年　度	申請延人数	利用実人数	利用延件数		
			ショートステイ	デイサービス	アウトリーチ
令和４ (2022)	26	19	41		
5 (2023)	13	10	23		
6 (2024)	28	25	67		
7 (2025)	615	293(7)	176(10)	313(4)	343(0)

※R7年度から種別、対象者を拡大

※()内は償還払いでの利用件数であり、当該年度に償還払いを申請した者に限る。

９　妊婦のための支援事業・妊婦等包括相談支援事業

(1)妊婦のための支援給付事業

・事業内容

	新）妊婦のための支援事業	旧）出産・子育て応援事業
実施期間	事業開始：令和７年４月１日	事業開始：令和５年２月１日 事業終了：令和７年３月３１日 ・令和４年４月１日以降に妊娠・出産した出産・子育て応援給付金は遡及措置 ・令和７年３月３１日までに出生した子の子育て応援給付金はR7年度経過措置
目的	妊娠中の経済的負担を軽減し、安心して妊娠・出産できる環境を整える。	妊産婦や子育て家庭の不安感の軽減を図り、必要とする支援に繋げる。
対象	・妊婦または妊婦だった者（流産・死産含む）	・出産応援給付：妊婦 ・子育て応援給付：出生児の養育者
申請時期及び額	・１回目［妊娠届出時面談後］ 妊婦一人あたり５万円 ・２回目［出生後面談後］ 胎児一人あたり５万円	・出産応援給付金［妊娠届出時面談後］ 妊婦一人あたり５万円 ・子育て応援給付金［出生後面談後］ 児一人あたり５万円

・実績　（件）

年度	１回目（出産応援給付金）	２回目（子育て応援給付金）	計
令和４(2022)	2,163	1,204	3,367
５(2023)	1,710	1,571	3,281
６(2024)	1,336	1,422	2,758
７(2025)	1,493	1,470	2,744

※令和４年度と令和５年度の実績には、遡及分を含む

※令和7年度の2回目の実績には、子育て応援給付金(219件)を含む

(2)妊婦等包括相談支援事業（伴走型相談支援事業）

・事業内容

従　事　者	方法または内容
保　健　師 助　産　師	妊婦やその家族が妊娠・出産・子育てに関わる課題に対して必要な支援を受けられるよう、定期的な面談を通じて、伴走型の相談支援を実施する。 ①妊娠届出時面談（対象：全ての妊婦） ②妊娠7か月アンケート（対象：全ての妊婦） ③妊娠８か月面談（対象：妊婦の希望者のみ） ④出生後面談（対象：全ての産婦と出生児） ※生後１～３か月の助産師による乳児全戸訪問において実施
出生後面談（乳児全戸訪問）は助産師会へ委託	

・実績　（件）

年度	①妊娠届出時面談	②妊娠７か月アンケート	③妊娠８か月面談	④出生後面談
令和４(2022)	253	―	―	―
５(2023)	1,439	1,524	102	1,445
６(2024)	1,337	1,310	76	1,432
７(2025)	1,308	1,300	79	1,403

※②妊娠７か月アンケート及び③妊娠８か月面談、④出生後面談は令和５年４月１日から実施

１０ 乳児健康診査事業

(1) 新生児聴覚検査

・　事業内容

実施方法	方法または内容
佐賀県内産科医療機関に委託 または償還払い (R7年度は市内産科のみ委託)	・事業開始：令和7年度 ・事業内容：先天性難聴の早期発見、早期療育のために生後１か月未満の赤ちゃんに耳のきこえの検査を行う ・R7年度は佐賀市の独自事業。R8年度からは県広域で実施。

・ 受診状況

年度	対象者数（人）	受診者数（人）	検査の結果（人）	
			異常なし	異常あり
令和７(2025)	1,334	932	919	13

年度	償還払い		
	申請件数	延助成件数	
		現年度受診	過年度受診
令和7	112	112	

※現年度償還払い者含む

(2) 1か月児健康診査

・ 事業内容

実施方法	方法または内容
佐賀市内産科医療機関に委託 または償還払い	・事業開始：令和8年度 ・事業内容：疾病及び異常を早期に発見し、保護者への育児に関する助言を行い、乳児の健康の保持・増進を図る。

(3) 乳児健康診査

・ 事業内容

実施方法	内容
福岡･長崎･佐賀の医師会に委託	･生後１～２か月頃に、健診票３枚を交付し、かかりつけ医での受診を勧奨する。（転入等の場合は月齢に合わせて必要枚数を交付。） ･受診時期の目安は１回目３～４か月頃、２回目６～７か月頃、３回目９～１２か月（１３か月になる前日）まで。（健診票は令和３年度まで４枚を交付していた。）

・ 受診状況

年度	対象者（人）	延べ交付数	受診者数				延べ受診者数(人)	受診率(%)	診断結果（人）				
			1回目	2回目	3回目	4回目			正常	要指導	要観察	要精密	要治療	管理中
令和３(2021)	1,674	6,696	1,612	1,591	1,514	1,406	6,123	91.4	4,953	671		122	377	
4(2022)	1,525	4,575	1,568	1,597	1,520	1,416	6,101	133.4	5,045	595		84	377	
5(2023)	1,456	4,368	1,473	1,432	1,358	44	4,307	98.6	3,506	414		83	304	
6(2024)	1,391	4,173	1,416	1,426	1,264		4,106	98.4	3,451	372		63	220	
7(2025)	1,334	4,002	1,279	1,256	1,237		3,772	94.3	3,199	315		74	184	

11 子育て健康相談事業

(1) 子育て専門相談室

・事業内容

対　象　者	従　事　者	方法または内容
幼児	医師 公認心理師 言語聴覚士 保　健　師	・乳幼児健康相談や幼児健診、電話相談等で、ことばや発達の悩み・困りごと、こどもとの関わり方等に関して、公認心理師、言語聴覚士、小児科医師による個別相談を行う。 ・医師　　年間２４回、１回４人、１人につき約３０分 公認心理師　年間８４回、１回３人、１人につき約１時間 言語聴覚士　年間１４回、１回５人、１人につき約４５分 ・会場：市役所　相談室

・実績　（人）

年度	医師		公認心理師		言語聴覚士		計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
令和３(2021)	41	41	184	209	56	58	281	308
4(2022)	45	45	180	204	55	58	280	307
5(2023)	42	42	170	198	54	57	266	297
6(2024)	45	45	170	196	57	59	272	300
7(2025)	96	96	187	228	66	66	349	390

(2) こども発達支援室相談

・事業内容

対　象　者	従　事　者	方法または内容
幼児	公認心理師	・乳幼児健康相談や幼児健診、電話相談等で、ことばや発達の悩み・困りごと、こどもとの関わり方等に関して、公認心理師による個別相談を行う。 ・公認心理師　年間９６回、他随時相談　１人につき約１時間 ・会場：市役所　相談室

・実績　（人）

年度	実人数	延人数
令和７(2025)	172	197

(3) テレホン育児相談

・事業内容

対　象　者	従　事　者	方法または内容
乳幼児 思春期 その他妊産婦	保　健　師 助　産　師 心　理　士	・妊産婦・乳幼児の健康に関すること、予防接種に関すること、乳幼児を持つ親の育児についての不安や悩み等の相談に応じている。

・実績　（人）

年度	乳児	幼児	思春期	妊婦	産婦	その他	計
令和３(2021)	592	1,261	38	66	636	779	3,372
4(2022)	665	1,002	91	113	696	1,057	3,624
5(2023)	667	726	51	385	586	803	3,218
6(2024)	478	608	20	386	428	163	2,083
7(2025)	385	933	59	387	429	218	2,411

12 母子保健推進員事業

市においても全国同様に少子化、核家族化が進行し、育児に悩む親、育児不安を抱えて孤立する親が増加している。

市では平成１０年度より子育て支援事業の一環として、母子保健推進員を「子育て応援隊」と名付け、母子保健に関心のある市民を公募して養成し､その修了者に活動を委嘱している。

母子保健推進員の活動の充実により、子育て中の親子の孤立化が防止され、育児不安の早期解決、育児負担感の軽減を図ることを目的とする。

平成２１年度から取り組んでいる全戸訪問事業の重要な担い手となっている。

・母子保健推進員養成者数　（人）

年度	平成28年度 (2016)	平成30年度 (2018)	令和2年度 (2020)	令和4年度 (2022)	令和6年度 (2024)
養成者数	22	12	15	21	18

※母子保健推進員の養成は2年に1回実施。

・活動内容
- 乳児訪問による問題の早期把握
- 母子保健事業の案内
- 健診、乳幼児健康相談等母子保健事業への協力
- 地域での子育てサークル、子育てサロン等への支援、協力等

・活動実績

年度	推進員数	訪問件数		報告会	研修会	自主活動	その他の協力活動	合計
		乳児	妊婦					
令和３(2021)	103	1,300	18	390	86	399	58	2,251
４(2022)	99	1,225	23	395	90	541	145	2,419
５(2023)	106	1,260	26	449	171	597	98	2,601
６(2024)	100	1,184	23	413	187	646	109	2,562
７(2025)	107	1,073	19	471	197	625	170	2,555

13 おやこ保健DX推進事業

妊娠期から子育て期までの母子保健サービスのデジタル化を図り、住民の利便性の向上や母子保健業務の効率化に向けて、「さが親子手帳アプリ」を導入した。（令和７年１０月１日開始）

令和８年４月１日から、妊娠届出のオンライン事前申請を開始。

・実績　（人）

年度	登録者数
令和７(2025)	1,577

14 親子生活習慣病予防事業

大人の生活習慣が子どもの生活習慣を作る観点から、乳児期から生活習慣病を予防する。
幼児についてはフッ化物応用事業を実施する。

(1) 4～5か月児セミナー（子どもの生活習慣と離乳食）

・事業内容

対象者	従事者	方法または内容
4～5か月児とその親・家族（祖父母、兄弟）	栄養士 保健師 事務（受付・託児）	日程：毎月１回（年間１２回） 会場：ほほえみ館 内容：保健師による生活リズムと発達についての講話 栄養士による離乳食のすすめの講話

・実績　児の数　（人）

年度	4～5か月児セミナー
令和3(2021)	-
4(2022)	155
5(2023)	305
6(2024)	307
7(2025)	262

※令和２、３年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。
令和４年度６月から第１子のみを対象に実施。

(2) 1歳～1歳5か月児セミナー（子どもの生活習慣とむし歯予防）

・事業内容

対象者	従事者	方法または内容
1歳～1歳5か月児とその親・家族（祖父母、兄弟）	歯科医師 歯科衛生士 事務（受付・託児） 保健師	日程：毎月１回（年間１２回） 会場：ほほえみ館 内容：保健師による生活リズムと発達についての講話 歯科衛生士による歯科保健講話 歯科健診・フッ化物塗布（希望者のみ）

・実績　児の数　（人）

年度	1歳～1歳5か月児セミナー
令和3(2021)	-
4(2022)	25
5(2023)	119
6(2024)	149
7(2025)	134

※令和２、３年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。
令和４年度は、令和５年２月から実施。

(3) 乳幼児健康相談

・事業内容

対象者	従事者	方法または内容
乳幼児 保護者	保　健　師 助　産　師 看　護　師 栄　養　士 歯科衛生士 事　　務	乳幼児を持つ親の悩み、不安等の相談に個別に応じている。 また、母親同士の交流・情報交換の場となっている。 日程：年間２４回 会場：ほほえみ館、支所・保健センター ※予約方法を電話予約の他に、R8年度より母子モでも開始。

・実績　産婦・乳児・幼児の数

（人）

年度	保健師相談	栄養士相談	歯科衛生士相談	助産師相談	相談来所者数
	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数
令和３(2021)	770	257	118	130	787
4(2022)	847	220	104	151	848
5(2023)	960	211	90	207	967
6(2024)	1,146	247	126	216	1,161
7(2025)	989	224	124	202	993

※ 令和６年７月から、ラインやウエブでの予約を受け付ける。令和７年度でラインやウエブでの受付終了。

※ 令和８年度より母子モでの予約を受け付ける。

15 妊婦の歯周病検診 （再掲）

妊娠届出時に妊娠期から歯科保健の重要性について説明し、歯周病検診の受診勧奨を行っている。

・事業内容

対象者	従事者	方法または内容
妊婦とその夫	歯科医師 歯科衛生士	日程：年間７０回 会場：佐賀県健診・検査センター（５８回）・各支所（１２回） 内容：妊婦用の資料を用いて、歯科衛生士が個別指導を実施

・実績　（人）

年度	妊婦受診者数	妊婦の夫受診者数
令和３(2021)	19	1
４(2022)	121	17
５(2023)	109	9
６(2024)	126	9
７(2025)	118	15

16 親子のふれあい・仲間づくり

多胎児サークル（グリンピース）

単胎児の育児でも育児不安を抱える親が増加している中、多胎児の場合は低出生体重児の確率が高いことや、複数の子どもを同時に育てる等、特有の難しさや悩みを抱えている場合が多い。
そこで同じ境遇の者同士が集う場を設け、育児に関する知識の普及や多胎児育児の情報交換を通して、不安の軽減を図り、親同士の仲間づくりを支援している。

・事業内容

対象	方法または内容
市内在住の多胎児(乳幼児)とその親、多胎妊婦	・運営は参加者の自主活動とし、親同士の仲間づくりを支援している。先輩ママ、子育て応援隊等がボランティアとして参加し、育児相談も随時行っている。また、不定期で地域子育て支援センター職員がレクリエーション等の支援を行っている。 ・日程：毎月１～２回　１０:１５～１１:４０ ・会場：ほほえみ館　軽スポーツ室

・実績

（人）

年度	乳　児		幼　児		母　親		妊　婦		合　計		ボランティア
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	
令和３(2021)	24	34	38	46	44	69	2	2	108	151	19
4(2022)	13	67	25	88	26	109	1	1	65	265	74
5(2023)	14	74	21	106	25	117	1	3	61	300	94
6(2024)	15	39	35	196	27	134	4	4	81	373	98
7(2025)	18	50	18	106	25	116	3	5	64	277	82

17 1歳6か月児健康診査事業

従事者	方法及び内容
医　　師 (小児科) 歯科医師 保 健 師 看 護 師 歯科衛生士 栄 養 士	・方法：集団方式（対象者に個別通知） ・会場：ほほえみ館・東与賀保健センター・三瀬保健センター ・内容：問診、身体計測、小児科医診察、歯科診察、フッ化物塗布（希望者）、 栄養士・歯科衛生士・保健師による保健指導 ※令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症流行のため、1回あたりの受診人数を制限する等の感染防止に努め実施した。 ※令和7年度から５歳児健診の開始に伴い、1回あたりの受診人数を増やし、会場及び実施回数を削減して実施した。（実施回数：27回、会場：ほほえみ館、東与賀保健センター、三瀬診療所）

(1) 一般健康診査

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	診断結果					
					異常なし		要指導	要観察	要精密	要治療・管理中
	(回)	(人)	(人)		人数	割合	(人)	(人)	(人)	(人)
令和３(2021)	62	1,911	1,886	98.7%	580	30.8%	221	858	47	180
4(2022)	55	1,702	1,701	99.9%	452	26.6%	272	737	57	183
5(2023)	54	1,695	1,731	102.1%	552	31.9%	254	689	52	184
6(2024)	51	1,517	1,521	100.3%	428	28.1%	361	537	54	141
7(2025)	27	1,433	1,418	99.0%	328	23.1%	372	567	26	125

(2) 1歳6か月児歯科健康診査

年度	対象者数	受診者数	受診率	診断結果					
				むし歯のない者		むし歯のある者		むし歯の	1人あたりの
	(人)	(人)		人数	割合	人数	割合	総数(本)	むし歯数(本)
令和３(2021)	1,911	1,886	98.7%	1,858	98.5%	28	1.5%	94	0.05
4(2022)	1,702	1,701	99.9%	1,685	99.1%	16	0.9%	44	0.03
5(2023)	1,695	1,731	102.1%	1,715	99.1%	16	0.9%	39	0.02
6(2024)	1,517	1,521	100.3%	1,512	99.4%	9	0.6%	16	0.01
7(2025)	1,433	1,418	99.0%	1,407	99.2%	11	0.8%	21	0.01

(3) 1歳6か月児健康診査問診結果

年度	仕上げ磨きなし		指しゃぶりあり		受動喫煙あり		育児の悩みあり		育児負担非常にあり	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
令和３(2021)	89	4.7%	534	28.3%	290	15.4%	389	20.6%	459	24.3%
4(2022)	78	4.6%	514	30.2%	276	16.2%	344	20.2%	399	23.5%
5(2023)	75	4.3%	531	30.7%	311	18.0%	327	18.9%	414	23.9%
6(2024)	70	4.6%	493	32.4%	240	15.8%	303	19.9%	329	21.6%
7(2025)	61	4.3%	538	37.9%	236	16.6%	273	19.3%	320	22.6%

(4) 成人歯科検診(保護者の歯科検診)

年度	受診児数 (人)	成人歯科受診者数 (人)	受診率
令和３(2021)	1,886	中止	
4(2022)	1,701	中止	
5(2023)	1,731	820	47.4%
6(2024)	1,521	739	48.6%
7(2025)	1,418	640	45.1%

18 3歳児健康診査事業

従事者	方法または内容
医　　師 (小児科) 歯科医師 保 健 師 看 護 師 歯科衛生士 栄 養 士	・方法：集団方式（対象者に個別通知） ・会場：ほほえみ館・東与賀保健センター・三瀬保健センター ・内容：問診、身体計測、小児科医診察、尿検査、屈折検査、歯科診察、フッ化物塗布（希望者）、保健師・栄養士・歯科衛生士による保健指導 ※必要時：きこえの検査、視力検査 ※令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症流行のため、1回あたりの受診人数を制限する等の感染防止に努め実施した。 ※令和7年度から５歳児健診の開始に伴い、1回あたりの受診人数を増やし、会場及び実施回数を削減して実施した。（実施回数：32回、会場：ほほえみ館、東与賀保健センター、三瀬診療所）

(1) 一般健康診査

年度	実施回数	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率	診断結果					
					異常なし		要指導（人）	要観察（人）	要精密（人）	要医療・管理中（人）
					人数	割合				
令和３(2021)	66	2,261	2,179	96.4%	557	25.6%	581	664	195	182
4(2022)	60	1,884	1,859	98.7%	478	25.7%	381	549	232	219
5(2023)	58	1,807	1,798	99.5%	482	26.8%	305	570	202	241
6(2024)	55	1,757	1,724	98.1%	376	21.8%	403	578	193	174
7(2025)	32	1,701	1,697	99.8%	323	19.0%	438	577	213	146

(2) 3歳児歯科健康診査

年度	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率	診断結果				
				むし歯のない者		むし歯のある者		1人あたりのむし歯数(本)
				人数	割合	人数	割合	
令和３(2021)	2,261	2,176	96.2%	1,904	87.5%	272	12.5%	0.51
4(2022)	1,884	1,858	98.6%	1,582	85.1%	276	14.9%	0.48
5(2023)	1,807	1,796	99.4%	1,594	88.8%	202	11.2%	0.36
6(2024)	1,757	1,722	98.0%	1,526	88.6%	196	11.4%	0.33
7(2025)	1,701	1,697	99.8%	1,525	89.9%	172	10.1%	0.34

19 5歳児健康診査事業

従事者	方法または内容
医師 （小児科） 心理士 保健師 看護師 歯科衛生士 栄養士 保育士	事業開始：令和７年度 ・方法：集団方式（対象者に個別通知） ・会場：ほほえみ館・東与賀保健センター ・内容：問診、身体計測、小児科診察、保育士による集団遊び、心理士・保健師・栄養士・歯科衛生士による保健指導

・健診結果

年度	実施回数（回）	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率	診断結果					
					異常なし		既医療（人）	要紹介（人）	既療育（人）	要経過観察（人）
					人数	割合				
令和７(2025)	29	1,567	1,493	95.3%	691	46.3%	277	5	57	463

20 フッ化物応用むし歯予防事業

むし歯予防効果の高いフッ化物洗口を保育所(園)・幼稚園で実施することにより、歯質を強化するとともに、むし歯予防に対する意識啓発を行っている。

・**対象者**： ４歳児、５歳児クラスで希望する園児。一部の園では3歳児にも実施している。

(1) フッ化物洗口事業実施状況

年度	実施園数	対象園児数			実施者数			希望率
		４歳児	５歳児	総園児数	４歳児	５歳児	総実施者数	(%)
令和３(2021)	32	596	677	1,273	565	662	1,227	96.4
４(2022)	26	443	504	947	419	487	906	95.7
５(2023)	35	620	701	1,321	558	663	1,221	92.4
６(2024)	34	635	742	1,377	596	691	1,287	93.5
７(2024)	35	602	716	1,318	534	662	1,196	90.7

※一部、３歳児クラスで実施している園あり（6施設、49人）

(2) 令和7年度実施園一覧(35園)

むし歯予防効果の高いフッ化物洗口を保育所（園）・幼稚園で実施することにより、歯質を強化するとともに、むし歯予防に対する意識啓発を行っている。

・あおぞら保育園　・あかつき保育園　・開成保育園　・春日保育園　・川原保育所　・久保田保育園
・光生幼稚園　・神野こども園　・小鹿幼稚園　・小部保育園　・三光保育園　・城東保育所
・城南保育園　・城北保育園　・たかぎこども園　・ちえんかん保育園　・鍋島保育園
・にじのはねこども園　・日新こども園　・日新こども園分園きらら　・博愛の里こども園
・東与賀保育園チャイルドハウス　・東与賀幼稚園　・兵庫保育園　・北部保育園　・掘江保育園
・みなみ保育園　・本庄こども幼稚園　・三瀬保育園　・諸富保育園　・諸富北幼稚園
・諸富南幼稚園　・若葉保育所　・松梅保育所　・翠幼稚園

(3) フッ化物塗布事業　平成15年6月より開始

希望者へフッ化物塗布を実施しており、歯質強化に極めて有効なフッ化物を応用し、歯科保健水準の向上を目指している。

・**対象者**： １歳６か月児健康診査の対象児（保護者が希望する者）
３歳児健康診査の対象児（保護者が希望する者）
１歳～１歳５か月児セミナーの対象児（保護者が希望する者）

②実績

・１歳６か月児健康診査

年度	令和３ (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)
歯科受診者	1,886 人	1,701 人	1,731 人	1,521 人	1,418 人
フッ化物塗布者	153人	799人	1,563人	1,367人	1,258人
塗布率	－	－	90.3%	89.9%	88.7%

・３歳児健康診査

年度	令和３ (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)
歯科受診者	2,176 人	1,858 人	1,796 人	1,722 人	1,697 人
フッ化物塗布者	133人	786人	1,454人	1,407人	1,373人
塗布率	－	－	81.0%	81.7%	80.9%

・１歳～１歳５か月児セミナー

年度	令和３ (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)
歯科受診者	－	25 人	119 人	149 人	134 人
フッ化物塗布者	－	25 人	116 人	146 人	130 人
塗布率	－	100.0%	97.5%	98.0%	97.0%

※継続的なフッ化物塗布を推進するため、歯科医師会の協力のもと、１歳６か月児健康診査受診者と
１歳～１歳５か月児セミナー参加者を対象に、受診から６か月以内にフッ化物塗布を１回のみ
５００円で協力歯科医院にて実施。
※令和２、３年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のためセミナー中止。
※令和４年度のフッ化物塗布について１歳６か月児健診、３歳児健診では令和４年10月から、
１歳～１歳５か月児セミナーでは、令和５年２月から再開。

21　発達障がい児支援事業

（1） 児童発達支援事業

児童福祉法に基づき、自閉スペクトラム症と診断された未就学児を対象として、日常生活における基本的な動作の習得、集団生活への適応等を目的とした支援を行う。

・事業内容

対象者	実施場所	方法または内容	
佐賀市にお住まいで 自閉スペクトラム症と診断 された未就学児とその保護者	クラスルームといろ （兵庫北三丁目8番36号 ほほえみ館内）	・利用日時	月曜日～金曜日 （土曜、日曜、祝日、年末年始は休み） 午前：9時～12時　午後：13時～16時
		・利用定員	10人／日（内訳）午前：5人　午後：5人 ※原則、週1回の保護者同伴による通所

・実績

年度	利用者数
令和6(2024)	1,677人
7(2025)	1,606人

（2） 発達障がい者及び家族支援事業

発達障がいのあるこどもの保護者を対象とした前向き子育てプログラムを開催する。

・事業内容

対象者	委託先	方法または内容
発達障害のある1～12歳の こどもの保護者	前向き子育て佐賀	・名称　ステッピングストーンズ・トリプルＰ前向き子育て教室 ・実施回数　１教室9回のセッション

・実績

年度	プログラム参加者
令和6(2024)	13人
7(2025)	10人

（3） 親子教室

発達障がいの疑いのあるこどもとその保護者を対象に、遊びを通した関わりの中でこどもの発達や特性の理解を深め、こどもへの適切な関り方等を学ぶ教室を開催する。

・事業内容

対象者	委託先	方法または内容
発達障がいの疑いのある 2～3歳のこどもとその保護者	社会福祉法人佐賀整肢学園 こども発達医療センター	・名称　ほっこりたいむ ・実施回数　１教室6回のセッション
発達障がいの疑いのある 年中年長児のこどもとその 保護者	一般社団法人 佐賀県作業療法士会	・名称　親子あいあい教室 ・実施回数　１教室3回のセッション

・実績

年度	ほっこりたいむ	親子あいあい教室
令和6(2024)	延べ155家族	延べ28家族
7(2025)	延べ148家族	延べ27家族

22 予防接種事業

(1) 予防接種事業の概要 （令和7年度）

法	種 別	対象者	医療機関委託料(接種1回当たり)	自 己 負担額	実施 時期
予防接種法	ロタウイルス	(ロタリックス:1価) 出生6週0日後から24週0日後まで (ロタテック:5価) 出生6週0日後から32週0日後まで	経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン (ロタリックス) 16,566円 五価経口弱毒生ロタウイルスワクチン (ロタテック) 11,539円	無料	通年
	BCG	1歳に至るまで	12,881円		
	B型肝炎	1歳に至るまで	8,525円		
	ヒブ (インフルエンザ菌b型)	生後2か月から5歳に至るまで	3歳の誕生日の前々日まで11,331円 3歳以上 9,901円		
	小児用肺炎球菌	生後2か月から5歳に至るまで	3歳の誕生日の前々日まで 13,816円 3歳以上 12,386円		
	五種混合 (ジフテリア 百日咳 破傷風 不活化ポリオ ヒブ)	生後2か月から7歳6か月に至るまで	3歳の誕生日の前々日まで 22,308円 3歳以上 20,878円		
	四種混合 (ジフテリア 百日咳 破傷風 不活化ポリオ)	生後2か月から7歳6か月に至るまで	3歳の誕生日の前々日まで 13,508円 3歳以上 12,078円		
	三種混合 (ジフテリア 百日咳 破傷風)	生後2か月から7歳6か月に至るまで	3歳の誕生日の前々日まで 7,557円 3歳以上 6,127円		
	不活化ポリオ	生後2か月から7歳6か月に至るまで	3歳の誕生日の前々日まで 11,891円 3歳以上 10,461円		
	麻しん・風しん	第1期:1歳から2歳に至るまで	12,386円 (8,844円)		
		第2期:5歳から7歳に至るまでの小学校就学前の1年間にある者	10,956円 (7,414円)		
			( )は、麻しん・風しん単独接種委託料		
	風しん	第5期:昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性	10,956円 (7,414円)		
			( )は、風しん単独接種委託料		
	水痘	1歳から3歳に至るまで	3歳の誕生日の前々日まで10,846円 3歳以上 9,416円		
	日本脳炎	第1期:生後6か月から7歳6か月に至るまで	3歳の誕生日の前々日まで9,306円 3歳以上 7,876円		
		第2期:9歳から13歳に至るまで (標準接種:小学4年生)			
	二種混合 (ジフテリア 破傷風)	11歳から13歳に至るまで (標準接種:小学6年生)	5,896円		
	子宮頸がん予防 (HPV)ワクチン	小学6年から高校1年に相当する女子 キャッチアップ接種者(経過措置) ※1	2価(サーバリックス) 17,083円 4価(ガーダシル) 17,083円 9価(シルガード9) 27,005円		
	高齢者肺炎球菌	・65歳 ※2 ・60歳以上65歳未満で特定の障害を有する者	6,186円 (生活保護者 8,686円)	2,500円 (生活保護者無料)	
	帯状疱疹	・65歳以上 ・60歳以上65歳未満で特定の障害を有する者	生ワクチン(乾燥弱毒生水痘ワクチン) 5,926円 (生活保護者 8,426円)	2,500円 (生活保護者無料)	
			組換えワクチン(乾燥組換え帯状疱疹ワクチン) 15,126円 (生活保護者 21,626円)	6,500円 (2回:13,000円) (生活保護者無料)	
	高齢者 インフルエンザ	・65歳以上 ・60歳以上65歳未満で特定の障害を有する者	3,923円 (生活保護者 5,423円)	1,500円 (生活保護者無料)	10月 ～1月
	新型コロナウイルス	・65歳以上 ・60歳以上65歳未満で特定の障害を有する者	10,976円 (生活保護者 15,576円)	4,600円 (生活保護者無料)	10月 ～3月

○ 周知の方法:「市報さが」やホームページに予防接種の記事を掲載し、周知徹底を図っている。

○乳幼児の予防接種については出生の翌月に予防接種手帳を送付する。

○麻しん及び風しん(2期、5期)、二種混合、日本脳炎(2期)、高齢者肺炎球菌、帯状疱疹は個別通知する。

○子宮頸がん予防(HPV)ワクチンの定期接種対象者については、小学6年生及び高校1年生の未完了者を対象に個別通知する。

※1 HPVキャッチアップ接種対象者(経過措置)は、平成9.4.2～平成21.4.1生まれの女子で令和4～6年度末までに1回以上接種した場合、令和7年度末までに残りの回数が公費対象となる。

※2 高齢者肺炎球菌については、令和6年度から接種日時点で65歳の者が対象

（2） 予防接種の年次推移

・ロタウイルス

年度		令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
・経口弱毒性ヒトロタウイルスワクチン（ロタリックス：2回接種） … 生後6週から生後24週まで ・5価経口弱毒性ロタウイルスワクチン（ロタテック：3回接種） … 生後6週から生後32週まで	対象者数(人)	1,700	1,600	1,456	1,391	1,288	令和2年10月から定期接種として実施 （令和2年8月1日以降に生まれた児） ※（ ）延接種者数
	ロタリックス（１価）	1,012 (2,021)	1,019 (2,047)	840 (1,688)	828 (1,517)	729 (1,327)	
	ロタテック（５価）	590 (1,750)	502 (1,487)	606 (1,793)	698 (1,767)	677 (1,693)	
	計	1,602 (3,771)	1,521 (3,534)	1,446 (3,481)	1,526 (3,284)	1,406 (3,020)	
	接種率	94.2%	95.1%	99.3%	109.7%	109.2%	

・BCG

年度		令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
１歳に至るまで	対象者数(人)	1,761	1,739	1,569	1,477	1,413	平成20年度から個別接種 平成25年度から対象年齢を拡大（変更前：生後６月に至るまで）
	接種者数(人)	1,629	1,576	1,467	1,399	1,278	
	接種率	92.5%	90.6%	93.5%	94.7%	90.4%	

・B型肝炎

年度		令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
１歳に至るまで	対象者数(人)	5,100	4,800	4,368	4,173	3,864	平成28年10月から定期接種として実施 （平成28年4月1日以降に生まれた者）
	接種者数(人)	4,805	4,703	4,429	4,107	3,809	
	接種率	94.2%	98.0%	101.4%	98.4%	98.6%	

・ヒブ（インフルエンザb菌）

年度		令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
生後2か月から5歳に至るまで	対象者数(人)	7,572	6,955	6,107	2,912	－	平成23年2月から行政措置接種として実施 平成25年4月から定期接種として実施 令和6年度から四種混合に追加し、五種混合として実施 ※（ ）延接種者数
	接種者数(人)	1,636 (6,456)	1,562 (6,361)	1,472 (5,956)	1,322 (1,616)	53 (53)	
	接種率	85.3%	91.5%	97.5%	55.5%	－	

・小児用肺炎球菌

年度		令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
生後2か月から5歳に至るまで	対象者数(人)	7,572	6,955	6,107	5,629	5,220	平成23年2月から行政措置接種として実施 平成25年4月から定期接種として実施 ※（ ）延接種者数
	接種者数(人)	1,636 (6,439)	1,563 (6,362)	1,476 (5,971)	2,702 (5,541)	2,562 (5,168)	
	接種率	85.0%	91.5%	97.8%	98.4%	99.0%	

・五種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ・ヒブ）

年度			令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
1回目	生後2か月から7歳6か月に至るまで	対象者数(人)				1,391	1,288	令和6年4月から定期接種として実施
		接種者数(人)				1,358	1,285	
		接種率				97.6%	99.8%	
2回目		対象者数(人)				1,391	1,288	
		接種者数(人)				1,244	1,277	
		接種率				89.4%	99.1%	
3回目		対象者数(人)				1,391	1,288	
		接種者数(人)				1,114	1,280	
		接種率				80.1%	99.4%	
追加		対象者数(人)				1,391	1,803	
		接種者数(人)				156	1,257	
		接種率				11.2%	69.7%	

・四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ）

年度			令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
1回目	生後2か月から7歳6か月に至るまで	対象者数(人)	1,700	1,600	1,456	1,456	－	平成24年11月から定期接種として実施 令和5年4月から対象年齢が「生後3か月から」「生後2か月から」に変更 令和6年度から四種混合にヒブを追加し、五種混合として実施 ※令和4年度：海外からの転入児に3種混合接種（1期3回目1人） ※令和6年度：海外からの転入児等に3種混合接種（1期1回目1人、2回目1人、3回目1人、追加4人） ※令和7年度：7月販売終了
		接種者数(人)	1,629	1,579	1,602	15	0	
		接種率	95.8%	98.7%	110.0%	1.0%	－	
2回目		対象者数(人)	1,700	1,600	1,456	1,456	－	
		接種者数(人)	1,625	1,582	1,612	143	0	
		接種率	95.6%	98.9%	110.7%	9.8%	－	
3回目		対象者数(人)	1,700	1,600	1,456	1,456	－	
		接種者数(人)	1,622	1,586	1,599	294	2	
		接種率	95.4%	99.1%	109.8%	20.2%	－	
追加		対象者数(人)	2,519	2,366	2,265	2,436	982	
		接種者数(人)	1,698	1,503	1,551	1,640	408	
		接種率	67.4%	63.5%	68.5%	67.3%	41.5%	

・不活化ポリオ

年度			令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
1回目	生後2か月から7歳6か月に至るまで	対象者数(人)	－	0	0	0	0	平成24年9月１日から、定期接種として実施
		接種者数(人)	0	0	0	0	0	※令和5年度は海外から不活化ポリオ未接種者の転入により接種者が1人 ※令和7年度は四種混合ワクチン製造中止により接種者が16人
		接種率	－	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
2回目		対象者数(人)	－	0	0	0	0	
		接種者数(人)	0	0	0	0	0	
		接種率	－	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
3回目		対象者数(人)	－	0	0	0	0	
		接種者数(人)	1	0	1	0	0	
		接種率	－	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
追加		対象者数(人)	－	1	1	0	0	
		接種者数(人)	0	0	0	0	16	
		接種率	－	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

・麻しん・風しん

年度			令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
第１期	1歳から2歳に至るまで	対象者数(人)	1,714	1,689	1,657	1,509	1,471	麻しんは、昭和53年度から個別接種
		接種者数(人)	1,577	1,657	1,560	1,370	1,396	
		接種率	92.0%	98.1%	94.1%	90.8%	94.9%	風しんは、平成７年度から個別接種
第２期	5歳から7歳に至るまでの小学校就学前の1年間にある者	対象者数(人)	2,030	2,051	2,010	1,953	1,884	
		接種者数(人)	1,992	1,922	1,855	1,817	1,757	
		接種率	98.1%	93.7%	92.3%	93.0%	93.3%	
合計		対象者数(人)	3,744	3,740	3,667	3,462	3,355	
		接種者数(人)	3,569	3,579	3,415	3,187	3,153	
		接種率	95.3%	95.7%	93.1%	92.1%	94.0%	

・風しん（5期）

年度			令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
第５期	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性	対象者数(人)	19,837	18,957	17,241	16,177	318	令和元年度から令和6年度までの時限措置
		抗体検査数(人)	2,882	942	523	582		令和7年度は令和6年度までに抗体検査が陰性だった者のみ対象
		うち陰性者数(人)	864	293	173	152		
		接種者数(人)	746 (10)	289 (6)	172 (9)	163 (32)	15 (13)	※（ ）風しん単独接種者数

・風しん（緊急対策事業）

年度			令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
妊娠を希望する女性または妊婦と同一世帯者	接種者数(人)	麻しん風しん混合	324	316	328	225	184	令和元年度から行政措置接種として実施
		風しん単独	14	9	8	35	41	

・水痘

年度		令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
1歳から3歳に至るまで	対象者数(人)	3,470	3,335	3,478	3,138	2,954	平成26年10月から定期接種として実施
	接種者数(人)	3,129	3,039	2,957	2,715	2,630	
	接種率	90.2%	91.1%	85.0%	86.5%	89.0%	

・日本脳炎

年度				令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
第１期	1回目	生後6か月から7歳6か月に至るまで	対象者数(人)	2,845	4,240	5,057	6,493	7,358	平成８年度から個別接種 ※平成22年4月1日から３歳児に対して積極的勧奨開始 ※平成22年8月27日から、第２期の対象者に平成17年以降積極的勧奨の差し控えにより第１期（３回）の接種を受けることができなかった対象者に関して特例的な措置の実施 ※平成23年5月20日から、積極的勧奨差し控えによって、第１・２期の接種が不完全な者（平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれで20歳未満にある者）に対して特例措置の実施
			接種者数(人)	1,679	1,810	2,144	1,947	1,831	
			接種率	59.0%	42.7%	42.4%	30.0%	24.9%	
	2回目		対象者数(人)	2,845	4,240	5,057	6,493	7,358	
			接種者数(人)	1,698	1,743	2,035	1,976	1,819	
			接種率	59.7%	41.1%	40.2%	30.4%	24.7%	
	追加		対象者数(人)	3,035	3,595	2,448	2,325	3,021	
			接種者数(人)	1,114	2,703	1,858	1,889	1,862	
			接種率	36.7%	75.2%	75.9%	81.2%	61.6%	
第１期合計			対象者数(人)	8,725	12,075	12,562	15,311	17,737	※平成28年度から、平成19年4月2日から平成21年10月1日に生まれた者で平成22年3月31日までに第１期の接種が終了していない者に特例措置の実施
			接種者数(人)	4,491	6,256	6,037	5,812	5,512	
			接種率	51.5%	51.8%	48.1%	38.0%	31.1%	
第２期	9歳から13歳に至るまで（標準接種：小学4年生）		対象者数(人)	3,503	3,352	3,222	3,002	4,125	※令和3年度日本脳炎ワクチン製造減のため出荷規制あり
			接種者数(人)	1,109	2,153	2,320	2,161	1,913	
			接種率	31.7%	64.2%	72.0%	72.0%	46.4%	
合計			対象者数(人)	12,228	15,427	15,784	18,313	21,862	
			接種者数(人)	5,600	8,409	8,357	7,973	7,425	
			接種率	45.8%	54.5%	52.9%	43.5%	34.0%	

・二種混合（ジフテリア・破傷風）

年度		令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
11歳から13歳に至るまで（標準接種：小学6年生）	対象者数(人)	2,165	2,218	2,092	2,021	1,943	平成8年度から個別接種
	接種者数(人)	1,788	1,753	1,817	1,926	1,747	
	接種率	82.6%	79.0%	86.9%	95.3%	89.9%	

・子宮頸がん予防（HPV）ワクチン

年度		令和３（2021）	4（2022）	5（2023）	6（2024）	7（2025）	備考
定期接種 小学6年から高校1年に相当する女子	対象者数（人）	5,416 (16,248)	5,353 (16,059)	5,060 (15,180)	4,986 (14,958)	4,392 (13,176)	平成23年7月から行政措置接種として実施 平成25年度4月から定期予防接種として実施 平成25年6月から積極的勧奨を差し控え 令和2年10月ＨＰＶワクチンの情報提供リーフレットを対象者に送付 令和4年4月1日から接種勧奨再開　情報提供資料等を対象者に送付 令和5年4月1日から9価ワクチンが定期接種に追加 ※（　）延接種者数
	接種者数（人）	418 (1,151)	548 (1,542)	730 (1,517)	1,207 (2,017)	838 (1,281)	
	接種率	7.7%	10.2%	14.4%	24.2%	19.1%	
キャッチアップ接種 定期接種の時期にＨＰＶワクチン接種を逃した方	対象者数（人）		8,512 (16,059)	8,945 (26,835)	9,197 (27,591)	1,068 (3,204)	平成25年6月より積極的勧奨を差し控えていたが、令和4年4月1日より接種勧奨の再開により接種機会を逃した方に令和4年度から6年度まで3年間に限り接種機会を設ける 情報提供資料を対象者に送付 令和5年4月1日から9価ワクチンが定期接種に追加 令和7年4月1日から子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種期間の１年間延長 ※（　）延接種者数
	接種者数（人）		775 (1,913)	653 (1,795)	2,855 (6,282)	713 (1,018)	
	接種率		9.1%	7.3%	31.0%	66.8%	

・高齢者肺炎球菌

年度		令和３（2021）	4（2022）	5（2023）	6（2024）	7（2025）	備考
65歳以上	対象者数（人）	9,342	9,008	8,814	2,786	2,797	平成26年10月から定期接種として実施 平成26年度は、当該年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる者と101歳以上の者が対象 平成27年度から平成30年度は、当該年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の者が対象 令和元年度は、当該年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる者と101歳以上の者が対象 令和2年度から令和5年度までは、当該年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる者が対象 令和6年度から接種日時点で65歳の者が対象
	接種者数（人）	2,604	2,020	2,287	610	989	
	接種率	27.9%	22.4%	25.9%	21.9%	35.4%	
60歳以上65歳未満で特定の障害を有する者	対象者数（人）	117	131	122	142	165	
	接種者数（人）	7	1	4	2	1	
	接種率	6.0%	0.8%	3.3%	1.4%	0.6%	
合　計	対象者数（人）	9,459	9,139	8,936	2,928	2,962	
	接種者数（人）	2,611	2,021	2,291	612	990	
	接種率	27.6%	22.1%	25.6%	20.9%	33.4%	

・帯状疱疹

年度			令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
65歳以上	対象者数(人)						14,588	令和7年度から定期接種として実施
	接種者数(人)	組換え1回目					3,005	
		組換え2回目					2,864	令和7年度は、当該年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる者と101歳以上の者が対象
		生					1,379	
	接種率(組換1回目+生)						30.1%	
60歳以上65歳未満で特定の障害を有する者	対象者数(人)						180	
	接種者数(人)	組換え1回目					1	
		組換え2回目					1	
		生					0	
	接種率(組換1回目+生)						0.6%	
合　　計	対象者数(人)						14,768	
	接種者数(人)	組換え1回目					3,006	
		組換え2回目					2,865	
		生					1,379	
	接種率(組換1回目+生)						29.7%	

・インフルエンザ

年度		令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
65歳以上	対象者数(人)	66,334	66,935	66,649	66,824	66,892	平成13年度から定期接種として実施
	接種者数(人)	38,688	38,270	36,703	34,118	34,620	
	接種率	58.3%	57.2%	55.1%	51.1%	51.8%	
60歳以上65歳未満で特定の障害を有する者	対象者数(人)	125	142	135	155	180	
	接種者数(人)	78	85	66	68	64	
	接種率	62.4%	59.9%	48.9%	43.9%	35.6%	
合　　計	対象者数(人)	66,459	67,077	66,784	66,979	67,072	
	接種者数(人)	38,766	38,355	36,769	34,186	34,684	
	接種率	58.3%	57.2%	55.1%	51.0%	51.7%	

・新型コロナウイルス（令和6年4月1日～B類疾病）

年度		令和３(2021)	4(2022)	5(2023)	6(2024)	7(2025)	備考
65歳以上	対象者数(人)				66,824	66,892	令和6年10月から定期接種として実施
	接種者数(人)				8,782	3,653	
	接種率				13.1%	5.5%	
60歳以上65歳未満で特定の障害を有する者	対象者数(人)				155	180	
	接種者数(人)				47	21	
	接種率				30.3%	11.7%	
合　　計	対象者数(人)				66,979	67,072	
	接種者数(人)				8,829	3,674	
	接種率				13.2%	5.5%	

特例臨時接種として令和３～５年度に実施した新型コロナウイルスワクチン接種については、次ページの表に掲載

・新型コロナウイルス（令和3年2月17日～令和6年3月31日）

年度	方法	１・２回目	３回目	４回目	５回目	６回目	７回目	小計
令和３ (2021)	集団	55,509	9,115					64,624
	個別	302,779	98,131					400,910
	小計	358,288	107,246					465,534
令和４ (2022)	集団		5,422	9,043	3,068			17,533
	個別	7,327	38,166	93,802	51,916			191,211
	小計	7,327	43,588	102,845	54,984			208,744
令和５ (2023)	個別	293	506	1,537	12,272	44,550	29,237	88,395
令和３～令和５ (2021～2023)	合計	365,908	151,340	104,382	67,256	44,550	29,237	762,673

※令和３年度の実績には、令和３年２月、３月の実績を含む

第5章　佐賀市環境保健推進協議会

１　沿　革

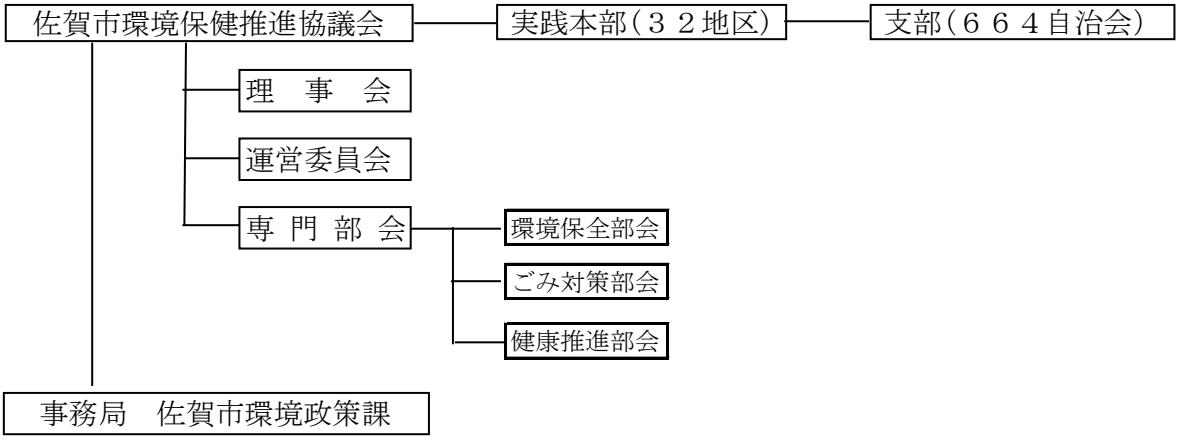
２　組　織

３　主な事業

１ 沿 革

①昭和２９年 (1954年)	厚生省（現厚生労働省）の「自主的な蚊とハエのいない生活」運動の推進に伴い、市民の生活環境向上を目指し、地域組織づくりを始める。
②昭和３１年３月３１日	各小学校区に「環境衛生実践本部」が組織され、その上部団体として「佐賀市環境衛生連合本部長会」が結成された。
③昭和３６年３月３１日	佐賀市環境衛生推進大会開催。
④昭和４３年３月３１日	「佐賀市環境衛生実践協議会」と名称を変更。
⑤昭和４５年４月１日	「佐賀市地域婦人連絡協議会」を組織に加え、「佐賀市保健衛生推進協議会」と名称を変更。
⑥平成　２年６月２７日	「佐賀市環境保健推進協議会」と名称を変更。
⑦平成１９年５月２５日	諸富町、大和町、富士町及び三瀬村を加えた２６自治会長会で環境保健実践本部が組織され、新生「佐賀市環境保健推進協議会」が結成された。
⑧平成２１年５月２６日	川副町、東与賀町及び久保田町の南部３町が新たに加入し、３２の実践本部となった。

２ 組 織



３ 主な事業（他部署の主催事業も含む）

実施年月日	事　　業　　内　　容
令和7年7月15日	熱中症予防講座
令和7年7月23日	(株)庄分酢、㈱YKクリーン、おおき循環センターくるるん視察
令和7年7月31日	プラスチックリサイクル工場（エコポート九州）視察
令和7年8月31日～9月1日	クリーク等に生息する魚の展示見学および環境ワークショップ
令和7年10月18日	にこにこさがしウォーク参加
令和7年10月23日～10月24日	視察研修
令和7年10月29日	佐賀市清掃工場の取組について（佐賀市清掃工場見学）
令和8年1月27日	第64回環境保健推進大会

第6章　保健福祉施設

1　佐賀市保健福祉会館

2　保健センター

3　佐賀勤労者総合福祉センター

1 佐賀市保健福祉会館

佐賀市では、市民の健康の増進及び福祉の向上に寄与することを目的として、佐賀市保健福祉会館（愛称：ほほえみ館）を設置している。

現在ほほえみ館内には、福祉団体等の事務所があり、保健と福祉の拠点（情報の発信地）として、市民サービスの向上に努めている。

その他、館内には生涯学習施設を設けており、有料で貸し出している。

(1) 施設の概要

① 所　在　地　　佐賀市兵庫北三丁目８番３６号(TEL ０９５２－３０－０１００)

② 敷 地 面 積　　４，３５９㎡

③ 建 物 構 造　　鉄筋コンクリート造４階建て

④ 建 築 面 積　　１，８８６㎡

⑤ 延 床 面 積　　５，６４２㎡

⑥ 総 事 業 費　　２４億８，９９９万８千円…地域福祉推進特別対策事業

うち会館建設費　２２億３，５６７万４千円　a 地域総合整備事業債　１５億９００万円

b 市単独予算　７億２，６６７万４千円

高齢者軽スポーツ場　２億２，４３２万４千円　a 地域総合整備事業債　１億７，３８０万円

b 市単独予算　５，０５２万４千円

⑦ 建 設 期 間　　平成４(1992)年度から平成６(1994)年度

⑧ 竣　　工　　平成６(1994)年１０月

⑨ 供 用 開 始　　平成７(1995)年　４月

(2) 各階の施設概要

・ １階

保健と福祉の複合施設として、市民の健康管理と高齢者福祉の向上を図るため、いきいき検査ルーム(健康検査室)、わくわく健康ルーム(健康指導室)、きらきら学習ルーム(生涯学習講座室)を設けている。

また、４階まで吹き抜けとなっている明るいアトリウムは、憩いの場としてだけでなく、健康診断会場や展示会場として、様々な用途に幅広く活用している。

・ ２階

高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図るとともに、能力を生かした活力ある地域社会づくりを行う佐賀市シルバー人材センターを設置している。

また、佐賀市社会福祉協議会ボランティアセンターの活動室があり、市内の福祉ボランティア団体の活動拠点となっている。

・ ３階

地域福祉活動の拠点として、福祉団体が事務所を設置している。（社会福祉協議会･老人クラブ連合会･身体障害者福祉協会連合会･母子寡婦福祉連合会･保育会・相談支援事業所ぷらっと／計６団体）

他にも、生涯学習のための施設として、教養講座室(和室）、健康料理講習室を設けている。

・ ４階

生涯学習のための施設として、視聴覚室、音楽演劇室、趣味の講座室、軽スポーツ室を設けている。また、地域で生活する障がい児及びその保護者を支援する佐賀市児童発達支援事業所「クラスルームといろ」を設置している。

(3) 貸出し施設の利用案内

① 開　館　時　間　　午前９時～午後５時３０分（利用時間は午前９時～午後５時）
② 休　　館　　日　　年末年始（１２月２９日～翌年１月３日）
③ 使　用　申　込　み　　使用日の６月前の日の属する月の初日から受付
④ 申　　込　　手　　続　　佐賀市公共施設予約システムや管理室で所定の申請書により申し込み

(4) 貸室の概要

室　名	面　積	収容人員
教養講座室（和室）	125 ㎡	70 人
健康料理講習室	125 ㎡	50 人
視　聴　覚　室	204 ㎡	100 人
音　楽　演　劇　室	83 ㎡	32 人
趣　味　の　講　座　室	83 ㎡	32 人
軽　ス　ポ　ー　ツ　室	270 ㎡	150 人

(5) 貸室の使用料

（単位：円）

室　名		午前９時から 正午まで	午後１時から 午後５時まで	午前９時から 午後５時まで
教養講座室（和室）		2,200	3,300	5,500
健康料理講習室		2,200	3,300	5,500
視　聴　覚　室		3,300	4,400	7,700
音　楽　演　劇　室		2,200	3,300	5,500
趣　味　の　講　座　室		2,200	3,300	5,500
軽スポーツ室	団体利用	3,300	4,400	7,700
	個人利用	１回につき　210 円		

(6) 施設の利用実績

・貸室の利用実績

年度	令和３(2021)		4(2022)		5(2023)		6(2024)		7(2025)	
室名	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)
教養講座室（和室）	148	1,544	80	1,830	70	1,922	67	1,385	80	2,202
健康料理講習室	78	1,195	59	1,042	60	1,111	65	1,299	45	1,090
視聴覚室	90	3,027	88	3,181	76	3,672	101	3,926	79	3,863
音楽演劇室	111	2,023	166	2,990	176	2,908	178	2,927	98	1,672
趣味の講座室	254	4,699	258	4,360	239	3,746	233	2,833	206	3,405
軽スポーツ室	147	3,142	139	2,657	143	3,175	151	3,434	168	3,601
合計	828	15,630	790	16,060	764	16,534	795	15,804	676	15,833

※健康づくり課の事業利用も含む。

・その他の各室の利用実績

年度	令和３(2021)		4(2022)		5(2023)		6(2024)		7(2025)	
室名	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)
わくわく健康ルーム	16	1,109	19	949	19	1,315	43	3,205	55	3,407
いきいき検査ルーム	99	9,738	97	5,946	102	9,208	114	9,981	69	8,188
きらきら学習ルーム	86	3,813	101	4,280	88	3,867	89	3,659	89	3,426
ボランティア室	200	3,020	198	3,154	243	4,025	233	4,339	248	4,290
合計	401	17,680	415	14,329	452	18,415	479	21,184	461	19,311

※いきいき検査ルームと他の部屋の利用を用いて実施した健診等の保健事業については、いきいき検査ルームで計上。

年度	令和３(2021)		4(2022)		5(2023)		6(2024)		7(2025)	
総計	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)	件数(件)	人員(人)
	1,229	33,310	1,205	30,389	1,216	34,949	1,274	36,988	1,137	35,144

２　保健センター

佐賀市では、市民に密着した総合的な健康づくり対策を推進し、市民の健康増進を図ることを目的として保健センターを設置し、各種健診や健康相談・健康教室を行っている。

(1)　施設の概要

名　　称	住　　所	建設年	建物(延床)面積	構　　造	備　　考
富士保健運動センター	富士町大字古湯2685番地（富士支所内）	平成21年(2009)	193.29㎡	鉄筋コンクリート３階建て（２階の一部分）	保健相談室、子育て支援室、健康増進室、男女更衣室、シャワー室
三瀬保健センター	三瀬村藤原3882番地6	平成14年(2002)	755.91㎡	木造平屋建て	事務室、診察室、調理実習室、多目的ホール、流水浴施設、会議室、リラクゼーションルーム
川副保健センター	川副町大字鹿江442番地	昭和60年(1985)	761.31㎡	鉄筋コンクリート２階建て	事務室、診察室、集団指導室、保健指導・健康相談室、多目的室、会議室
東与賀保健センター	東与賀町大字下古賀1193番地（東与賀保健福祉センター内）	平成4年(1992)	630㎡ (2階含む) 1,159.49㎡	鉄筋コンクリート２階建て（１階部分）	事務室、診察室、歯科検診室、消毒室、機能訓練室、集団指導室、健康相談室、調理実習室

※平成28年(2016年)３月末日　諸富保健センター・大和健康管理センター廃止
　令和７年(2025年)３月末日　久保田保健センター廃止

(2)　施設の利用実績　　（単位：人）

年　　度	3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)
富士保健運動センター	766	794	579	714	779
三瀬保健センター	5,565	4,999	5,428	5,215	5,485
川副保健センター	2,535	2,927	3,325	3,279	1,874
東与賀保健センター	7,946	4,226	4,036	3,970	7,111
久保田保健センター	3,836	5,447	2,645	3,065	－
合　　計	20,648	18,393	16,013	16,243	15,249

３　佐賀勤労者総合福祉センター

佐賀勤労者総合福祉センター（愛称：メートプラザ佐賀）は、勤労者に教養・文化、研修、スポーツ等の活動の場を提供し、勤労者福祉の充実と勤労意欲の向上を図るため、平成２年１２月、当時の雇用促進事業団により建設された施設である。

その後、平成１５年７月３１日に佐賀市に譲渡され、以降は市民の健康増進及び福祉向上を目的に利用されている。

また、平成１８年４月からは「指定管理者制度」を導入しており、現在まで(株)マベックを指定管理者に指定し、施設の管理を行っている。

(1) 施設の概要

① 所在地	佐賀市兵庫北三丁目８番４０号（TEL０９５２－３３－０００３）
② 敷地面積	４，５００㎡
③ 建物構造	鉄筋コンクリート造２階建て
④ 建物総面積	２，２０３．６０６㎡
⑤ 建設費総額	７億９，５００万円
⑥ 竣工	平成２(1990)年１２月２５日

(2) 利用案内

① 開館時間	午前９時から午後９時
② 休館日	年末年始（１２月２９日から翌年１月３日）
③ 使用申込み	使用日の６月前の日の属する月の初日から受付 （多目的ホールでの体育利用は、使用日の１月前から受付）
④ 申込手続	佐賀市公共施設予約システムや事務室で所定の申請書により申し込み

(3) 貸室の概要

室名	面積	収容人員
教養文化室	93㎡	48人
視聴覚室	96㎡	48人
研修室	79㎡	48人
大会議室	98㎡	72人
小会議室	43㎡	12人
多目的ホール	493㎡	406人
多目的室	80㎡	48人

(4) 貸室の使用料

（単位：円）

室　　名	午前９時から 正　午　ま で	午後１時から 午後５時まで	午後６時から 午後９時まで
教養文化室	1,900	2,620	2,620
視聴覚室	1,270	1,750	1,750
研修室	1,900	2,620	2,620
大会議室	2,620	3,850	3,850
小会議室	1,200	1,900	1,900
多目的ホール （ホール使用）	7,030	9,670	9,670
多目的ホール （体育使用）	1,270	1,750	1,750
多目的室	1,900	2,620	2,620

※各時間区分を連続して使用する場合は、それぞれの使用料を加算する。

(5) 貸室の利用実績

年度	令和３ (2021)		4 (2022)		5 (2023)		6 (2024)		7 (2025)	
室　名	件数 (件)	人員 (人)	件数 (件)	人員 (人)	件数 (件)	人員 (人)	件数 (件)	人員 (人)	件数 (件)	人員 (人)
教養文化室	413	6,305	394	6,690	443	7,560	515	6,754	509	6,941
視聴覚室	616	12,124	713	15,007	726	15,858	715	13,418	810	13,063
研修室	534	10,157	605	12,811	626	13,584	612	10,094	632	10,252
大会議室	566	17,448	654	18,550	641	23,162	614	16,742	702	13,735
小会議室	613	4,670	724	4,773	672	4,716	599	3,786	661	3,600
多目的ホール	644	54,185	677	71,116	811	94,798	780	73,007	813	55,677
多目的室	621	11,536	671	12,781	708	13,767	655	11,665	686	10,274
合　計	4,007	116,425	4,438	141,728	4,627	173,445	4,490	135,466	4,813	113,542

※多目的ホールには体育利用を含む。

第7章　保健事業の主な変遷

保健事業の主な変遷

年度	関係法令・体制他（*は佐賀市）	母子保健	成人保健	予防接種・その他
～	S12 保健所法制定	S38　乳児一斉健診開始	S38　家庭訪問開始	M30　伝染病予防法施行
昭和	S13　国民健康保険法公布	S38　母子手帳交付開始	S38　健康相談（随時地区）開始	M43　種痘法施行
42	厚生省設置	（H4年～市に移管）	S42　胃集団検診開始	（S23予防接種法施行により廃止）
(1967)	S17　妊産婦手帳制度施行	S38　3歳児健診開始	S42　子宮がん検診開始	S23　予防接種法制定
	S22　新保健所法公布、栄養士法	（H10年～市で実施）		（罰則つき接種の義務付け）
	S22　児童福祉法制定	S38　乳幼児健康相談(所内)開始		S38　種痘開始(～S50年12月)
	S23　妊産婦手帳制度を母子手帳に改訂	S38　乳幼児健康相談（移動)隣保館開始		S38　急性灰白髄炎（ポリオ)開始
	S23　優生保護法制定	S38　家庭訪問開始		S38　腸チフス、パラチフス開始（～42年)
	S23　予防接種法制定	S39　家族計画特別普及事業開始		S38　インフルエンザ開始(３歳～中学生)
	S26　結核予防法制定	S40　母子栄養強化事業開始		S38　日本脳炎開始
	S27　栄養改善法			S38　結核（結核検診開始)
	S29　育成医療			S38　結核（家庭訪問開始)
	S33　学校保健法制定			S38　結核　（ツベルクリン・ＢＣＧ開始)
	S33　未熟児養育医療、訪問指導			
	S36　３歳児健康診査制度創設			
	S36　新生児訪問指導開始			
	S38　老人福祉法制定			
	老人健康診査開始(65歳以上対象)			
	S40　母子保健法制定			
	*S40 日曜・休日在宅医制度開始			
	S40　母子手帳を母子健康手帳に改称			
	*S42　第一次佐賀市総合計画を策定			
43	・母子保健推進員制度創設			
(1968)	・先天性代謝異常医療援助			
44	・妊産婦健康診査制度	・妊婦健診開始		
(1969)		（H19年度から市で実施）		
45				
(1970)				
46		・若葉学級開始（新婚対象）		・　三種混合（ジフテリア・百日咳・
(1971)				破傷風）開始
47	・老人福祉法改正（6月）	・若葉学級終了	・一般健康診査開始(S47～61)	
(1972)	・老人医療費支給制度発足		・健康相談（定例所内）開始	
48	・乳児健康診査の公費負担制度	・乳児一斉健診終了(S38～48)		
(1973)		・電話育児相談開始		
		・お母さんの集い開始(S48～H3)		
49	・小児慢性特定疾患治療研究事業の創設	・乳児健診開始		
(1974)				
50	*日曜在宅医案内開始(ﾃﾚﾌｫﾝｻｰﾋﾞｽ)			・種痘終了(S38～50年12月)
(1975)				
51	・予防接種法一部改正			・　三種混合再開
(1976)	罰則なしの義務規定（緊急接種を除く）			
52	・１歳6か月児健康診査創設	・家族計画特別普及事業終了		・二種混合（ジフテリア・破傷風）開始
(1977)	・先天性代謝異常等検査の実施			・風しん開始
昭和53	・第一次国民健康づくり対策	・１歳6か月児健康診査開始		・麻しん開始(Ｓ54.1～)
(1978)	・基本方針	・１歳6か月歯科健診開始		
	①健康診査・保健指導体制の確立	・安産教室開始		
	②健康づくりの基盤整備(保健センター)			
	等の整備、保健師・栄養士等マンパワー			
	の確保			
	③健康づくりの普及・啓発			
	④健康づくりのための食生活指針(S60)			
54	*病院群輪番制病院開始			
(1979)				
55			・栄養教室(現在の「食の健康教室」)	・痘そうを定期接種から削除
(1980)			開始	
56	*救急医療情報システム開始	・療育相談開始(心理学専門家)		
(1981)				

年度	関係法令・体制他（*は佐賀市）	母子保健	成人保健	予防接種・その他
57 (1982)	・保健事業第1次計画(～S61年度) 事業内容：健康手帳、健康教育、 健康相談、健康診査（一般健康 診査・胃がん検診・子宮がん検診）、 機能訓練、訪問指導 ・老人保健法施行（2月）			
58 (1983)	*第二次佐賀市総合計画策定		・成人病教室開始 ・モデル地区で総合健診開始 （赤松・神野・金立） ・食の健康教室伝達会開始	
59 (1984)	・神経牙細胞腫検査の実施開始		・子宮がん個別検診開始 ・健康基礎調査開始 ・全市で総合健診開始	
60 (1985)	・B型肝炎母子感染防止対策事業	・妊婦健診（B型肝炎検査開始） ・第１次健康基礎調査終了（S45年～）		
61 (1986)	*休日救急歯科診療所開設		・一般健康診査終了(S47～61)	
62 (1987)	・保健事業第2次計画(～H3年度) 事業内容：基本健康診査、肺がん・ 乳がん検診の導入 ・１歳６か月児精密健康診査		・健康まつり開始（市民活動広場、 勤労者体育センター、むつごろう 広場） ・基本健診開始（血液検査 16項目） ・子宮がん体がん検診開始 ・肺がん検診開始	
63 (1988)	・第二次国民健康づくり対策 アクティブ８０ヘルスプラン ・基本方針 ①健康づくりのための運動の普及 ②健康づくりのための食生活指針(H2) ③健康づくりのための運動指針（H5） ④健康づくりのための休養指針（H6） ・神経芽細胞腫検査		・基本健診（血液検査17項目： 中性脂肪導入） ・佐賀市役所・むつごろう広場で 健康まつり開催	
平成 元 (1989)			・大和紡績跡広場・同体育館で 健康まつり開催	・MMR（麻しん、おたふくかぜ、 風しん混合）ワクチン開始（H5.4.27中止）
2 (1990)	*第三次佐賀市総合計画策定 *佐賀勤労者総合福祉センター （メートプラザ）建設（１２月） ・３歳児健康診査に視聴覚検査導入		・肝疾患検診開始 ・基本健診・肝疾患検診 （血液検査19項目：HBｓ抗原検査、 ＺＴＴ導入）	
3 (1991)		・お母さんの集い終了	・健康情報紙(ひととき)発行開始 ・嘉瀬川河川敷バルーン大会会場内 いこいの広場で健康まつり開催	
4 (1992)	・保健事業第3次計画(～平成11年度) 事業内容：大腸がん検診の導入	・子育てサークル開始 （2歳児の保護者を対象とする）	・乳がん検診開始（個別） ・健康カレンダー作成開始 ・地区高血圧教室開始 ・基本健診・肝疾患検診（血液検査 21項目：ＨＤＬコレステロール、 クレアチニン導入） ・がん検診、個人負担額の無料化	
5 (1993)			・基本健診・肝疾患検診（血液検査 22項目：ＨＣＶ抗体検査導入）	・インフルエンザ（3歳～中学生） 見合わせ（H6.1.28） ・MMR一時見合わせ（H5.4.27）
6 (1994)	・予防接種法一部改正 義務接種から努力義務接種へ、個別接種 化、健康被害救済制度の充実 *学生実習受入開始（佐賀県立総合看護 学院（保健学科、助産学科））	・乳幼児健康相談（移動）隣保館 終了 ・母子健康手帳の佐賀市版を作成開始	・肝疾患検診からHBs抗原検査項目を 除去(補助対象外となる) ・30代のみ市単独予算で継続 ・ほほえみ館で健康まつり開催 ・成人歯科健診開始（１．６歯科健診	

年度	関係法令・体制他（*は佐賀市）	母子保健	成人保健	予防接種・その他
	*保健福祉会館（ほほえみ館）建設 （供用開始：Ｈ７．４～）		と同時開催）	
7 (1995)	・エンゼルプラン(緊急保育対策等５ヵ年事業) *健康づくり課執務室　保健福祉会館へ移転（機構改革）		・大腸がん検診開始（個別)(1月～） ・ほほえみ館で総合健診（ほほえみ健診）開始　(1月～）	・風しん、三種混合、麻しん …個別接種に変更 ・保健・福祉・医療情報システム導入
8 (1996)	・機能訓練にB型を追加 *佐賀市児童育成計画 ～すこやかさがっ子プラン～策定 ・妊婦超音波検査の導入 ・優生保護法の一部改正、母体保護法と名称変更	・妊婦健診（超音波検査開始） ・母子栄養強化事業終了	・健康基礎調査開始	・日本脳炎、二種混合 …個別接種に変更
9 (1997)	・改正母子保健法施行 ・地域保健法施行 *佐賀市母子保健計画策定①	・妊産婦、新生児訪問開始 ・３歳児健診、市で開始 ・子育てサークルの対象を第1子の0歳児(6～7か月児）と改める	・基本健診・肝疾患検診 （血液検査23項目：ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝA1c導入） ・肥満教室開始	
10 (1998)	・がん検診などがん関係事業が老人保健法の対象外となる ・妊産婦・新生児訪問指導、妊産婦健康診査事業、B型肝炎母子感染防止対策事業の一般財源化 *学生実習受入開始（佐賀市医師会立看護専門学校）	・子育て応援隊（母子保健推進員）養成講座実施 ・子育て応援隊活動開始(H11.1) ・安産教室終了	・大腸がん予約受付をほほえみ健診会場にて開始 ・結核精密検査に喀痰検査を追加	
11 (1999)	・感染症法施行 ・乳幼児健康診査を段階的に一般財源化 *佐賀市高齢者保健福祉計画策定①	・フッ素洗口事業開始 ・歯科保健協議会開催（毎年）	・個別健康教育（高脂血症）モデル事業	
12 (2000)	・保健事業第4次計画（～平成16年度） 事業内容：個別健康教育、健康度評価の導入 ・第三次国民健康づくり対策 ・21世紀における国民健康づくり運動 基本方針 ①多様な経路による普及啓発の推進 ②推進体制の整備、地方計画への支援 ③各種保健事業の効果的・一体的推進 *学生実習受入開始（佐賀医科大学医学部看護学科） ④科学的根拠に基づく事業の推進 ・介護保険法施行 *第四次佐賀市総合計画策定 *休日こども診療所設立 ・健やか親子21検討会報告書作成 ・乳幼児健康診査の一般財源化	・プレママ・パパ教室開始 ・歯みがき普及啓発事業開始	・個別健康教育（高脂血症）開始 ・肥満教室を「いきいきシェイプアップくらぶ」へ改名 ・肥満予防のヘルスアセスメント事業開始(11月～ほほえみ健診時に実施) また、「健康にやせま専科」とし、定期的に面接日を設置 ・健康なまちづくりの会(北川副)発足 ・にこにこ歩きんぐ教室開始 ・食の健康教室伝達会135回中１回を一般公募とする	・ポリオ…一時中止
13 (2001)	・先天性代謝異常検査の一般財源化（県単） ・予防接種法一部改正 予防接種の対象疾病を二分類 *佐賀市健康づくり計画 「いきいきさがし21」策定 *佐賀市母子保健計画② 「すこやか親子計画」策定	・赤ちゃん広場開始 ・グリンピース(多胎サークル)開始 ・子育てサークル事業終了	・個別健康教育(耐糖能異常)開始 ・肝疾患検診・基本健診（血液検査項目見直し：18項目） HCV-RNA、HBs抗原、血小板の導入、MCV、MCH、MCHC、ｱﾙﾌﾞﾐﾝ、A/G比、ｺﾘﾝｴｽﾃﾗｰｾﾞ、ZTTの廃止 ・食中毒・感染症対策業務 （環境課から移管）	・高齢者インフルエンザ（二類）開始 ・ほほえみフェスティバル（土曜）
14 (2002)	*休日歯科診療所をほほえみ館内へ移設 *夜間救急外来診療体制事業開始 *佐賀市高齢者保健福祉計画策定② *精神障害者地域生活支援センター「ぷらっと」設置(10月)	・ブックスタート ・乳幼児健康相談　月2回→1回 ・緊急雇用栄養士訪問 ・食教育 ・プレママ・パパ教室 平日コース　5回→4回	・禁煙支援プログラム開始 ・成人歯科保健教室開始 ・健康推進員育成モデル事業 (佐賀中部広域連合主催) ・「いきいきｼｪｲﾌﾟｱｯﾌﾟくらぶ」を㈱健康科学研究所に全面委託	

年度	関係法令・体制他（*は佐賀市）	母子保健	成人保健	予防接種・その他
	*健康企画係内に余熱利用対策推進室設置	土曜コース　3回→2回 ・歯科衛生士を地域の子育てサークルに派遣 ・歯科保健教室 ・マタニティーコンサート	・「いきいきさがし21」推進協議会設置 ・「いきいきさがし21」推進大会開始 ・基本健診での肝炎ウイルス検診(節目検診)開始（検診時に承諾の署名が必要となる） ・♪カロリーソング♪作曲公募	
15 (2003)	*健康増進法施行 *市庁舎及び市の管理する施設の全館禁煙(5月1日～) ・保健福祉医療総合情報システム保健分野導入	・1歳6か月児健診でフッ素塗布開始(6月～) ・1歳6か月児健診、3歳児健診において自閉症等の発達障害のスクリーニング開始(H16年1月から第2問診票を使用) ・プレママ・パパ教室開催 ・乳児ふれあい体験1回実施 ・神経芽細胞腫検査中止(H15.7) ・成人歯科健診（H16～H18中断）	・保健福祉総合システム（ｳｪﾙﾌｧｽ）導入 ・ほほえみ健診での基本健診・がん検診を全面委託方式で実施 ・HCV抗原検査導入 ・結核検診要精密者の検査を総合保健協会で開始（毎週月曜日） ・歯周疾患健診開始(10月～) ・肝疾患検診を乳幼児健康相談時に開始(12月～) ・基本健診での精密検査票の導入 ・校区公民館で「あなたの町の健康相談会」開始(8月～) ・ヘルスアップ宣言推進事業開始(8月～) ・カロリーソング及びカロリーソング体操制作 ・健康推進員協議会設置 ・スリムアップグランプリ開始 ・にこにこマーチ(ウォーキング大会)開始 ・にこにこ歩きんぐを校区で開始（日新） ・生活習慣病予防教室終了 ・個別健康教室（高血圧症）終了 ・個別健康教室(耐糖能異常）終了 ・個別健康教室(脂質異常症)終了	・風しんの経過措置対象者接種終了(9月) ・「子ども予防接種週間」医師会の主催で土、日曜日に麻しん予防接種を実施 ・インフルエンザ予防接種 県内の高齢者福祉施設への契約拡大(28か所)
16 (2004)	*佐賀市健康運動センターの運営開始 ・ポリオ生ワクチン二次感染対策事業	・1歳6か月児健診・3歳児健診において自閉症等の発達障害のスクリーニング票（第2問診票)を全員に配布(7月～) ・「すくすく子育て相談会」をNPO「それいゆ」がボランティアで実施（6月～) ・プレママ・パパ教室　終了	・健康増進法イエローカード作成(2月～) ・カロリーソングキッズ及びカロリーソングキッズ体操制作(10月) ・カロリーソング体操のつどい開始 ・肝疾患検診(乳幼児健康相談時)終了 ・「あなたの町の健康相談会」終了 ・ヘルスメイト卒後教室開始 ・食の健康教室伝達会で親子クッキング開始 ・いきいきｼｪｲﾌﾟｱｯﾌﾟ教室終了 ・健診フォロー教室開始 ・健康推進員育成講座(夜ｺｰｽ)開始 ・にこにこマーチ終了	・インフルエンザ予防接種 県内の高齢者福祉施設との契約(37施設)
17 (2005)	・食育基本法施行（7月15日） ・結核予防法の一部を改正する法律施行 ・１歳６か月及び３歳児健診の一般財源化 ・マタニティマークの推進 *休日こども診療所において、平日夜間（20時～22時）の診療開始（9月1日～） *10月1日に合併 （ 佐賀市、諸富町、大和町、富士町、三瀬村）	・「すくすく子育て相談会」を県のモデル事業として実施 ・「歯やか歯やか教室（乳児歯科保健教室)」を開始 ・子育て専門相談室（ほほえみ相談室） 療育相談から名称変更	・乳がん検診（ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨｰ検査）開始 ・にこにこ“さがし”ウォーク開始 ・結核検診対象者が65歳以上となる	・BCG…対象を生後3か月～6か月未満に変更、ツベルクリン反応検査中止 ・日本脳炎第3期廃止（H17.7.29）

年度	関係法令・体制他（*は佐賀市）	母子保健	成人保健	予防接種・その他
18 (2006)	・精神福祉法改正（4月） ・自殺対策基本法施行（10月） ・感染症法一部改正（結核予防法廃止：感染症法に統合） ・予防接種法一部改正 *佐賀市健康づくり計画「いきいきさがし２１」策定 *佐賀市母子保健計画「すこやか親子計画」策定	・「すくすく子育て相談会」を市の事業として継続実施 ・3歳児健診でフッ化物塗布開始 ・ブックスタート・・・ほほえみ館、大和で実施 ・歯やか歯やか教室・・・ほほえみ館、大和、三瀬で実施 ・乳幼児健康相談、1歳6か月・3歳児健診・・・ほほえみ館、諸富、大和、富士、三瀬で実施 ・子育て専門相談室に心理士の相談を追加	・65歳以上の生活機能評価を基本健診と同時実施 ・基本健診、肝疾患検診で血液検査(尿酸)	・結核対策は感染症予防法に、ＢＣＧは予防接種法の規定に盛り込み ・ＢＣＧ、ポリオ・・・ほほえみ館、諸富、大和、富士、三瀬で集団接種 ・麻しん風しん定期2回接種導入
19 (2007)	・がん対策基本法施行（4月） *10月１日市町合併（川副町、東与賀町、久保田町） ・老人保健法廃止（3月） ・麻しんに関する特定感染症予防指針	・不妊治療助成事業の開始 ・産後うつアンケートの開始 ・ブックスタート・・・H18に追加して富士、三瀬で実施（各1回） ・成人歯科健診再開	・骨粗しょう症検診開始 ・前立腺がん検診開始 ・基本健診、肝疾患検診で腹囲測定	・高齢者インフルエンザ予防接種広域化 ・DPTの第一期予防接種の初回接種に係る接種間隔について国通知あり（H19.6.11） ・戸籍及び住民票に記載のない児童への定期接種について国通知あり（H19.6.20） ・ポリオ、日本脳炎の接種間隔の改正（H20.3.19）
20 (2008)	*高齢者の医療の確保に関する法律施行により特定健診開始（4月） *健康増進法に基づく健康増進事業の開始 *佐賀市食育推進基本計画策定 *学生実習受入開始（西九州大学健康栄養学科）	・「妊婦歯科健診」を県のモデル事業として実施 ・妊婦健診2枚から5枚へ拡充 ・乳幼児健康相談、1歳6か月・3歳児健診・・・川副、東与賀、久保田で実施（合併追加） ・歯やか歯やか教室・・・川副で実施（合併追加） ・ブックスタート・・・ほほえみ館、大和、三瀬、川副、東与賀で実施	・ヘルスメイト養成講座2コースで実施 ・特定健診、特定保健指導開始 ・「朝ラジ まなざし 朝ごはん」プロジェクト開始 ・ラジ＆ウォークスタンプラリー開始 ・にこにこ歩きんぐ教室終了	・麻しん風しん・・・中学1年生相当、高校3年生相当を接種対象に追加（5か年の時限措置、H20.4.1開始） ・BCG・・・個別接種に変更 ・個別予防接種県内広域化 ・看護学校運営費補助事業の開始
21 (2009)	*佐賀市食育推進協議会設置 *第5回食育推進全国大会佐賀大会佐賀市実行委員会設置 *保健福祉会館の高齢者浴場利用サービスを廃止 *富士保健運動センター開設	・「妊婦歯科健診」を市の事業として開始 ・妊婦健診5枚から14枚へ拡充 ・乳幼児全戸訪問事業開始 ・ブックスタート・・・ほほえみ館、大和、川副で実施	・女性特有のがん検診推進事業開始 ・「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」開催 ・65歳以上の生活機能評価と特定健診（集団）との同時実施を終了 ・にこにこ“さがし”ウォーク終了 ・特定健診の二次健診を開始	・新型インフルエンザワクチン接種費用助成事業実施（A/H1N1の流行　WHOフェーズ6宣言） ・麻しん風しん・・・中学3年生相当を接種対象として追加（単年度、市単措置）
22 (2010)	*佐賀市健康づくり計画「いきいきさがし21」中間評価改訂版を策定 *佐賀市母子保健計画「すこやか親子計画」中間評価改訂版を策定 ・子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業ヒブ、小児用肺炎球菌、HPV接種に対する国庫補助	・妊婦健診項目にHTLV-1を追加（H22.12） ・乳幼児健康相談・・・ほほえみ館開催を1回/月→1回/2か月	・ミニドックさがでる健診開始 ・ヘルスサポート開始(11月～) ・毎日健診の試行(11月～) ・毎年8月1日を「市民一斉ラジオ体操の日」（8月1日～7日をラジオ体操強化週間）と設定 ・自殺予防対策の一環として、市営バスの車体広告により「睡眠キャンペーン」のPR実施（3月～） ・事業所、団体を対象とした歯科保健教室を開始 ・健康づくり支援事業（重点分野雇用創造事業：単年度）の実施 ・生活機能評価の廃止（集団・個別・単独） ・健診結果説明会をモデル的に実施（川副支所）	・日本脳炎・・・第1期対象者への積極的勧奨再開（H22.4.1）、受ける機会がなかった者への積極的勧奨再開（H23.3.31） ・行政措置接種（任意）・・・ヒブ・小児用肺炎球菌開始（H23.2～） ・新型インフルエンザワクチン接種費用助成事業実施 ・第5回食育推進全国大会佐賀大会出展
23 (2011)		・前向き子育て支援事業（トリプルＰ）開始 ・乳児健診2枚から4枚へ拡充 （休日夜間こども診療所基金活用） ・ブックスタートをぴよぴよルームに	・子宮頸がん検診に併用してHPV検査を導入 ・毎日健診の実施(ほほえみ健診廃止) ・全支所で健診結果説明会を実施	・日本脳炎・・・H7.6.1～H19.4.1生まれの未接種者を定期対象者に追加（H23.5.20）9,10歳に対し接種勧奨 ・HPV・・・行政措置（任意）接種開始(H23.7.25)

年度	関係法令・体制他（*は佐賀市）	母子保健	成人保健	予防接種・その他
		名称変更 ・子育て専門相談室に「ほほえみ相談」の愛称		・麻しん風しん予防接種、高校2年生相当も定期対象（H23限り）
24 (2012)	・新型インフルエンザ対策特別措置法制定 ・国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の全部改正 【健康日本２１（第２次）】(H25～34) ・勤労者総合福祉センターのトレーニング室を多目的室に用途変更（H24.4.1）	・妊婦健診項目にGBS、クラミジアを追加（H24.4.1） ・乳幼児健康相談・・・ほほえみ館開催を1回/2か月→1回/月 ・1歳6か月及び3歳児健診・・・富士と三瀬の会場を交互に開催 ・ほほえみ相談の開催回数拡大 ・１歳６か月児健診のほほえみ館会場でGazeFinder実施 （H25.2～H27.3 場の提供のみ）	・大腸がん検診を通年実施 ・前立腺がん検診の上限年齢撤廃（50歳以上を対象） ・重症化予防の保健指導（高血圧、高血糖、脂質異常・CKD)を開始	・日本脳炎特例措置者・・・H7.4.2～H19.4.1生まれに拡大。8,9,10歳に接種勧奨 ・ポリオ・・・ワクチンが生から不活化へ切り替え（H24.9.1）。経過措置がないため、H17.3.2～H18.3.1生まれに対し、行政措置実施（～H25.8.31） ・4種混合ワクチン導入（H24.11.1） ・定期接種にかかる長期療養等特例措置開始（H25.1.30） ・麻しん風しん第3,4期終了（H25.3.31）
25 (2013)	・妊婦健康診査の一般財源化 ・未熟児養育医療及び未熟児訪問指導が県から市へ権限委譲 ・予防接種法の一部改正 予防接種基本計画の策定、副反応報告制度の法定化 *佐賀市健康づくり計画「いきいきさがし21」最終評価を実施 *佐賀市母子保健計画「すこやか親子計画」最終評価を実施	・未熟児養育医療給付事業開始（H25.4.1） ・1歳6か月及び3歳児健診・・・諸富と川副、東与賀と久保田の会場を各々交互に開催	・個別健康教育（禁煙支援プログラム）の廃止 ・HPV検査の上限年齢撤廃（30歳以上を対象） ・公民館健診を開始 ・保健師の校区担当制を導入	・BCG対象年齢を「生後６月に至るまで」から「生後１歳に至るまで」に拡大（H25.2.1） ・ヒブ、小児用肺炎球菌、HPV定期接種化（H25.4.1） ・HPV定期接種の積極的勧奨差し控え（H25.6.14） ・先天性風しん症候群緊急対策予防接種実施（H25.7.1～H29.3.31） ・小児用肺炎球菌ワクチン・・・7価から13価に変更（H25.11.1）
26 (2014)	*佐賀市健康づくり計画（第２次）を策定 *第２次佐賀市食育推進基本計画を策定 *健康運動センターの管理をスポーツ振興課に移管 ・予防接種法の一部改正	・ぴよぴよルーム・・・会場をほほえみ館に一本化（大和・川副中止） ・歯やか歯やか教室・・・富士で開始（大和、川副中止） ・1歳6か月及び3歳児健診・・・大和の対象者をほほえみ館に集約（大和中止） ・母子健康カレンダーの廃止（母子保健事業案内に統合） ・産後うつアンケートを1か月健診で実施（市内医療機関のみ）	・コンビニ健診を開始 ・職域大腸がん検診を開始 ・ほほえみ館で健診結果説明会を開始 ・健診結果説明会で、集団指導を開始（９月～） ・毎日健診での託児を開始（年２回）	・接種間隔の上限撤廃、下限の明確化（H26.4.1：三種・四種混合、日本脳炎、ヒブ、HPV） ・水痘及び高齢者肺炎球菌予防接種の定期接種化（H26.10.1） ・養育医療対象者・・・県外での予防接種費用の助成開始 ・DPTワクチン販売中止に伴い国がワクチン手配（H26.12.4～） ・先天性風しん症候群緊急対策抗体検査実施（単年度、県事業）
27 (2015)	・「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」の改正（平成28年2月改正、同年4月から適用）	・佐賀市妊娠・出産・子育て安心アプリ「にこさが」導入 ・前向き子育て支援事業（トリプルP）終了	・公民館健診（２か所）で肺がん検診を実施	
28 (2016)	*支所機能再編により、支所の保健師が本庁に集約され、母子保健係、健康推進係、保健予防係を通した校区担当制になる *諸富保健センター、大和健康管理センターの廃止 ・佐賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムが、県医師会・県等により策定	・ぴよぴよルーム、歯やか歯やか教室を廃止し、親子生活習慣病予防セミナーとして実施 ・妊婦健診項目に妊娠後期に血糖検査を追加、GBSとクラミジアの検査時期を変更（H28.4.1） ・国立佐賀病院で退院した未熟児養育医療の対象者について初回訪問を同病院へ委託 ・特定不妊治療事業拡充 （新規申請5万円まで上乗せ、そのうち治療開始年齢35歳未満の方はさらに5万円まで上乗せ）	・支所健診の予約を健康づくり課に集約(予約専用ダイヤルを設置) ・諸富、大和の支所健診は、諸富町公民館、大和支所庁舎でそれぞれ実施 ・自殺予防対策の一環とした市営バスの車体広告の終了	・Ｂ型肝炎予防接種の定期接種化（H28.10.1）
29 (2017)	*健康づくり課執務室　本庁１階へ移転（7月～） ・「公益財団法人佐賀県健康づくり財団」が発足（一般社団法人佐賀県医師会成人病予防センターと公益財団法人佐賀県総合保健協会が統合）	・産後２週間の産婦健康診査を開始（７月～）…要フォロー者の把握と支援体制を整備 ・産後ケア事業開始（助産師会委託）	・個別子宮がん検診が県内広域化 ・乳がん検診の視診・触診を廃止（問診・マンモグラフィのみ実施） ・ラジ＆ウォークスタンプラリー	

年度	関係法令・体制他（*は佐賀市）	母子保健	成人保健	予防接種・その他
	・県内市町で対策型胃内視鏡検診開始（小城、多久、伊万里、有田） ・保健福祉会館の大会議室を佐賀市障がい児通園施設へ用途変更		終了	
30 (2018)	・休日夜間こども診療所と休日歯科診療所を県病院跡地（水ケ江）に「佐賀市休日等急患センター」として移設 ・特定健診（詳細健診）にクレアチニンが追加。特定保健指導の評価期間が3か月も可となる。 *佐賀市自殺対策計画策定	・子育て専門相談室の開催回数拡大（48回/年→60回/年）	・支所健診予約ダイヤルを廃止し、予約業務を佐賀県健康づくり財団に委託 ・個別大腸がん検診結果を、検査機関（健康づくり財団）から直接受診者に郵送通知する方法に変更	
令和 元 (2019)	*佐賀市健康づくり計画（第２次）「いきいきさがし21」中間評価改訂版を策定 ・脳卒中・循環器病対策基本法施行 ・改正健康増進法が一部施行され、市庁舎・学校・病院等において敷地内禁煙となる（R1.7.1）	・子育て専門相談室の開催回数拡大（60回/年→72回/年） ・7～10か月児セミナー事業修了	・県子宮頸がん撲滅事業開始（30～44歳のＨＰＶ検査にかかる費用を県が負担）	・風しん第5期定期接種開始（H31.2.1施行） ・佐賀県風しん任意予防接種実施（H31.4.1～） ・高齢者肺炎球菌予防接種の特例の期間延長（５年間） ・新型コロナウイルス感染症の発生
2 (2020)	*新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口設置 ・予防接種法の一部改正（新型コロナウイルスCOVID-19に係る特例措置を規定） *新型コロナウイルスワクチン接種実施本部及び新型コロナウイルスワクチン接種対策室設置（Ｒ３．２．１～Ｒ６．３．３１） ・佐賀市自殺対策推進協議会設置（R ・改正健康増進法が全面施行され、不特定多数が利用する敷地において、原則屋内禁煙となる（Ｒ２．４．１）	・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令後の４月20日から５月末まで、１歳６か月児健診事業及び３歳児健診事業を休止し、６月から１回の人数を制限する等の感染予防に努め、再開。川副・諸冨対象者に対し各保健センターで交互に実施していたが、川副保健センターの１か所にする。 乳児健康相談は７月から再開。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、妊婦セミナーと３～６か月児セミナーを中止し、１歳～１歳５か月児セミナーとフッ化物塗布事業を休止 ・不妊治療助成事業の拡充 助成上限額の増額、助成対象者の範囲拡充（事実婚関係にある夫婦を追加）、所得制限の撤廃（Ｒ３．１．１以降に終了した治療の申請から） ・子育て専門相談室に医師（12回/年）、言語聴覚士（12回/年）の相談を追加	・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令後の４月20日から５月末まで、集団健診を休止し、６月から再開 ・10月から胃がん検診に胃内視鏡検査を追加（対象年齢：50・52・54・56・58・60・62・64歳、実施方法：個別検診[市内19医療機関]）	・ロタウイルスワクチン定期接種化（R2.10.1） ・予防接種接種間隔の変更（R2.10.1） ・小児インフルエンザ予防接種助成（令和２年度限定） 対象：生後６か月から中学３年生 （新型コロナウイルスとの重複感染予防） ・赤ちゃん応援臨時特別給付金支給事業実施（新型コロナウイルス感染症対策／令和2年度限定） ・市営バスの車体広告により感染症予防の意識啓発（こころの健康、新しい生活様式の呼びかけ／新型コロナウイルス感染症対策） ・発熱トリアージへの協力（実施主体：佐賀市医師会、神埼市郡医師会、多久・小城地区医師会） ・新型コロナウイルスワクチン接種開始（医療従事者：Ｒ３．２．１７）
3 (2021)	*第3次佐賀市食育推進基本計画策定（R4.3） ・国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の一部改正【健康日本２１（第２次）】の期間を１年間延長（H25～R5）	・多胎妊婦の妊婦健康診査を拡大（受診券の交付を14枚から19枚に拡大） ・不妊治療助成事業の終了（一部、経過措置あり） ・子育て専門相談（医師）の開催回数拡大（12回/年→15回/年）同（言語聴覚士）の相談人数拡大（１回４人→１回５人）	・40歳を対象に市内登録歯科医療機関にて歯周病検診（個別検診）を開始	・新型コロナウイルスワクチン接種開始（R3.4.12） ・佐賀市予防接種再接種事業の開始（R4.1.4）
4 (2022)	・不妊治療保険適応開始 *佐賀市健康づくり計画（第２次）の期間を１年間延長（H27～R6）	・乳児健康診査を縮小（受診券の交付を４枚から３枚に縮小） ・ショートステイ（産後ケア事業）開始 ・出産・子育て応援事業に伴う「妊娠届出時面談」「出産・子育て応援給付金」の開始（R5.2.1） ※R4.4.1以降に妊娠届出したものは出産応援給付金、R4.4.1以降に出生した児童の保護者は子育て応援給付金の遡及対象 ・３歳児健診に屈折検査導入 ・３～６か月児セミナー（中止）は、４～５か月児セミナーとして、R４年６月から第１子を対象に実施 ・1歳～１歳５か月児セミナー（休止）は、R５年２月から再開	・歯周病検診（個別検診）の対象者に50歳を追加 ・胃内視鏡検診の県内広域化開始。対象年齢拡充（66歳、68歳を追加）、自己負担額を5,000円から4,000円に改定 ・アピアランスケア支援事業（がんの治療と社会参加を支援するため、ウィッグや乳房補整具の購入費を一部助成）を開始	・子宮頸がん予防ワクチン積極的接種勧奨の再開 ・定期接種の時期に子宮頸がん予防ワクチン接種を逃した方へキャッチアップ接種の実施（R4.4.1～R7.3.31） ・定期予防接種を外れて任意（自費）で子宮頸がん予防ワクチンを接種した者への償還払いの実施（R4.4.1～R7.3.31） ・風しん第５期定期予防接種延長（R4.4.1～R7.3.31）
5 (2023)	*佐賀市自殺対策計画中間見直し版を策定 ・国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の全部改正【健康日本２１（第３次）】（R6～R17）	・出産・子育て応援事業に伴う伴走型相談支援（妊娠７か月アンケート、８か月時面談）開始 ・出産・子育て応援事業に伴う助産師による全戸訪問開始 ・初回産科受診料支援事業開始	・骨髄等移植ドナー支援助成を開始 ・歯科保健教室で実施していた唾液潜血検査は薬品製造終了のため中止	・特例臨時接種としての新型コロナウイルスワクチン接種終了（R6.3.31） ・高齢者肺炎球菌予防接種の特例終了（R6.3.31） ・子宮頸がん予防ワクチンの定期接種のワクチンに９価（シルガード９）が追加（R5.4.1）

年度	関係法令・体制他（*は佐賀市）	母子保健	成人保健	予防接種・その他
		・乳幼児健康相談の開催場所縮小（諸富・東与賀中止） ・すくすく子育て相談会終了（R6.3.31） ※障がい福祉課発達支援室において、同様の支援事業を実施するため		・４種混合、３種混合、不活化ポリオの対象年齢が、「生後３か月から」から「生後２か月から」に変更（R5.4.1）
6 (2024)	*佐賀市健康づくり計画（第３次）を策定 ・「９９さがネット」の一部サービス終了し「医療情報ネット」に移行（病院や薬局を探す機能） ・健康づくり課に予防接種係を新設	・産後1か月健診開始 ・妊婦健診・産婦健診の償還払いオンライン申請の開始	R6 乳がん検診の県内広域化開始	・５種混合ワクチンの定期接種化（R6.4.1） ・小児肺炎球菌の定期接種のワクチンに15価（R6.4.1）、20価（R6.10.1）が追加され、13価（R6.9.30）が終了 ・高齢者肺炎球菌の定期接種の対象者が65歳に変更（R6.4.1） ・新型コロナワクチンがＢ類疾病に移行し定期接種化（R6.4.1） ・子宮頸がん予防ワクチン接種を逃した方へのキャッチアップ接種終了（R7.3.31） ・風しん第5期風しん抗体検査延長終了（R8.3.31） ・新型コロナ助成金終了（R7.3.31）
7 (2025)	*久保田保健センターの廃止（R7.4.1） *こども家庭センター開設 *こども健康課新設。健康づくり課母子保健係、障がい福祉課発達支援室、こども政策課児童発達支援事業所「といろ」業務移譲（機構改編） *佐賀市こども計画策定（R8年度～R11年度）	・産後ケア事業の拡充（対象をユニバーサルにし、デイサービス・アウトリーチ開始） ・「出産・子育て応援給付金」が終了し、「妊婦のための支援給付金」開始 ・新生児聴覚検査開始 ・5歳児健康診査開始 ・母子保健情報アプリ「にこさが」を終了し、さが親子健康手帳アプリを開始 ・3歳児健康診査時のティンパノメトリー検査中止 ・子育て専門相談の開催回数、枠数拡大（98回・318枠/年→122回・418枠/年）	・前立腺がん検診の対象者要件の拡充（50歳以上の男性、単独実施・人間ドック等との同時実施も可能） ・職域前立腺がん検診を開始	・子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種期間の１年間延長（R8.3.31まで） ・帯状疱疹ワクチンの定期接種化（R7.4.1） ・高齢者肺炎球菌23価が終了（R8.3.31） ・MRワクチンの偏在による未接種者に対する風しん予防接種経過措置開始（2年間） 風しん１期（R4.4.2～R5.4.1生）、風しん２期（H30.4.2～H31.4.1生）、風しん５期（S37.4.2～S54.4.1生のうちR6年度までに抗体検査陰性の男性）

令和８年度
佐賀市の保健

発行　佐賀市　保健福祉部　　健康づくり課
　　こども未来部　こども健康課
〒840-8501
佐賀市栄町１番１号

Tel　0952-40-7280 ・ Fax　0952-40-7380